

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成22年度)

岩手県教育委員会

序

埋蔵文化財は先人の残した貴重な歴史的財産であり、国民共有の財産であります。文化財保護法の理念にもとづき、埋蔵文化財を保護し後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの責務です。

平成23年3月11日の東日本大震災及び津波により本県では沿岸部を中心に甚大な被害を受けました。震災発生から1年を経た現在、被災地の復興に向けた動きがようやく本格化しつつあります。三陸縦貫道路・三陸沿岸道路及び東北横断自動車道釜石秋田線等の「復興道路」建設、復興住宅建設・集団移転にともなう用地造成等、復興に関わる大規模開発事業計画が具体化している中、地域住民生活の再建と向上のための種々の開発事業と埋蔵文化財保護との調整が喫緊の課題となっております。

当教育委員会では、国庫補助金の交付を受けて、昭和52年度以来、遺跡の分布調査を実施しており、現在確認されている遺跡は1万2千箇所を上回ります。これらの遺跡を広く周知するとともに、開発事業との調整の中で行った発掘調査や遺跡の範囲及び内容確認を目的とした試掘調査の記録を明らかにすることが必要であると考え、平成元年度から調査報告書を発刊してまいりました。

本報告書は平成22年度に実施した県内遺跡の発掘調査、試掘調査及び分布調査の成果をまとめたものです。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護に役立てば幸いに存じます。

最後になりましたが、調査および報告書作成にご指導とご協力をいただきました関係機関・関係各位に厚く感謝申し上げます。

平成24年3月

岩手県教育委員会

教育長 菅野洋樹

目 次

序

目次

例言

凡例

I 発掘調査	1
1 地域づくり緊急改善事業（根蕪遺跡）	2
2 中山間地域総合整備事業大清水地区（山内駒木2遺跡）	3
3 中山間地域総合整備事業広田地区（赤坂角地遺跡）	7
4 北上川中流部治水対策事業（館IV遺跡）	8
5 公共下水道事業（中平遺跡）	15
6 経営体育成基盤整備事業徳田第2地区（風張遺跡）	18
7 地域道路整備事業大原バイパス（矢ノ目II遺跡）	24
8 畑地帯総合整備事業（大畑IV遺跡）	27
9 経営体育成基盤整備事業江釣子第2地区（下糠塚古館遺跡）	28
10 盛岡地簡家裁庁舎増築等工事（盛岡城跡）	29
11 経営体育成基盤整備事業中居地区（西部遺跡）	30
12 稲瀬地区堤防質の整備事業（谷地遺跡）	31
13 経営体育成基盤整備事業白山地区（田高II遺跡）	32
14 経営体育成基盤整備事業和賀中部第4地区（八天坂遺跡・久田II遺跡）	35
15 経営体育成基盤整備事業古城2期地区（草井川遺跡）	36
遺物観察表（1）	40
II 試掘調査・工事立会	43
1 東北横断自動車道秋田釜石線（大畑III遺跡）	44
2 東北横断自動車道秋田釜石線（新田II遺跡）	45
3 北上川中部治水対策事業二子地区（千刈遺跡）	46
4 四十四田ダム堰堤改良事業（笠平遺跡）	47
5 緊急地方道路整備事業及び地方特定道路整備事業（二又遺跡）	48
6 経営体育成基盤整備事業日形地区（小野遺跡）	49
7 経営体育成基盤整備事業都鳥2期地区（堤遺跡）	50
8 経営体育成基盤整備事業都鳥3期地区（作屋敷遺跡）	52
9 経営体育成基盤整備事業古城2期地区（古城林遺跡）	54
10 道路改良事業（山脈地遺跡）	56
試掘調査出土遺物	57
遺物観察表（2）	60

III 調査一覧	61
1 発掘調査	62
2 試掘調査	62
3 分布調査	66
IV 写真図版	67
検出遺構・調査状況	68
出土遺物	72

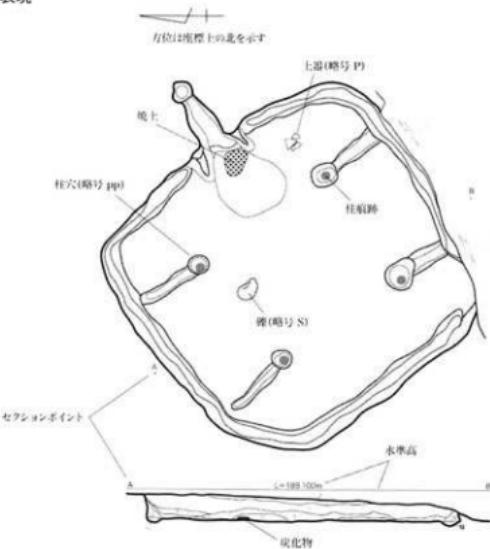
報告書抄録

例　　言

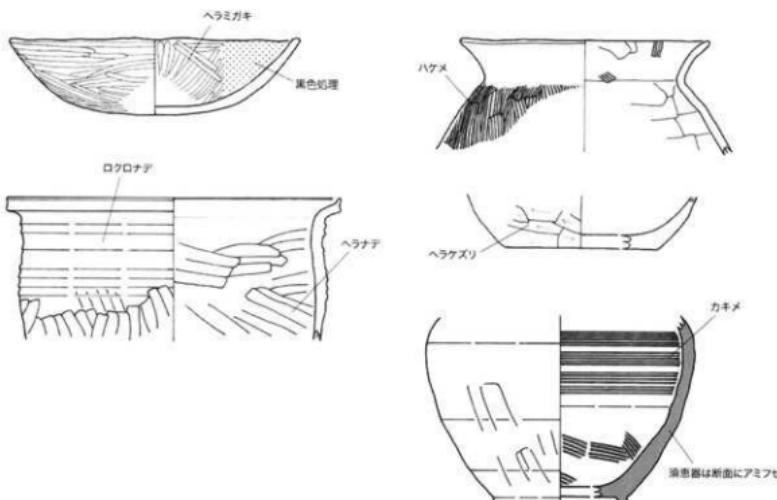
- 1 本書は岩手県教育委員会が平成22年度に実施した県内遺跡発掘調査事業に係る調査成果の概要報告である。なお、本事業は埋蔵文化財緊急調査費国庫補助の交付を受けて実施したものである。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター及び関係市町村教育委員会の協力を得て実施した。
- 3 遺跡位置図は国土地理院発行の1/25,000地形図を使用し、一部改変したものである。
- 4 発掘調査の調査区位置図、試掘調査の調査図等は各事業者から提供された工事計画図・地形図等を原図として作成した。掲載は任意縮尺としてスケールを付した。
- 5 遺跡位置図・調査区位置図等においては、遺跡範囲をアミフセ、トレンチ・調査区をシロヌキでそれぞれ示した。
- 6 発掘調査については調査成果の概要を記載した。なお、谷地遺跡及び八天坂遺跡・久田Ⅱ遺跡の発掘調査については遺構・遺物が多く、紙幅の関係から次年度報告書において改めて報告することとした。
- 7 発掘調査の遺物実測図は遺跡別に、試掘調査の遺物実測図は一括して掲載した。また遺物観察表は各章末に一括して掲載した。
- 8 遺構・遺物実測図の掲載は、遺構については1/40または1/60、遺物については1/3縮尺を原則とし、個々にスケールを付した。実測図の表現は凡例のとおりである。
- 9 写真図版の掲載縮尺は、遺構については任意縮尺、遺物については実測図に概ね準じている。
- 10 本事業の野外調査・室内整理および報告書作成・編集は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課埋蔵文化財担当が行った。平成22年度の担当職員は次のとおりである。
- 11 主任主査 斎藤邦雄 文化財専門員 菅常久 千葉正彦 戸根貴之
- 12 本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課が保管している。

凡例

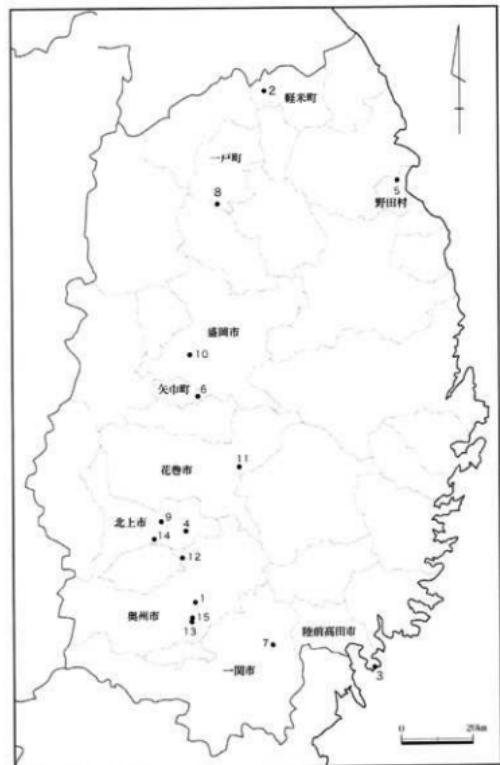
遺構図の表現



遺物実測図の表現(土師器・須恵器)



I 発掘調査



発掘調査

- 1 梶無遺跡（奥州市水沢区）
- 2 山内駒木2遺跡（九戸郡軽米町）
- 3 赤坂角地遺跡（陸前高田市）
- 4 館哲遺跡（北上市）
- 5 中平遺跡（九戸郡野田村）
- 6 風張遺跡（柴波郡矢巾町）
- 7 矢ノ日II遺跡（一関市大東町）
- 8 大畑IV遺跡（二戸郡一戸町）
- 9 下郷塚古館遺跡（北上市）
- 10 盛岡城跡（盛岡市）
- 11 西部遺跡（花巻市大迫町）
- 12 谷地遺跡（奥州市江刺区）
- 13 田高II遺跡（奥州市前沢区）
- 14 八天坂遺跡・久田II遺跡（北上市）
- 15 草井川遺跡（奥州市前沢区）

1 地域づくり緊急改善事業（歩道拡幅）

根蕪遺跡（NE37-0113）

所在地：奥州市水沢区姉体町字根蕪地内

事業者：県南広域振興局土木部

調査日：平成22年5月19日（水）～5月21日（金）

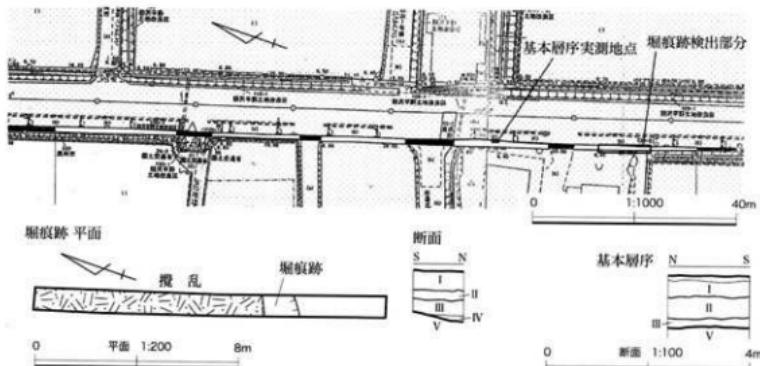
根蕪遺跡は奥州市水沢区姉体に所在し、JR東北線水沢駅の南東約3.9kmに位置している。今回の調査は国道343号の歩道拡幅工事に係るものである。調査に先立つ現地踏査で、宅地西側縁辺に土塁の残存と思われる帶状の高まりが観察され、北側では堀の落ち込みが見られることから、現宅地部分が堀と土塁に囲まれた環濠屋敷跡と推測された。以上の知見から、宅地隣接部分を対象とし、堀跡の確認を主たる目的として調査を実施した。

調査地内の基本層序は、I層：盛土（碎石）・表土（層厚30～40cm）、II層：暗褐色粘質土（層厚25～40cm、整地土）、III層：黒褐色土と黄褐色粘質土の混合土（層厚15～25cm、整地層）、IV層：黒褐色土（層厚20～30cm）、V層：明黄褐色粘土（層厚不明、上面はグライ化）である。調査の結果、部分的に堀痕跡が確認された。調査地南側において、現国道に伴う盛土・埋め戻し土（65～80cm）に厚く覆われた、地山面の浅い落ち込み（20cm程）が検出された。上記の層序IV層が堀の埋土と思われる。法面の立ち上がりは大半が人為堆積層に切られているため明確ではなかった。また同様の様相はその北側でも確認されており、地山面の標高値が「堀跡」部分とほぼ同レベルであることから、前述の落ち込み部分から連続する堀の底面であると思われる。堀に伴う遺物は出土しなかった。なお、調査地の北側では遺構・遺物ともに確認されなかった。他の遺構は検出されず、遺物は全く出土しなかった。

今回は調査範囲が現道沿いの狭隘なもので搅乱が著しかったこともあり明確ではなかったが、堀跡の一部分と思われる痕跡を確認した。伴出遺物を欠くため明確ではないが、近世の環濠屋敷に伴う堀であると推測される。



第1図 根蕪遺跡位置



第2図 根蕪遺跡調査区と検出遺構

2 経営体育成基盤整備事業大清水地区

山内駒木2遺跡（IF 82-1031）

所在地：九戸郡軽米町大字晴山山内

事業者：県北広域振興局農政部

二戸農林振興センター農村整備室

調査期日：平成22年6月1日(火)～6月4日(金)、

9月13日(月)～9月17日(金)

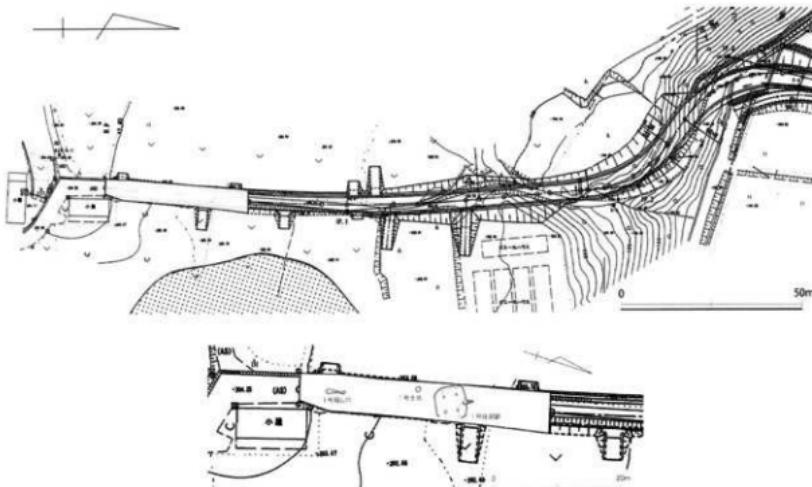
山内駒木2遺跡は、軽米町役場の西南西約5.7km、太田川右岸の丘陵上に立地している。今回の調査は農道改修工事に係るもので、平成21年度に実施した試掘調査において遺跡南西側隣接地で遺構を検出したため、遺構が存在すると推測される範囲を対象として発掘調査を行ったものである。

調査地の層序は、Ⅰ層：盛土（層厚30～40cm）、Ⅱ層：黒褐色土（40～70cm）、Ⅲ層：暗褐色土（20～40cm。中摂浮石を多量に含む）、Ⅳ層：黒色土（20～40cm。中摂浮石を疎らに含む）、Ⅴ層：暗褐色土（20～40cm。南部浮石を多量に含む）、Ⅵ層：赤褐色浮石（0～30cm。南部浮石純層）、Ⅶ層：にぶい黄褐色粘土（層厚不明。八戸火山灰層）となっている。

調査の結果、試掘で確認された陥し穴状遺構の他、土坑1基、竪穴住居跡1棟を検出した。竪穴住居跡は、南東隅付近が削削されて消失しているが、ほぼ全体が調査区内に収まっている。検出面はⅡ層下位～Ⅲ層面で、埋土上位には十和田a降下火山灰と思われる灰白色バミスが面的に堆積している。1辺約4.8mの方形平面で、確認した壁高は40cmである。床面は、カマド周辺を除いたほぼ全面に貼床がなされており、堅く踏み締められている。床面の掘り方は凹凸が著しい。柱穴は床面で4個検出された。配置はやや歪んだ台形状で、個々の柱穴から東西壁へそれぞれ溝が連結して掘り込まれ

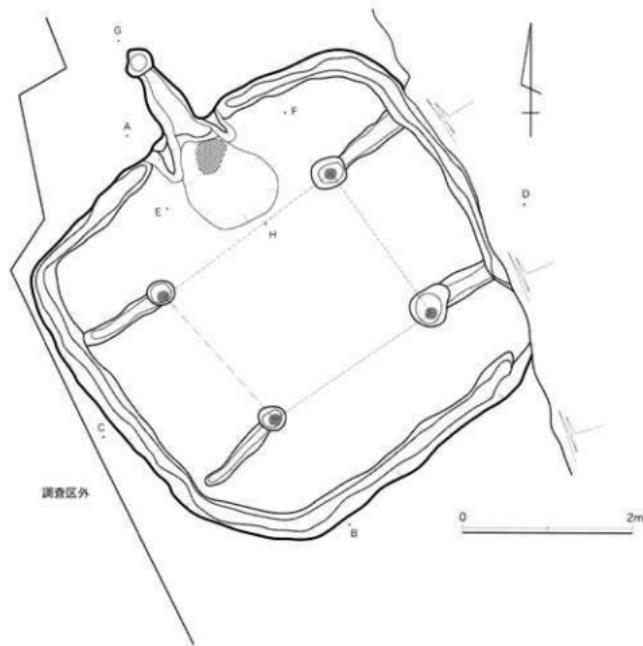


第3図 山内駒木2遺跡位置



第4図 山内駒木2遺跡調査区位置・遺構配置

1号竪穴住居跡



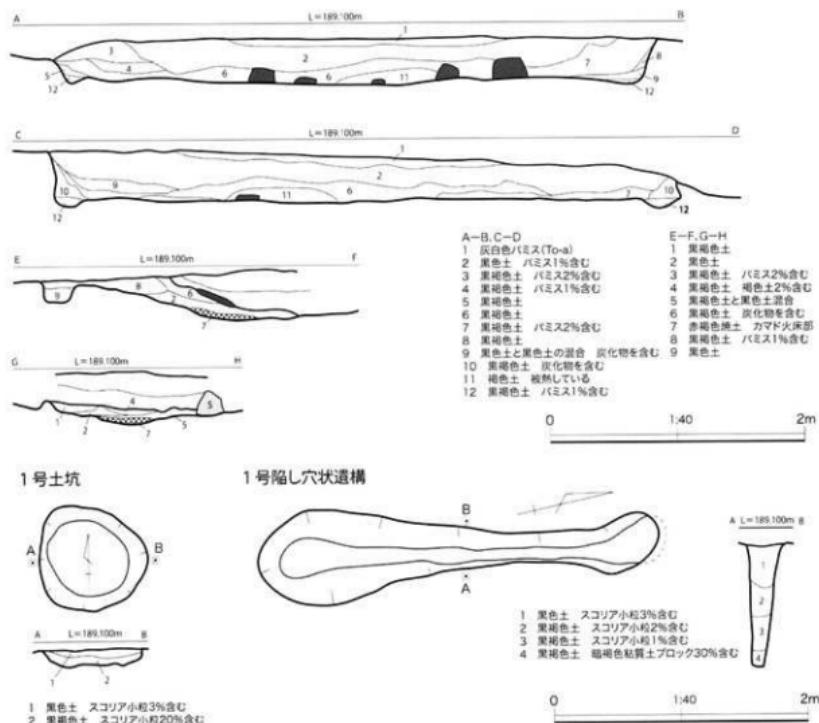
炭化材検出状況



第5図 山内駒木2遺跡検出構造 (1)

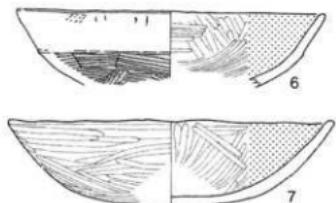
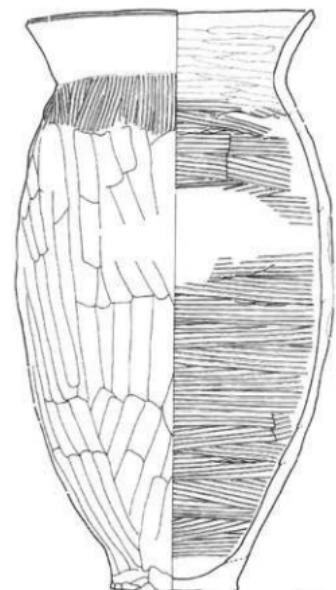
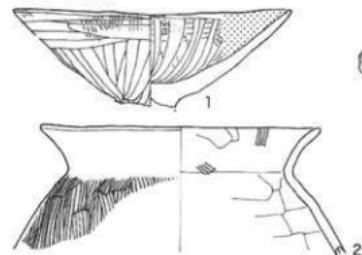
ている。この溝は間仕切りピットであると考えられる。カマドは1基のみで、北壁中央付近に設置されている。燃焼部の焼土層は薄く、被熱による焼土化の度合いは弱い。床面直上で炭化した部材が多量に出土しており、焼失住居と思われる。床面で検出された炭化材は、特に西隅部分では明らかに放射状に広がって検出されている。屋根の部材と思われる。また、西側中央寄りの炭化材は、並列した丸太材状のものが目立ち、床面に接していることから、床根太だったものかもしれない。埋土からは、土師器・須恵器が出土した。出土土器の年代観から、当住居跡の構築時期は奈良時代と推測される。土坑は調査区南端部付近で1基検出した。埋土からは縄文土器が少量出土したほか、土師器壺・鉢等が出土した。古代の土坑であると思われる。平面形は80×90cmの歪な円形、深さは10~15cmである。陥し穴状遺構は試掘調査で検出されたもので、検出面はV層上面、長さ3.1m、幅20~70cm、深さ1mの溝状ピットである。遺物は出土していないが、検出面およびその形態から縄文時代の遺構と推測される。

調査の結果、今回調査地は縄文時代の狩り場、奈良時代の集落跡の一部をなしていることが確認され、周知の山内駒木2遺跡の範囲が今回調査区まで広がっていると考えられる。

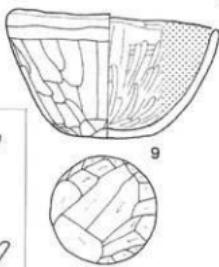
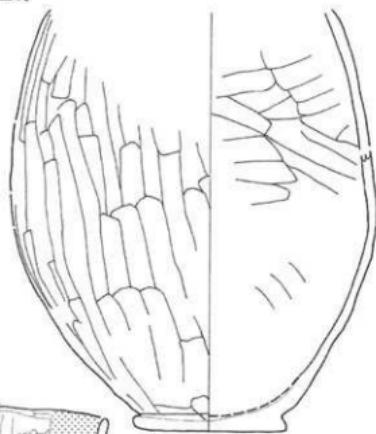


第6図 山内駒木2遺跡検出遺構（2）

1号竪穴住居跡



1号土坑



0 1:3 10 cm

第7図 山内駒木2遺跡出土遺物

3 中山間地域総合整備事業広田地区

赤坂角地遺跡 (NF89-2052)

所在地：陸前高田市広田町字赤坂角地 地内

事業者：沿岸広域振興局農林部

大船渡農林振興センター

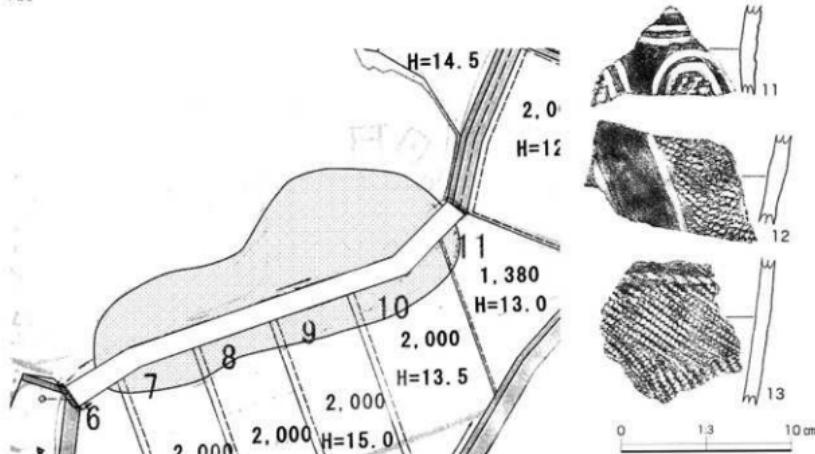
調査期日：平成22年6月1日(火)～4日(金)

赤坂角地遺跡は、広田半島南部の岩倉海岸の西側約180mに位置する。当遺跡付近には海岸部から連続する形で入り江状に抉入する谷地形が見られ、遺跡はその谷北側に沿う丘陵裾の斜面に立地している。今回の調査はは場整備事業に伴う農道改修工事に係るもので、平成21年度に実施した試掘調査において埋設土器と思われる縄文土器を検出したことから、工事予定範囲となっている現道および南側に隣接する水田の一部を対象として発掘調査を実施したものである。

調査地の基本層序は、I層：表土・水田耕作土（層厚25~35cm）、II層：現道にともなう盛土（層厚0~100cm、東側へ向かって厚みを増す）、III層：暗褐色砂質土（層厚40cm）、IV層：黒褐色砂質土（層厚15~30cm）、V層：黒色砂質シルト（層厚35~60cm、縄文土器片を僅かに含む）、VI層：灰黄褐色砂質土（層厚10~25cm、湧水する）、VII層：にぶい黄色砂質シルト（層厚45cm、縄文土器片を疎らに含む）、VIII層：明黄褐色砂質土（層厚不明、地山）となっており、V~VI層付近では丘陵側からの湧水が顕著に見られる。この湧水の影響もあって水田部分では土層にしまりを欠いている。砂質土層には縄文時代中期と思われる遺物が含まれており、主にV層を主体に一部V層から縄文土器が9号ビニール袋3袋分出土した。遺物を含むV層は調査地西側では顕著であるが、標高が低くなる東側に向かうに従て薄くなり確認できなくなる。試掘調査時に埋設土器遺構と推測されたものは、今回確認された遺物包含層の一部だったものと判断される。VII層上面で遺構検出を行ったが確認されなかつた。



第8図 赤坂角地遺跡位置



第9図 赤坂角地遺跡調査区・出土遺物

4 北上川中流部治水対策事業

館IV遺跡 (ME 66-1228)

所在地：北上市立花3地割ほか

事業者：国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

調査期日：平成22年6月22日(火)～6月25日(金)

6月29日(火)～30日(水)

館IV遺跡は北上市役所の東方向約2.4kmに位置し、北上川左岸の段丘低位面に立地している。今回の調査は北上川堤防工事に係るものであり、平成21年度に試掘調査において遺跡北東縁辺付近で遺構が検出されたことから、周知の遺跡範囲および隣接地を調査対象として実施したものである。なお、調査の過程で当初想定した範囲より北東側へも遺構が分布することが判明したため、調査地を拡張して精査を行った。

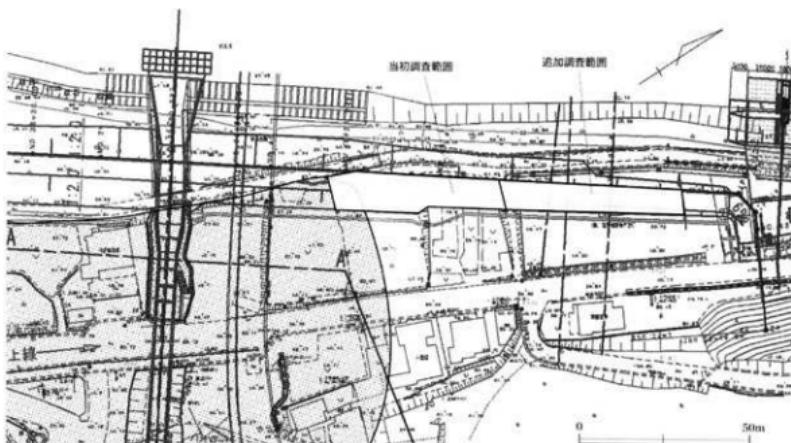
精査の結果、調査区中央部付近で土坑14基、柱穴状土坑31個、井戸跡2基が検出された。

土坑は円形または楕円形平面を呈するものが主であるが、径50～130cmと規模にはばらつきがある。出土遺物は6号土坑を除く13基で縄文土器が出土している。なお、現道脇で検出された3号土坑については、擾乱の可能性が高いことから断面記録は省略した。

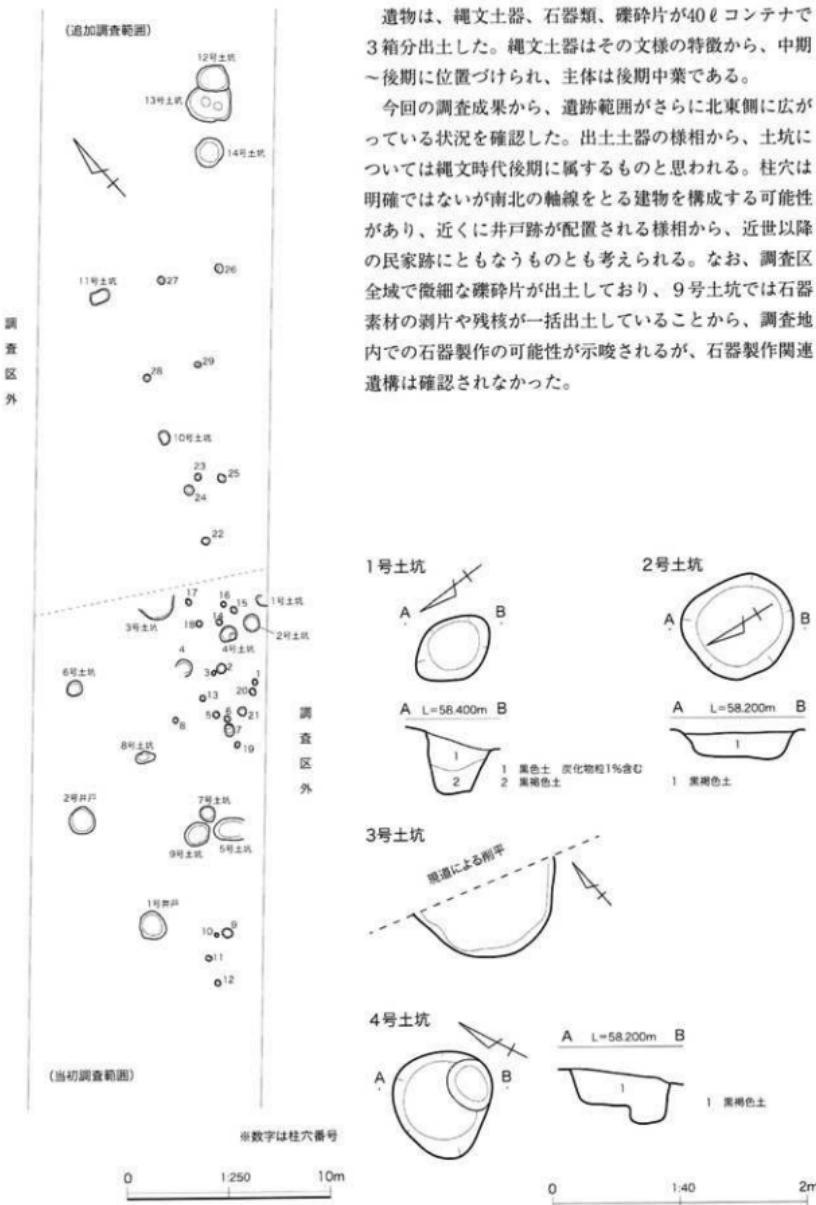
柱穴状土坑は31個検出された。径20～40cm程度の円形平面で、底面に根石を設置したものもある。掘り方理土から縄文土器が出土したものもあるが、所属時期は明らかではない。分布状況から、南北方向に軸線をとる配置が一部で見られるが、調査区の制約により建物としては把握できなかった。また柱穴群の西側で円形平面の井戸2基が検出されたが、湧水が著しく崩落の危険性があったため完掘できなかった。その形状や埋土の様相から近世以降に属すると思われる。



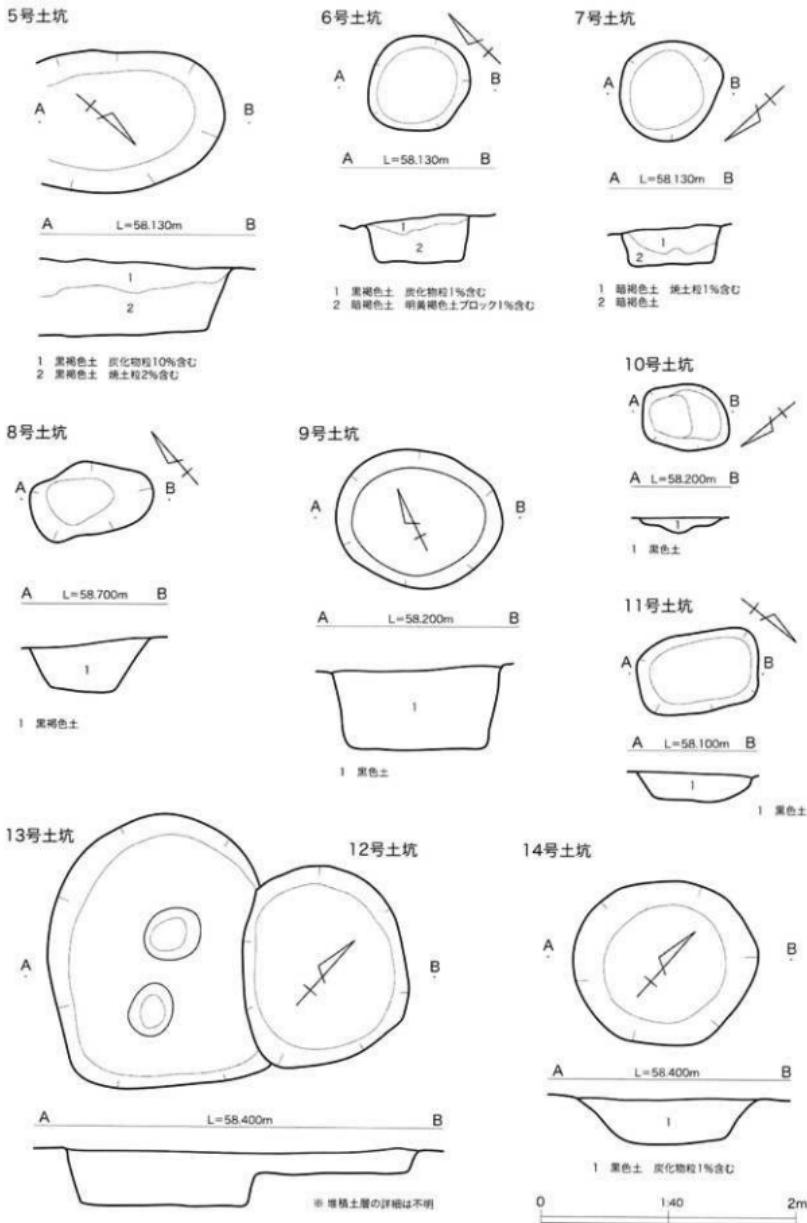
第10図 館IV遺跡位置



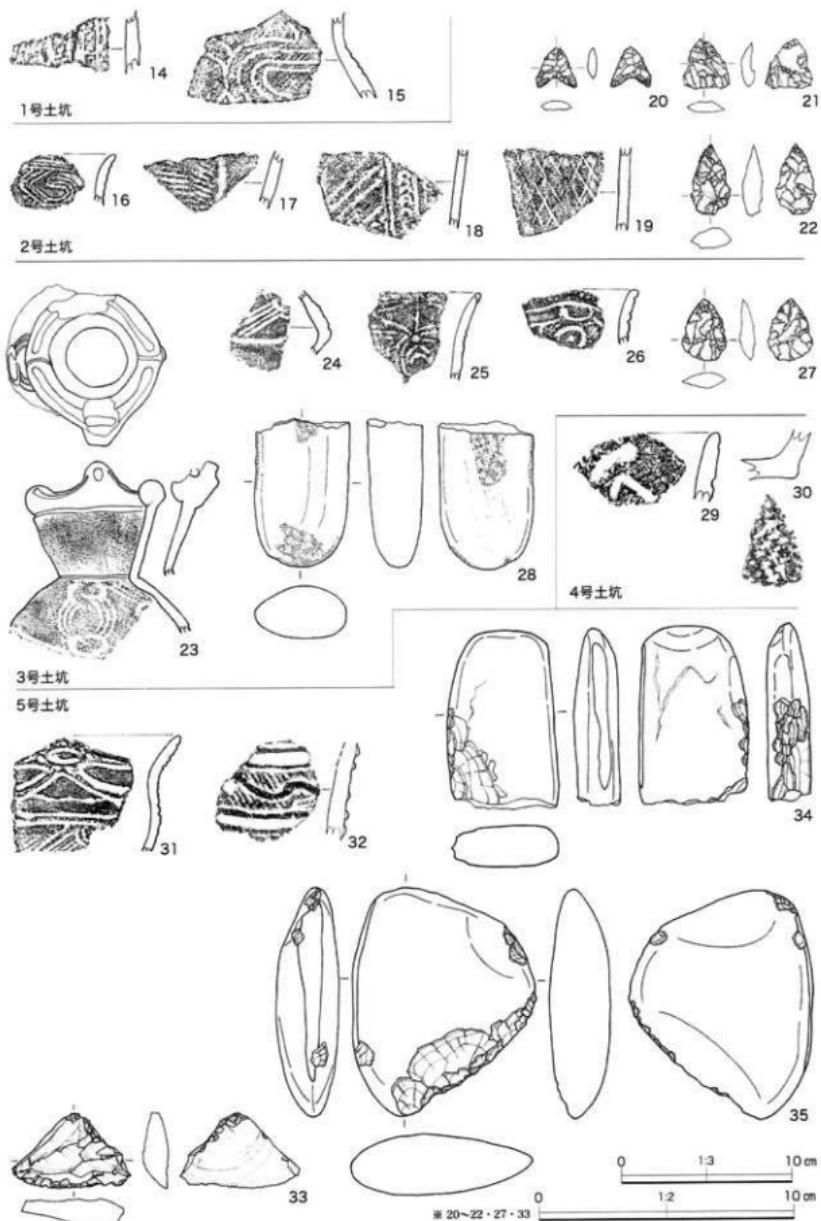
第11図 館IV遺跡調査区



第12図 館IV遺跡遺構配置図・検出遺構(1)



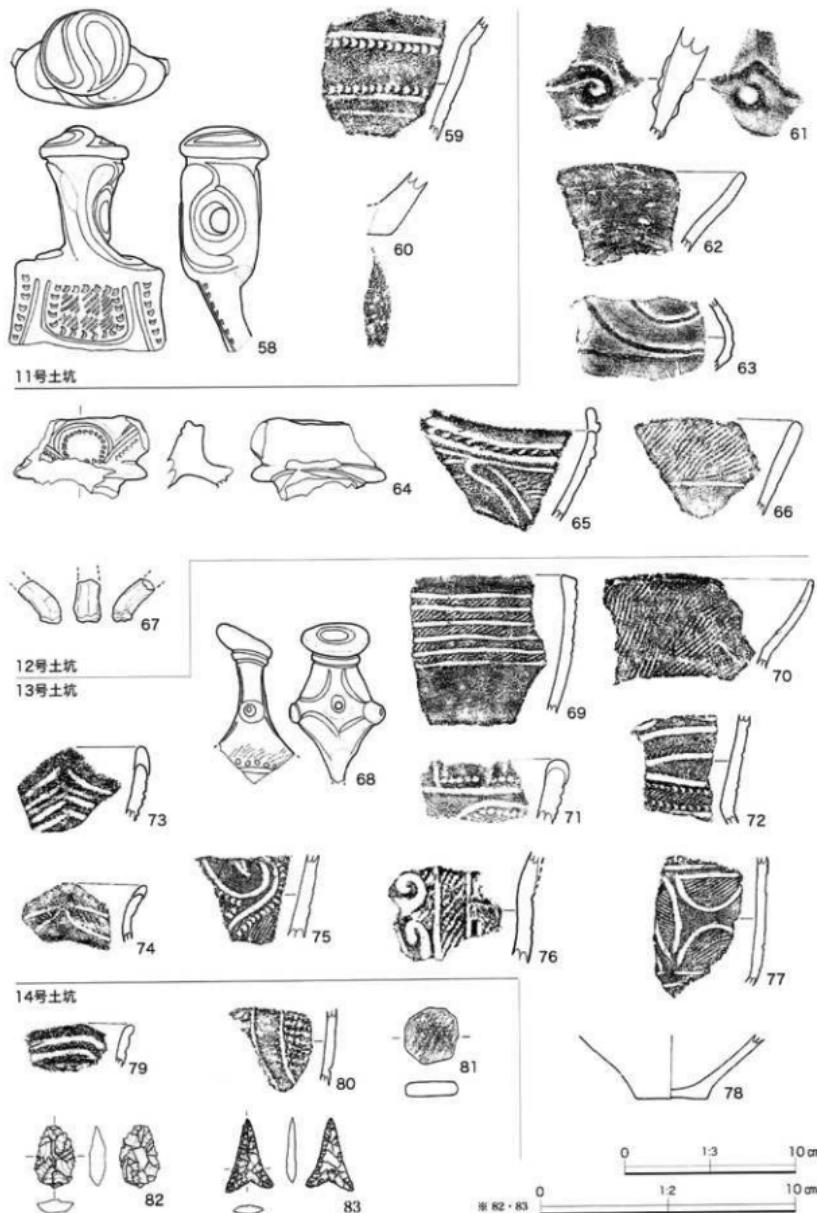
第13図 館IV遺跡検出遺構 (2)



第14図 館IV遺跡出土遺物（1）

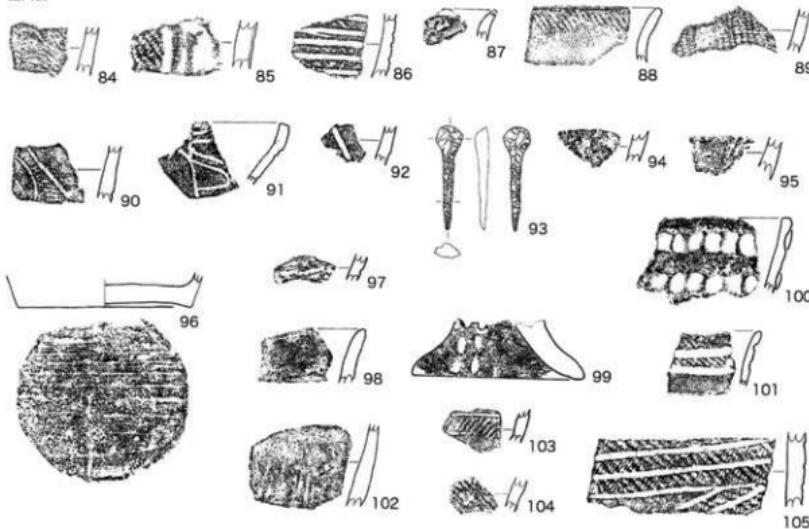


第15図 館IV遺跡出土遺物（2）

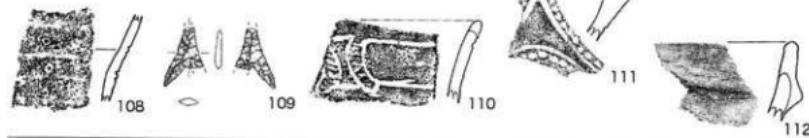


第16図 館IV遺跡出土遺物（3）

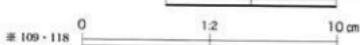
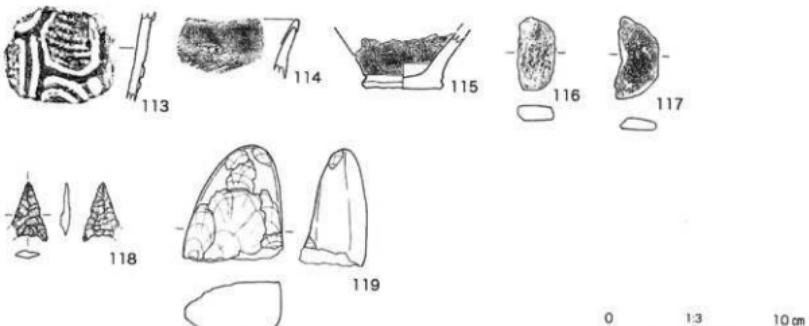
柱穴群



1号井戸



遺構外



第17図 館IV遺跡出土遺物（4）

5 公共下水道事業

中平遺跡（J G 60 - 0258）

所在地：九戸郡野田村大字野田中平地内

事業者：野田村

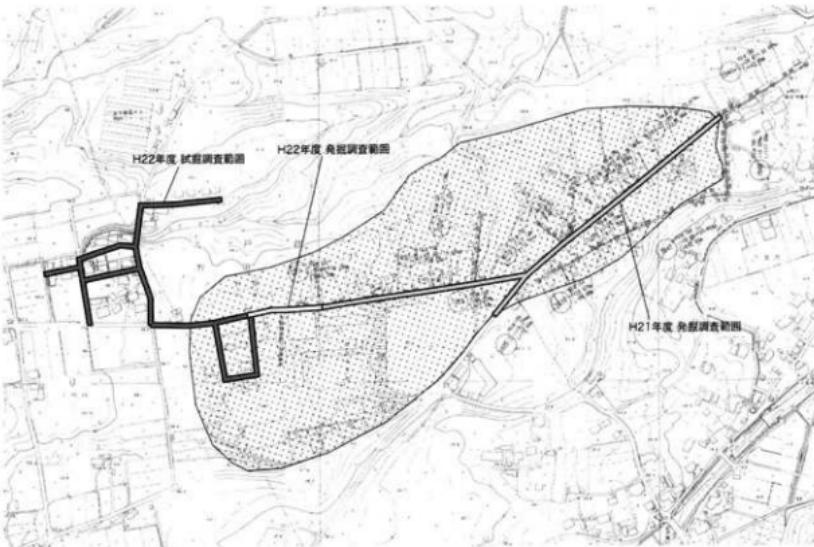
調査期日：平成22年8月2日(月)～8月5日(木)

中平遺跡は野田村役場の南西約1.8kmに位置し、標高25～60mの丘陵上に所在している。当遺跡は、昭和27年から岩手大学により4次にわたる発掘調査が実施され、平安時代の堅穴住居跡が調査されている。また周辺踏査により住居跡100棟以上が存在すると推測され、一帯が平安期の一大集落であると考えられた。昭和29年、現・野田中学校の西側隣接地が県史跡「野田堅穴住居跡群」として指定された。遺跡の西側は一段高位の平坦地で、中学校付近から東に向かって緩やかに下り、村道三叉路付近から東は低位面となっている。当遺跡の北東隣接地には大平野遺跡が所在している。

今回の発掘調査は野田村の公共下水道埋設工事に係るもので、村からの依頼を受けて当教育委員会が調査を代行する形で実施した。当工事に係る発掘調査は、平成21年10月に工事予定期間東側を対象として実施しており、堅穴住居跡・土坑・溝跡等、古代の遺構が多数検出されている（岩手県文化財調査報告書 第132集）。今回の調査範囲は西側部分について実施したもので、調査地は遺跡範囲の西端付近にあたる標高50～56mの台地上面である。現況は村道および私道で、調査地の西端付近は県史



第18図 中平遺跡位置



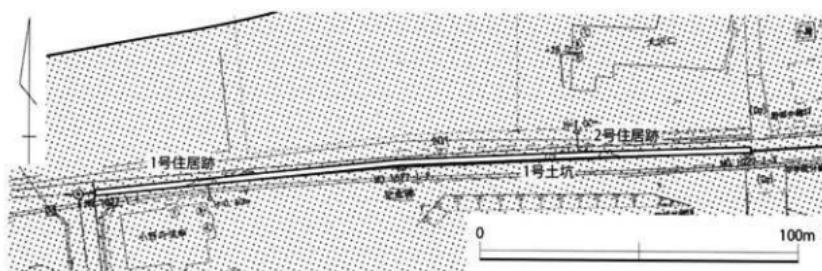
第19図 中平遺跡調査範囲

跡指定地に隣接している。なお、工事予定範囲のうち遺跡範囲の村道部分については悉皆調査を実施したが、遺構の検出状況から判断して、西側村道部および南側私道部については試掘調査に切り替えて遺構・遺物の有無を確認した。試掘調査部分では遺構・遺物ともに確認されなかった。

調査区の層序は、概ね次のとおりである。I層：アスファルト・碎石（層厚40～80cm）、II層：褐色土と黒色土の混合土（層厚60cm。埋没谷部分のみ。盛土整地層）、III層：黒褐色土（層厚0～60cm。旧表土層）、IV層：暗褐色土（層厚10～20cm。漸移層）、V層：明黄褐色土（層厚不明。地山、遺構検出面）。

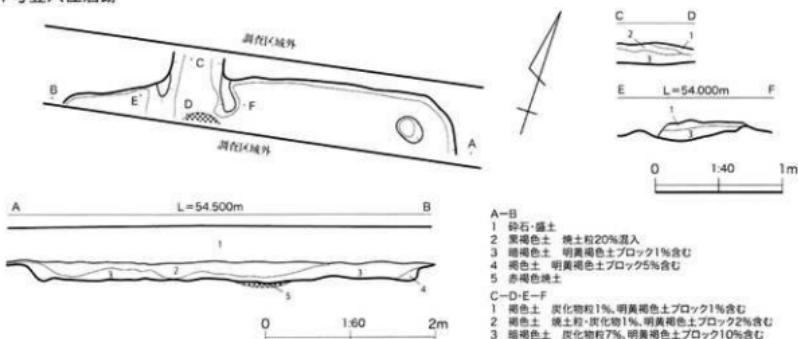
調査の結果、竪穴住居跡2棟、土坑1基を検出した。いずれも部分的にしか確認できず、全容は不明である。竪穴住居跡は調査区の東・西両端で検出した。2棟とも大部分が南側調査区外に延びており規模の詳細は不明であるが、1辺4m内外の方形平面を呈し、主軸線は北から北西方向になるものと推測される。北壁にはカマドが付設されている。カマド燃焼部の焼土層は弱く、痕跡程度である。住居跡に伴う遺物は出土せず、直接的な時期判断ができないものの、周辺の調査成果および住居形態からみて古代に帰属するものと推定される。土坑は平面が橢円形基調、断面は逆台形を呈するものであるが、南側調査区外へと延びており、全容は不明である。検出面で縄文土器の小破片が出土しており、縄文時代に属するものと推測される。用途は特定できなかった。遺構外では遺物は全く出土していない。

今回調査地は県史跡指定に近く、古代集落の中心部分にあたると予想されたが、現道工事による削平のためか検出遺構は少なかった。竪穴住居等の遺構は21年度調査地の一段低い台地面により良好に遺存しているようである。

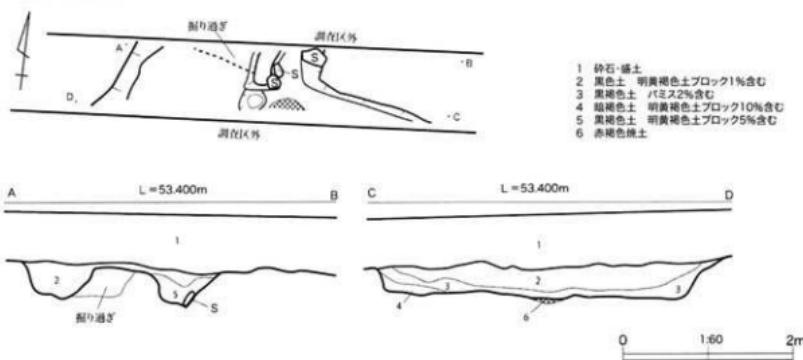


第20図 中平遺跡調査区・遺構配置

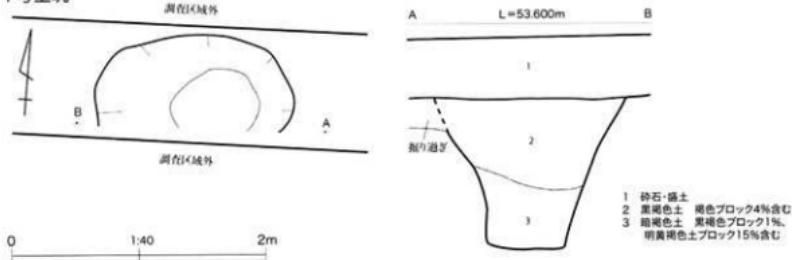
1号竪穴住居跡



2号竪穴住居跡



1号土坑



第21図 中平遺跡検出遺構

6 経営体育成基盤整備事業徳田第2地区

風張遺跡 (LE47-1169)

所在地：紫波郡矢巾町徳田地内

事業者：盛岡広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成22年8月4日(水)～8月11日(水)、

11月5日(金)

風張遺跡は、JR東北線矢巾駅の南東約3kmに位置する。北上川右岸の沖積地面の微高地に立地している。現況は水田・畑地・宅地で、標高は103mである。徳田第2地区のは場整備事業にともない、平成21年度に実施した試掘調査の際に新規発見された遺跡である。今回の発掘調査は、工事の際に遺構面まで掘削が及ぶ、小排水路設置部分(A区)、給水栓設置部分(2箇所:B・C区)、農道設置部分(D区)、合わせて4地区である。なお、8月に調査が終了した後、工事計画に一部変更があったため、11月にバイオラインの町道横断部分(E・F区)の追加調査を実施している。

調査地の層序は、I層：表土および耕作土(層厚15～35cm)、II層：黒褐色土(層厚0～120cm。盛土)、III層：黒褐色土(層厚0～20cm。古代遺物を包含)、IV層：にびい黄褐色土(層厚0～20cm。漸移層)、V層：褐色土(層厚不明。遺構検出面)、VI層：褐色砂質土(層厚不明)、となっている。

検出された遺構は、竪穴住居跡1棟、土坑4基、焼土5基、柱穴9個である。

竪穴住居跡はC区で1棟検出された(1号住居跡)。部分的にしか確認できないため全体形状は不明であるが、隅丸方形平面と推測される。確認部分での規模は、東西2m×南北1.2m、壁高は30cmである。埋土から土師器・須恵器片が出土しており、平安時代に属するものと推測される。カマドは確認されていない。なお、C区に隣接するF区では当住居跡の北側部分は検出されなかった。F区は現町道部分にあたり、遺構・遺物とともに検出されなかったことから、道路設置の際に著しく削平されてしまったものと思われる。

土坑はA区で2基、D区で2基検出された。A区の1・2号土坑は形状・規模が異なるが隣接して検出されており、ともに埋土中に多量の炭化物粒が混入している。埋土からは土師器片が出土しており、平安時代に属するものと推測される。3・4号土坑は径70cm・深さ20～25cmの浅い円筒形を呈する。出土遺物を欠き、時期不明である。

焼土遺構は時期・性格を判断する材料が乏しいが、検出面および周辺の出土遺物から平安時代に属する可能性がある。柱穴は9個検出されている。1号柱穴で土師器小片が出土した以外は遺物を伴わず、時期不明である。

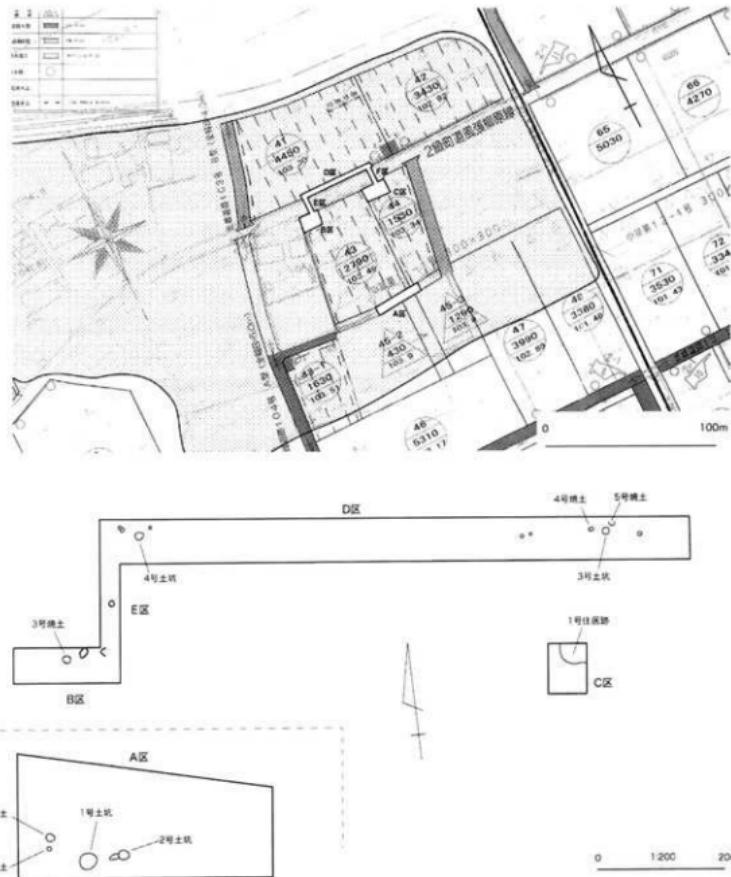
出土遺物は主に土師器および須恵器で、1号住居跡および1号土坑からの出土量が多い。壺・甕とともにロクロ使用のもので、器形の特徴や器種組成から9世紀後半から10世紀前半頃に位置付けられるものと思われる。土製品は円筒状のものと焼成粘土塊が出土した。円筒状土製品は1号土坑および遺構外で出土しているが、一見すると土師器甕に似ているが、厚みがあって背の高いものである。他遺跡の類例から、カマド構築の際に芯材として使われる土製品の可能性があると思われる。

調査結果から、今回の調査地は平安時代の集落跡だったことが確認された。遺跡の主体は現宅地を



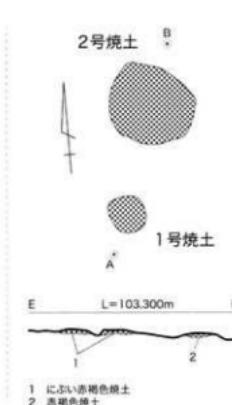
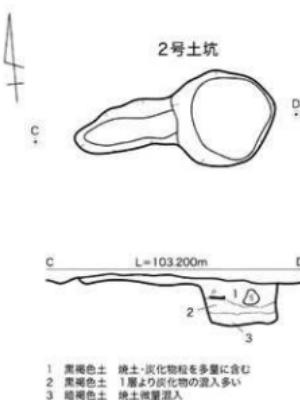
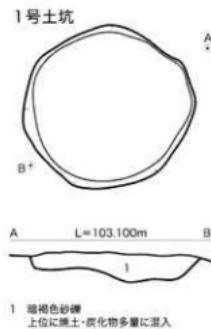
第22図 風張遺跡位置

中心とする微高地面に広がっていると推測される。当遺跡の南西側には、古代の城柵官衙である国史跡・徳丹城跡が隣接している。当遺跡で検出された遺構群と徳丹城との関連については明らかではないが、時期・位置関係から何らかの関連性を有するものと思われる。

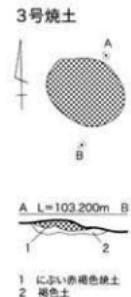


第23図 風張遺跡調査区・遺構配置

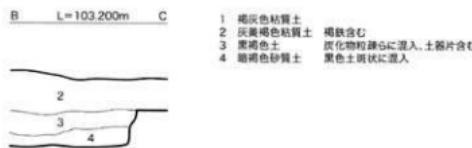
A区



B区

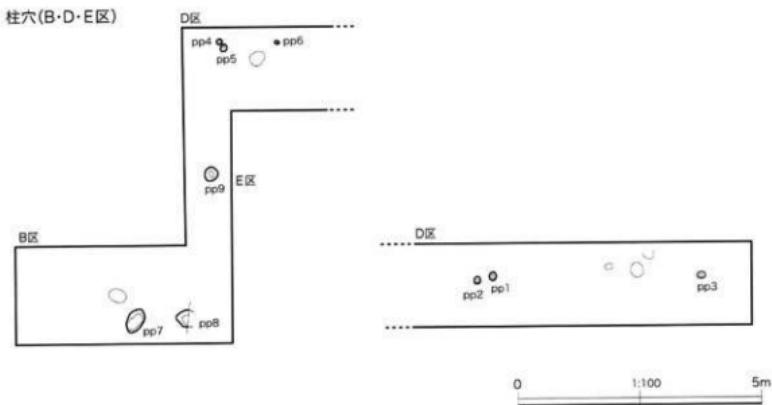
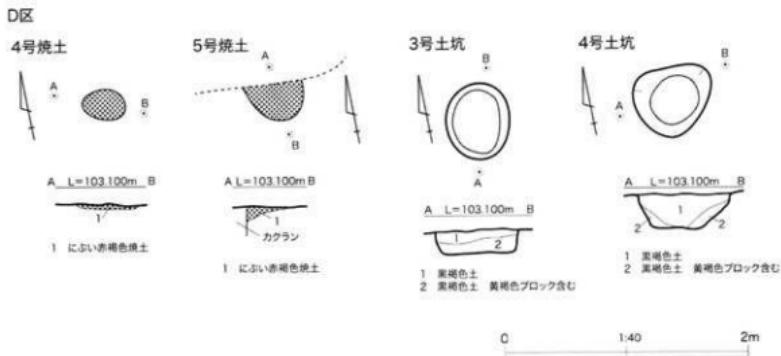


C区



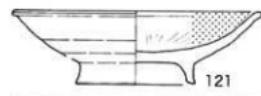
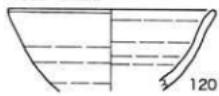
0 1.40 2m

第24図 風張遺跡検出遺構 (1)

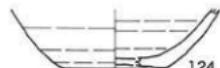


第25図 風張遺跡検出遺構(2)

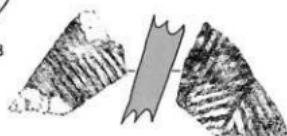
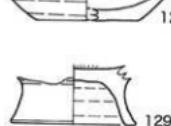
1号整穴住居跡



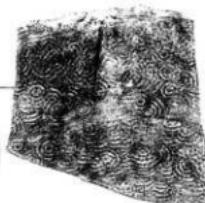
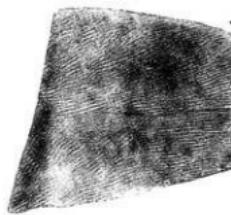
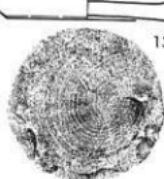
3号焼土



1号土坑



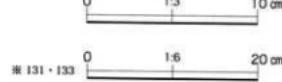
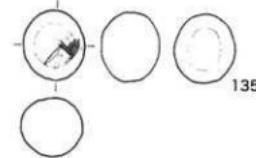
132



131



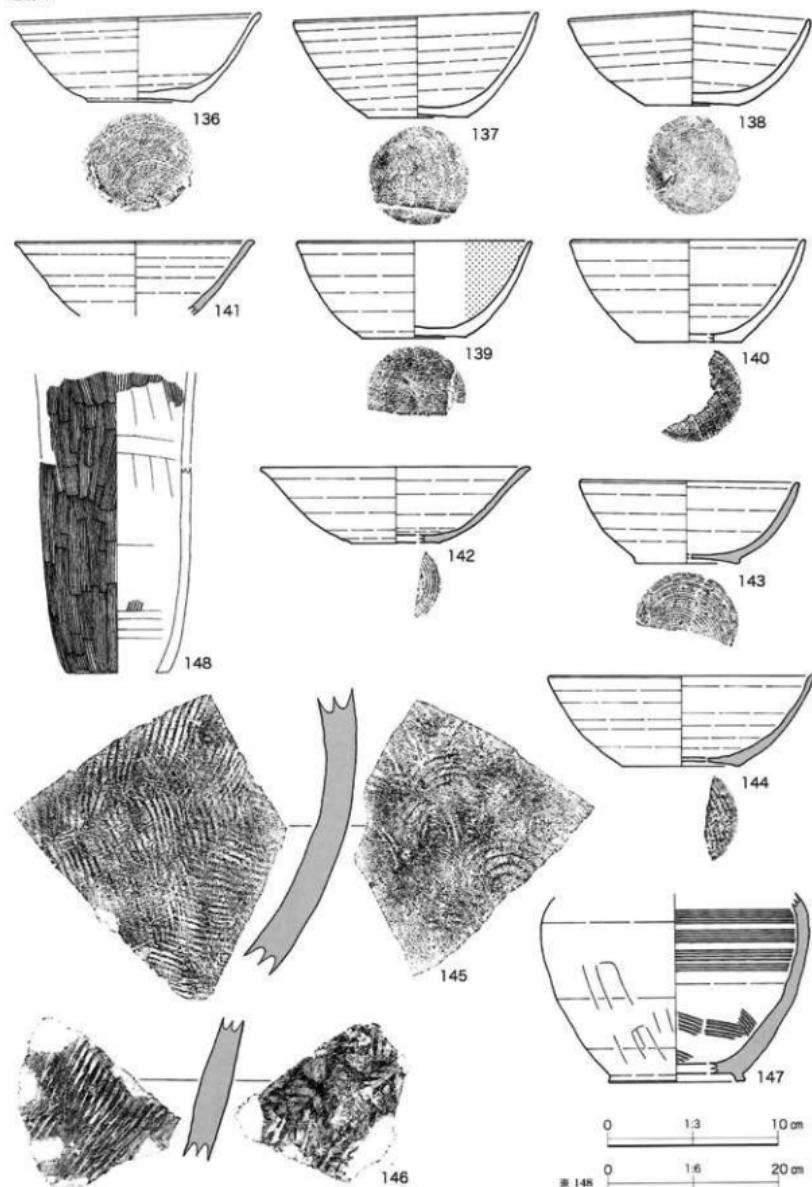
133



米 131・133

第26図 風張遺跡出土遺物 (1)

遺構外



第27図 風張遺跡出土遺物 (2)

7 地域道路整備事業大原バイパス

矢ノ目Ⅱ遺跡 (NF62-1157)

所在地：一関市大東町大原字七切地内

事業者：県南広域振興局土木部一関土木センター

調査期日：平成22年8月23日(月)～8月27日(金)

今回の調査区は、一関市役所大東支所の南東約1kmに位置し、砂鉄川とその支流によって形成された河岸段丘上に立地している。現況は主に水田として利用されており、標高は157～164mを測る。今回の調査はバイパス道路築造工事に係り、平成21年度に実施された試掘査において埋蔵文化財が確認された箇所を対象として、周知の矢ノ目Ⅱ遺跡の範囲を拡大するものとして発掘調査を実施した。

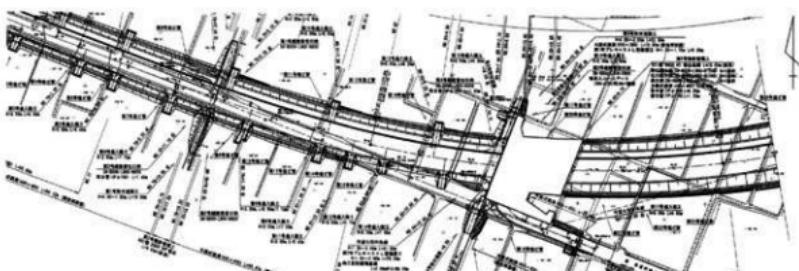
精査の結果、竪穴状造構（竪穴建物？）1棟、柱穴状土坑51個、井戸跡2基が検出されたが、遺物は出土しなかった。

竪穴遺構は、一辺が3.3～3.4mのほぼ方形で、床面までの深さは約10cmと浅く、水田造成による地形変更を受けていることが伺えた。壁面は床から緩やかに傾斜する形で柱穴が掘り込まれていた。遺物は出土していないが、その形態から中世以降の竪穴建物跡と推測される。柱穴状土坑は51個が検出された。東側の柱穴群については配置に規則性が見いだせなかったが、西側の柱穴群（PP1～45）では、掘立柱建物跡2棟、柱穴列4条が想定された。1号掘立柱建物跡は柱穴の配置がやや歪はあるが、梁行1間・桁行5間の側柱建物と推測される。なお、上述の竪穴遺構が当建物の範囲内に収まり、若干のズレがあるものの軸線がほぼ同じことから、1号竪穴遺構が当掘立柱建物の付属施設の痕跡である可能性も考えられる。2号掘立柱建物跡は2間×1間の小規模なもので、1号掘立柱建物跡とその範囲が重複している。柱穴の重複関係から、1号掘立柱建物跡よりも新しいものである。出土遺物を欠くため、所属時期は不明であるが、形態的特徴から中世以降に構築されたものと考えられる。なお井戸跡については、1・2号とも湧水が激しく完掘することができなかつたため、詳細は不明である。平面形は径2m前後の円形で、検出面からの深さは50cm程度である。時期不明である。

調査成果から、今回の調査区は中世以降（近世か）の集落跡の一部と推測される。矢ノ目Ⅱ遺跡の範囲が今回調査地まで広がるものであると考えられる。



第28図 矢ノ目Ⅱ遺跡位置

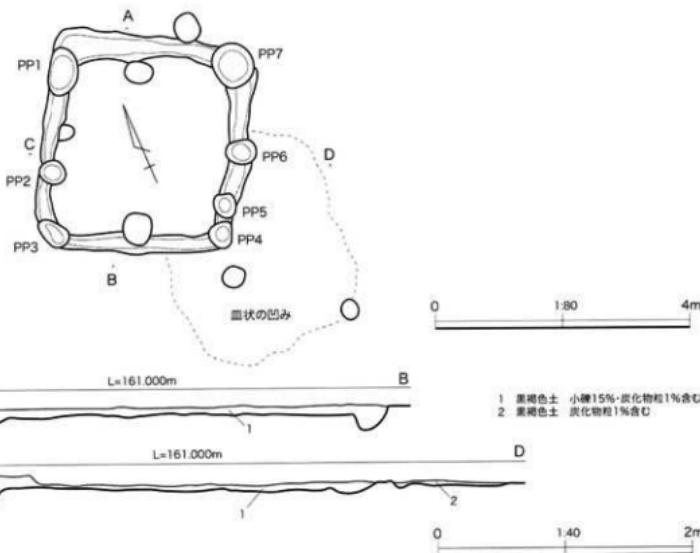


第29図 矢ノ目Ⅱ遺跡調査区

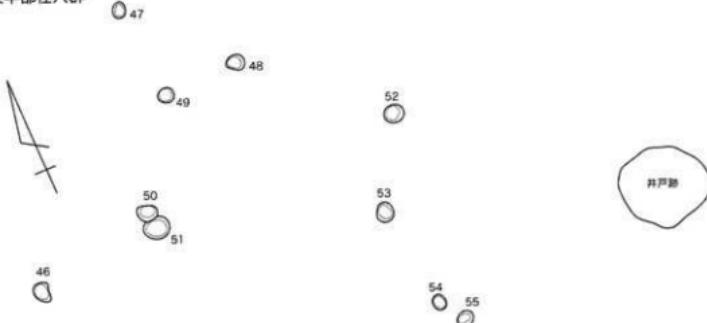
遺構配置図



1号竪穴遺構

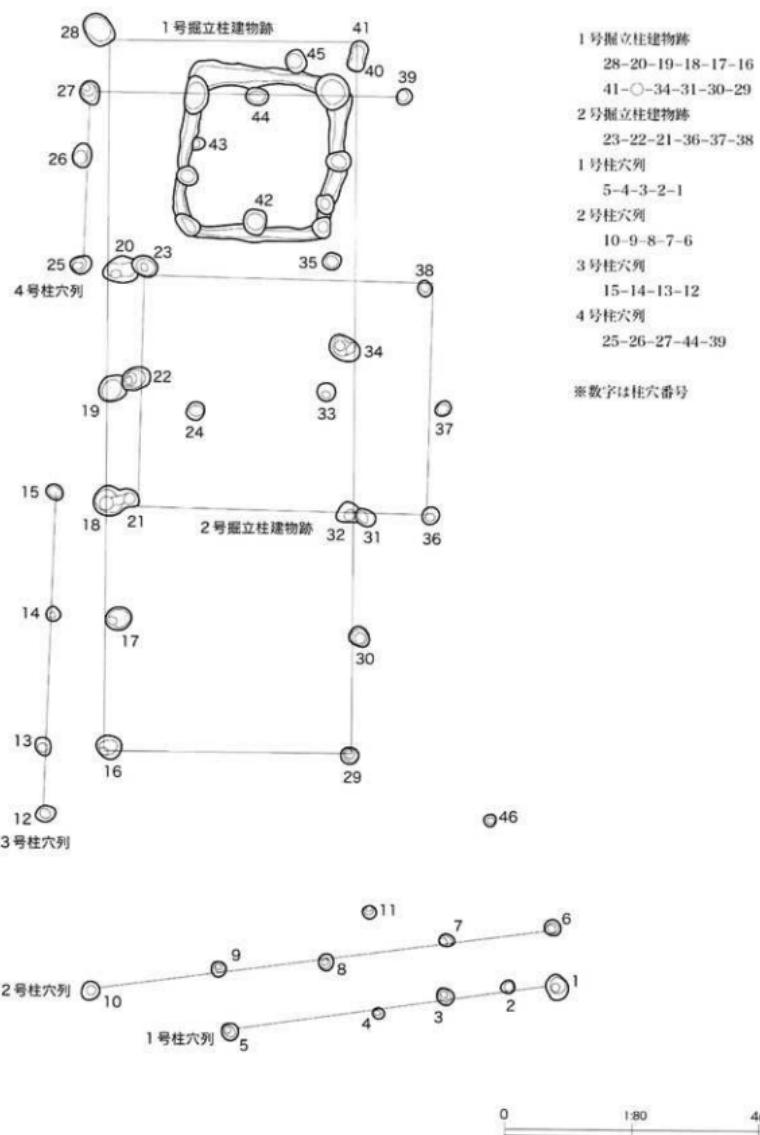


調査区東半部柱穴群



第30図 矢ノ目Ⅱ遺跡検出遺構（1）

調査区西半部柱穴群



第31図 矢ノ目Ⅱ遺跡検出遺構（2）

8 畑地帯総合整備事業

大畠IV遺跡 (JE78-2362)

所在地：二戸郡一戸町中山字大畠地内

事業者：県北広域振興局農林部

二戸農林振興センター農村整備室

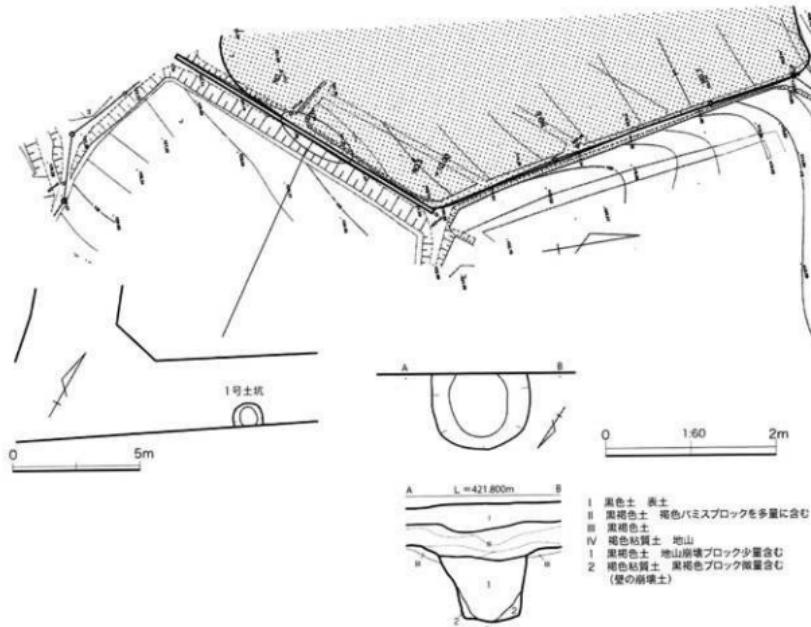
調査期日：平成22年9月1日(水)～9月2日(木)

大畠IV遺跡は一戸町役場の南南西方向約17.8kmに位置し、尾根の緩やかな北斜面に立地している。現況は畠地及び農道である。バイオライン敷設工事とともに、試掘調査で遺構が確認された箇所およびその周辺部分を対象として発掘調査を実施した。

精査の結果、試掘調査時で検出された土坑以外の遺構は、今回の調査範囲内では検出されなかった。検出された土坑は、110cm×90cmの円形平面で、深さ約70cm、断面形はビーカー形を呈している。遺物が出土していないため構築時期は不明である。遺構の掘り込み層位やその形状から、縄文時代に属するものと推測される。なお、当土坑の東西両側は低湿地の様相を呈しており、遺構・遺物ともに確認されなかった。今回の調査対象区域は遺跡の南東縁辺部にあたり、遺構・遺物が希薄な状況だったと思われる。



第32図 大畠IV遺跡位置



第33図 大畠IV遺跡調査区・検出遺構

9 経営体育成基盤整備事業江釣子第1地区

下糠塚古館遺跡 (ME55 - 1160)

所在地：北上市濱田19地割地内

事業者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査期日：平成22年11月1日(月)～11月2日(水)

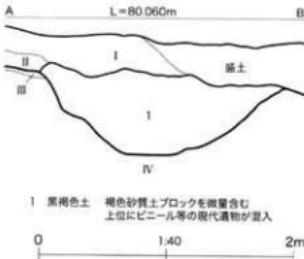
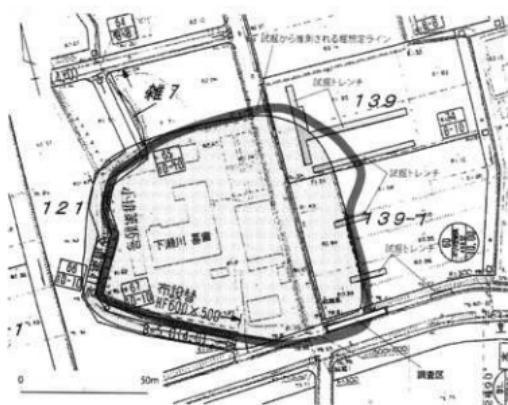
平成23年2月18日(金)

遺跡は、北上市役所の北西方向約4.6kmに位置し、南向きの段丘上縁辺部に立地している。調査区は現農道である。今回の調査は、ほ場整備事業に係る親水公園整備に伴う舗装予定の園路設置箇所が対象で、試掘調査において遺構が確認された箇所が対象である。

調査の結果、環濠屋敷の堀跡 1 条が検出された。堀は開口部幅約 2m、深さ 1.5m の規模で、第Ⅱ層から掘込まれている。断面形は逆台形である。埋土の状況を見ると、比較的最近まで埋没せずに開口しているらしく、近現代の遺物が混入し、堀跡底部はグライ化していた。堀をそのまま水路として利用して



第34図 下緑塚古館遺跡位置



第35図 下糠塚古館遺跡調査区・検出遺構

10 盛岡城跡家簡裁序舎増築等工事

盛岡城跡 (LE16 - 0355)

所在地：盛岡市内丸地内

事業者：最高裁判所事務総局経理局

調査期日：平成22年11月29日(月)～11月30日(火)

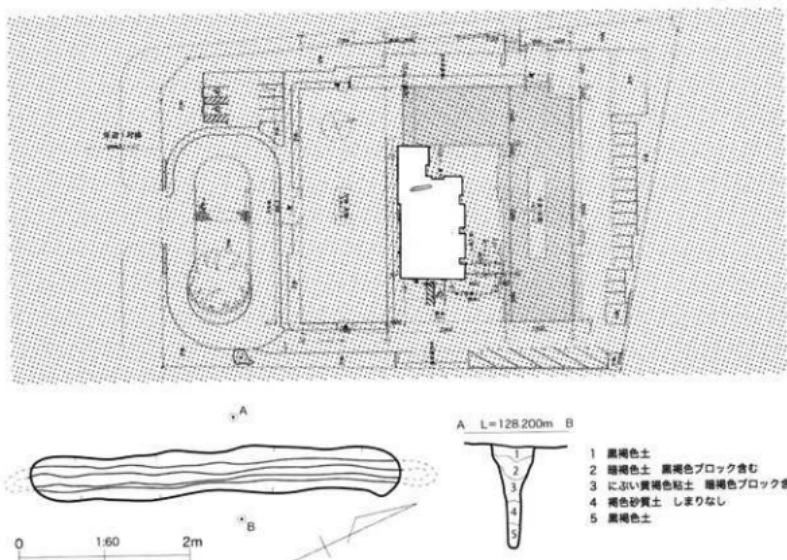
盛岡城跡はJR盛岡駅の東北東約1.3km、北上川と中津川に挟まれた火山灰台地上に立地している。調査は裁判所庁舎の増改築工事に係るもので、裁判所敷地内の約300mについて実施した。調査地の標高は128mである。

調査地の層序は、Ⅰ層：アスファルト(5cm)、Ⅱ層：碎石(60～105cm)、Ⅲ層：黒褐色シルト(0～15cm)、Ⅳ層：暗褐色シルト(0～30cm)、Ⅴ層：黄褐色粘土(層厚不明、地山)となっており、Ⅳ～Ⅴ層が遺構検出面である。調査区南西側で溝状の土坑を検出した。長さ4.3m、幅0.6m、深さ1.2mで、長軸方向は両端が抉れるように掘り込まれている。遺物は出土しなかったが、形状から縄文時代の陥し穴状遺構と推測される。それ以外の遺構は検出されず、遺物は全く出土しなかった。

調査地は南部氏の居城・盛岡城の範囲内にあたり、絵図によれば南部氏重臣の屋敷地跡に相当するが、今回調査では近世の遺構・遺物は確認されなかった。調査地周辺は盛岡市中心部にあって市街地化が著しく、明治以降の開発により攪乱されて近世の遺構・遺物は既に失われていると推測される。



第36図 盛岡城跡位置



第37図 盛岡城遠曲輪跡調査区・検出遺構

11 中山間地域総合整備事業中居地区

西部遺跡 (MF09 - 0319)

所在地：花巻市大迫町外川目地内

事業者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

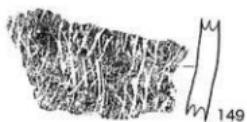
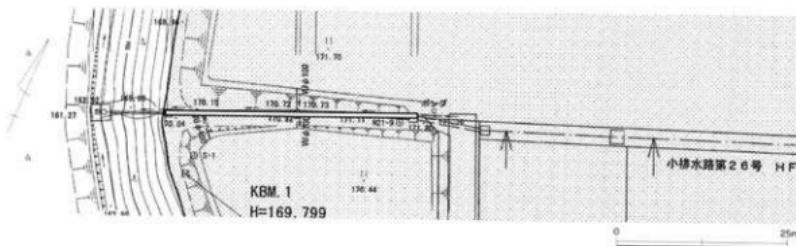
調査期日：平成22年12月20日(月)～12月21日(火)

遺跡は、花巻市役所の東北東約17.1kmに位置し、中居川左岸に形成された河岸段丘上に立地しており、今回の調査区は段丘縁辺部にあたり、現況は農道である。今回の発掘調査は、ば場整備事業に伴い設計変更が生じた排水路埋設に伴うもので、平成22年10月8日に実施した試掘調査で、埋蔵文化財が確認された箇所が対象である。また、今回の調査区は、平成21年度に財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターによる発掘調査区域に西接する。埋蔵文化財センターの調べている。

精査の結果、試掘調査において遺物包含層とした箇所については、水田造成に伴う際に抜根された痕に、周囲から旧表土と思われる第Ⅱ層の黒褐色土が入り込んだものと判断した。また、この抜根痕下には水性堆積の黒色土が堆積した旧沢跡が見られた。この黒色土上面には繩文時代前期の土器片が少量含まれていたが遺構等に伴うものではなく、この沢上流からの流れ込みであると推測した。



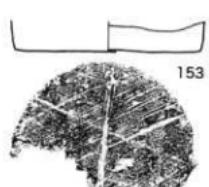
第38図 西部遺跡位置



W 149



150



153



三



10 cm

第39図 西部遺跡調査区：出土遺物

12 稲瀬地区堤防質的整備事業

谷地遺跡 (ME86-2137)

所在地：奥州市江刺区稻瀬字谷地地内

事業者：国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

調査期日：平成23年1月11日(火)～2月1日(火)

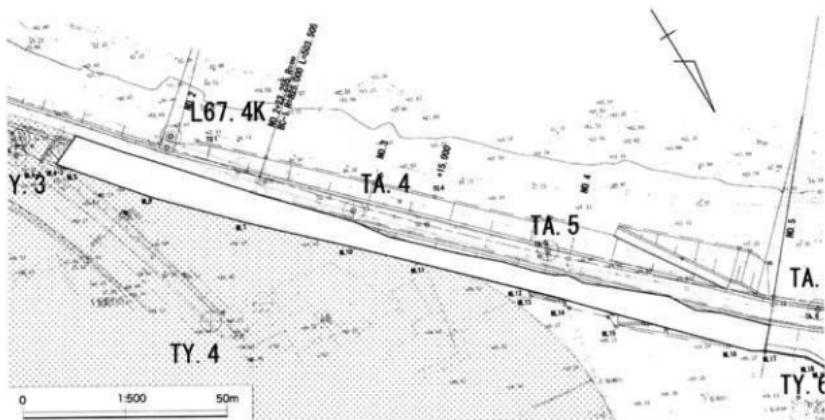
遺跡は、奥州市役所の北方向約9.0kmに位置し、北上川左岸に形成された自然堤防上に立地している。今回の工事は北上川築堤工事に伴うものである。

古代の堅穴住居跡1棟、土坑類3基、溝跡5条、柱穴状土坑群が検出された。堅穴住居跡は、平面形が1辺約5mの隅丸方形を呈しており、40ℓコンテナ3箱ほどの土師器・須恵器が出土した。床面および床面直上ではほぼ完形の須恵器の壺・大甕等が出土したが、その多くは歪みやヒビ割れが見られることから、堅穴住居に伴うものではなく廃絶した住居跡の窪みに一括廃棄されたものと考えられる。カマドは東壁ほぼ中央に構築されている。カマドの袖部芯材や支脚には土師器の壺が転用されている。住居内からは4基の土坑、1個の柱穴が検出され、土坑内からは土師器が出土した。また、溝跡5条のうち、3号溝と5号溝は規模及び形状が酷似し、これら溝跡に囲まれた区域で多くの柱穴が検出されたこと、互いに直交した位置で検出されていること等から環濠屋敷の堀跡である可能性があると思われる。3・5号溝の時期を特定する遺物は出土していない。1号土坑からは馬の歯と思われる歯骨が出土しており、墓壙と推測される。なお、調査地北側では北上川へと落ち込む砂質土層中に弥生土器片が疎らに包含されており、薄い包含層をなっていた。

調査結果から見て、今回調査地は弥生時代の遺物散布地および平安時代の集落跡であり、平安時代においては近隣の瀬谷子窯跡群との関連性を有していたものと推測される。検出された遺構・遺物の詳細については、次年度の報告書において改めて報告する。



第40図 谷地遺跡位置



第41図 谷地遺跡調査区

13 経営体育成基盤整備事業白山地区

田高II遺跡 (NE46 - 1375)

所在地：奥州市前沢区白山字鍵取地内

事業者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成23年1月24日(月)～1月27日(木)

田高II遺跡はJR東北線前沢駅の北東約2.8km、北上川右岸砂礫段丘下位面に立地する。今回の調査は白山地区の場整備事業とともに実施される。調査地は遺跡の北端隣接地で、現況は舗装道路である。調査地の北側は旧・前沢町教育委員会、東側は県埋蔵文化財センターによりそれぞれ発掘調査が実施され、主に縄文時代前期末と中世の遺構・遺物が多数検出されている。今回の調査はバイブルайн埋設が計画されている現道北半部分、幅2m×長さ mの範囲を対象とした。

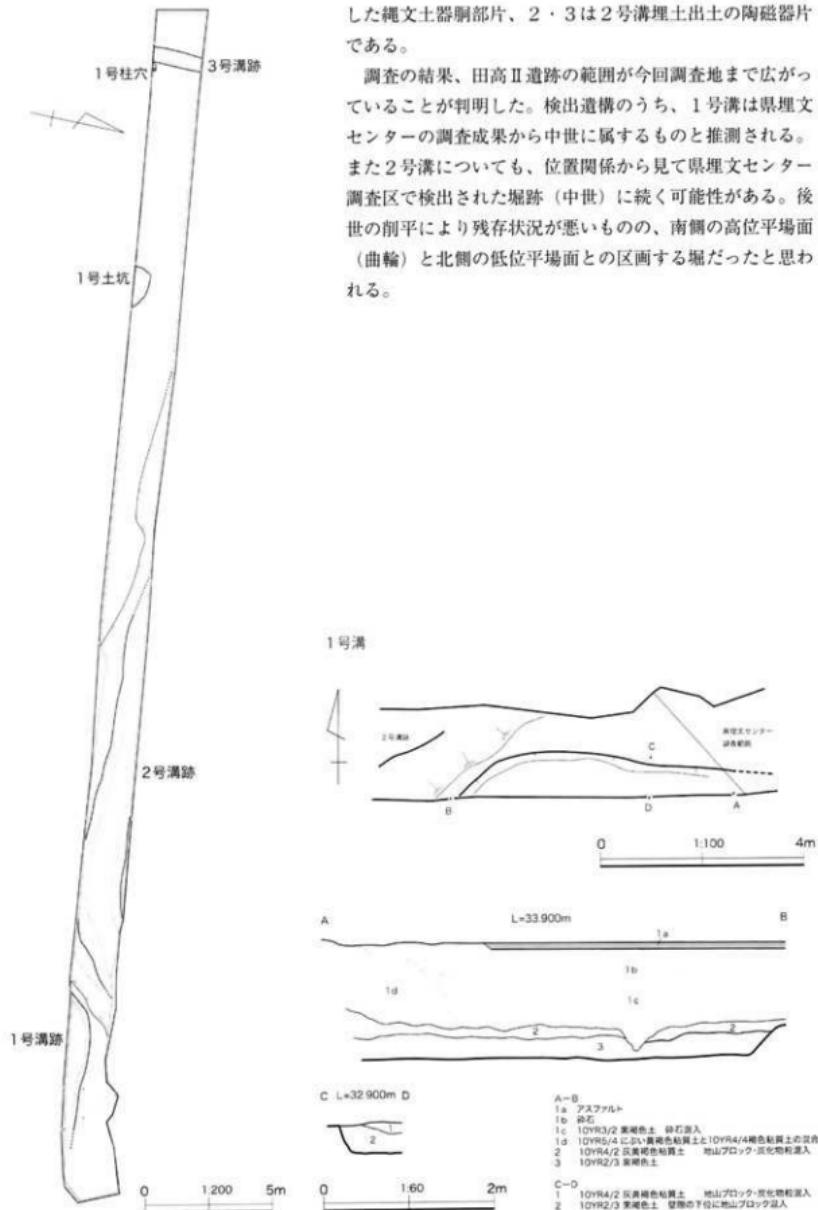
調査地の基本層序は、I層：アスファルト・碎石・盛土（層厚20cm）、II層：暗褐色粘質土（層厚45～60cm。盛土か）、III層：黒褐色土（層厚20～35cm）、IV層：明黄褐色粘質土（層厚不明。地山。遺構検出面。下位は砂質）となっている。

調査の結果、溝跡3条、土坑1基、柱穴1個を検出した。調査地東端の1号溝は埋文センター調査区から続くもので、溝の北側壁の立ち上がりを確認した。確認部分は長さ5.0m、最大幅0.8m、深さ28cmである。溝は西端部で南へと屈曲している。2号溝は調査地中央付近にあり、北東側から緩やかに屈曲しつつ北西側調査区外へと延びている。当溝の上部は旧水田耕作土と推測される粘質土に被覆されており、旧水田造成時に削平された可能性が高い。確認できた範囲では長さ14.5m、幅1.7mである。深さ14cmと浅く、底面はグラウンド化した砂層である。3号溝は調査地西端付近を南北に継続する形で検出された。長さ1.9m、幅0.6m、深さ12cmである。当溝の南西側に隣接して1号柱穴が検出されているが、深さ20cmと深いものである。断面観察では溝が柱穴より新しい、ないしは共伴しているものと判断される。1号土坑は調査地西側で検出された。確認されたのは北側部分のみで全容は不明である。平面形は隅丸方形、断面形は皿状を呈する。確認部分の規模は1.5m×0.7m、深さ28cmである。なお、県埋文センター調査区で確認された縄文時代前期の遺物包含層は削平されているためか、確認されなかった。



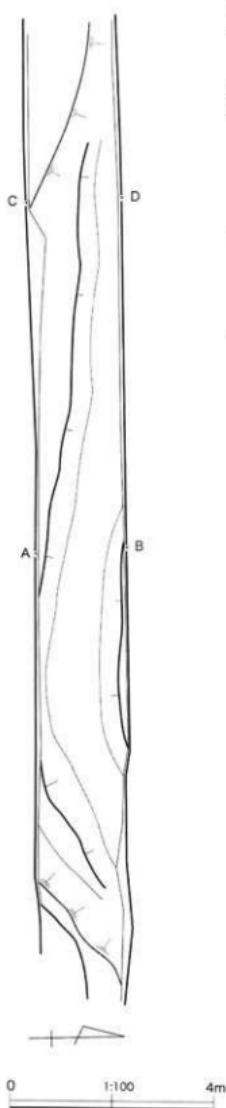
第42図 田高II遺跡位置





第44図 田高II遺跡遺構配置・検出遺構（1）

2号溝



A L=32.800m B

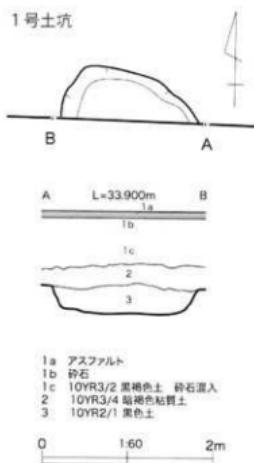
C L=33.000m D

A-B
1 10YR4/2 灰黃褐色砂質土

C-D
1 10YR6/1 褐灰色粘質土 旧水田耕作土
2 10YR4/2 灰黃褐色砂質土

0 1:60 2m

1号土坑



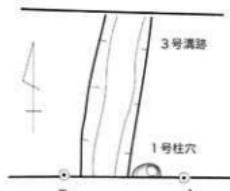
A L=33.900m B

1a
1c
2
3

0 1:60 2m

1a アスファルト
1b 砂石
1c 10YR3/2 黒褐色土 砂石混入
2 10YR3/4 褐褐色粘質土
3 10YR2/1 黑色土

3号溝・1号柱穴

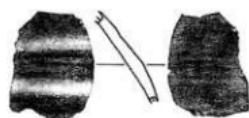


A L=34.000m B

1a
1b
1c
2
3
4

0 1:60 2m

1a アスファルト
1b 砂石
1c 10YR3/2 黑褐色土 砂石混入
2 10YR3/4 褐褐色粘質土
3 10YR3/1 黑褐色土
4 10YR2/1 黑色土
5 10YR3/1 黑褐色土



155



156

0 1:3 10cm

第45図 田高II遺跡検出遺構(2)・出土遺物

14 経営体育成基盤整備事業和賀中部第4地区

八天坂遺跡 (ME74-0252)

久田II遺跡 (ME74-0207)

所在地：北上市和賀町岩崎久田地内

事業者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査期日：平成23年2月7日(月)～2月10日(金)

平成23年2月14日(火)～2月18日(金)

平成23年2月28日(月)～3月3日(木)

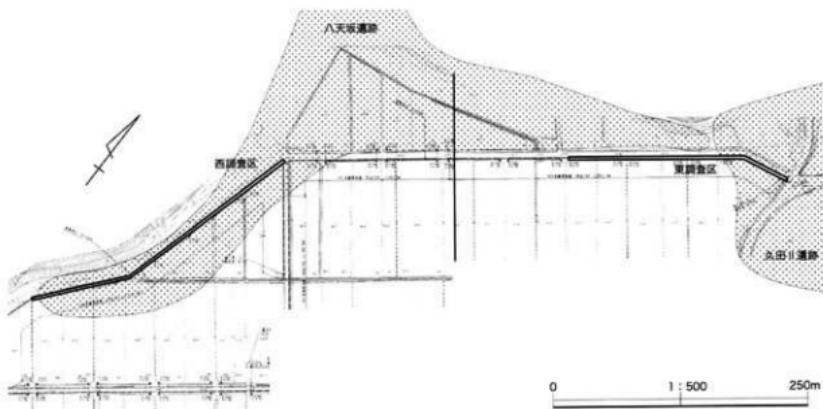
八天坂遺跡は、北上市役所の西南西方向約6.6kmに位置し、台地の縁辺部に立地している。調査は農業用パイプラインの敷設工事に伴うもので、パイプライン設置予定範囲のうち試掘調査において遺構・遺物が検出された2区間、延長約350m、幅約1mの範囲を対象とした。なお、東調査地の北東端部分は隣接する久田II遺跡の範囲に含まれている。

調査の結果、古代の竪穴住居跡7棟、土坑14基、溝跡5条、柱穴群が検出された。検出された竪穴住居跡からは、土師器・須恵器、鉄製品等が出土した。平安時代に属するものと思われる。土坑には縄文時代のものと古代のものがある。溝跡は遺物をともなわず時期不明であるが、埋土の様相から古代に属する可能性が高いと思われる。

今回の調査区は、縄文時代の集落域周辺部、平安時代の集落域であることが確認された。検出された遺構・遺物の詳細については、次年度の報告書において改めて報告する。



第46図 八天坂遺跡・久田II遺跡位置



第47図 八天坂遺跡・久田II遺跡調査区

15 経営体育成基盤整備事業古城2期地区

草井川遺跡 (NE46-0304)

所在地：奥州市前沢区古城地内

事業者：雲南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成23年2月21日(月)～2月25日(金)

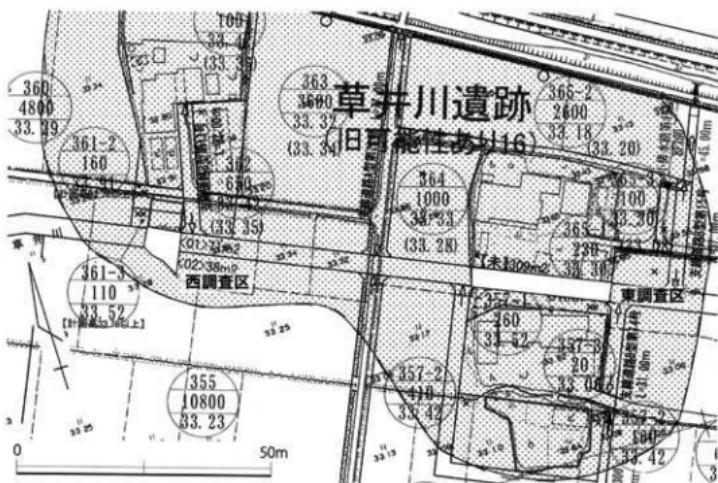
草井川遺跡は奥州市南部の前沢区古城地区に所在している。遺跡はJR東北線陸中折居駅の南東約1.2km、胆沢扇状地扇端部付近の低位段丘面に載っている。古城2期地区のは場整備事業にともなう試掘調査において、遺構・遺物が検出されたため、今回発掘調査を行った。なお当遺跡は、試掘調査時では「可能性あり⑯」と呼称していたが、試掘調査で遺構・遺物が確認されたことから新規登録されたものである。

調査範囲は現況で宅地となっている微高地面の道路用地部分で、東西2地点に分かれている。調査当初は西追加試掘を行った東側宅地部分でも遺構が確認されたことを実施することとした。両調査区ともに基本層序は同じくⅢ層：暗褐色土（層厚10cm）、Ⅲ層：黄褐色色粘質土（層厚10cm）である。

＜西調査区＞ 調査区の北側境界付近で土坑4基を検出した。土坑は埋土に焼土ブロックが混入し、遺物が出土している。1・2・4号土坑は重複しており、いずれも略円形平面を呈している。深さは10~20cmと浅く、断面形は皿状である。検出状況および断面観察から、1号および2号が4号より新しいが、1号と2号の新旧関係は不明である。3号土坑は調査区境で検出されたもので、ごく一部しか確認できなかつたため、詳細は不明である。各土坑の埋土からは土師器が少量出土しており、



第48図 草井川遺跡位置

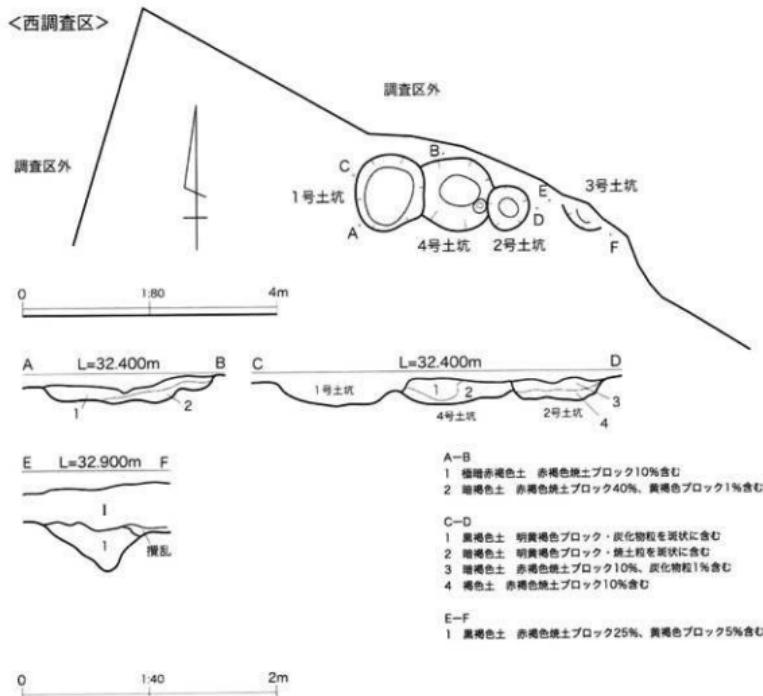


第49図 草井川遺跡調査区

平安時代の遺構と判断される。遺構外では遺物は出土しなかった。西調査区については、古代の集落跡の一部であると思われる。

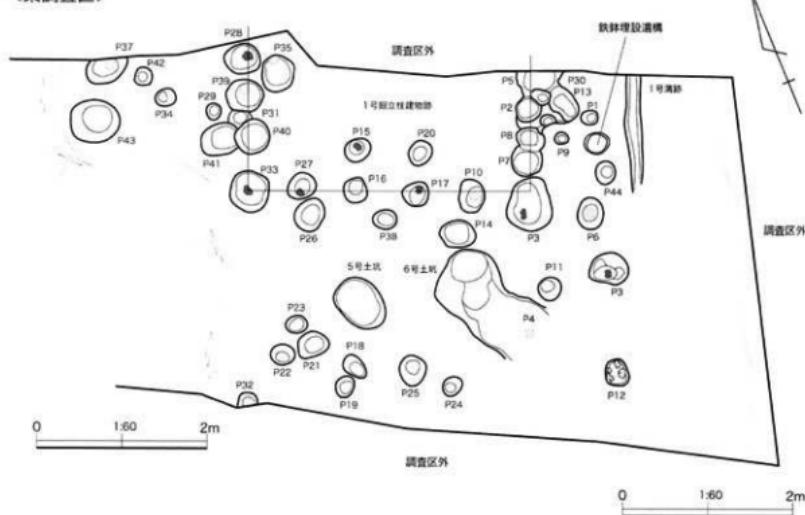
〈東調査区〉 前述のとおり、試掘調査により調査範囲に急遽追加した部分で、遺跡の東側中央付近にあたる微高地面である。試掘では、調査区西半では地山が西へと緩く落ち込んでおり、遺構は検出されなかったが、微高地面上にあたる東半部では土坑1基、溝跡1条、柱穴約50個が検出された。柱穴は大径なものが多く、底面に木柱が残るもの、柱アタリが明瞭なものが複数見られた。柱穴の位置関係から掘立柱建物跡1棟を想定した。北東-南西の軸線をとる側柱建物と推測される。柱間隔は概ね65cm程度（約2尺）と狭い。なお、建物東側に位置する溝跡は建物軸線に一定の距離をとて沿っていることから、掘立柱建物の雨落溝と推測される。建物にともなう遺物がないため所属時期は特定できないが、建物の様相から近世の可能性が考えられる。他の柱穴についても建物を構成するものと思われるが、調査範囲の制約から建物を把握できなかつた。土坑は2基検出されたが、遺物は出土せず、性格不明である。また、鉄器を埋設したと思われる性格不明の遺構が検出されている。東調査区では遺物が殆ど出土していないため遺構の時期を特定できなかつたが、検出遺構の様相から近世の屋敷跡の一部と推測される。

調査結果から、当遺跡の主体は東西両側の現宅地部分にあり、古代および近世の集落跡が存在しているものと考えられる。

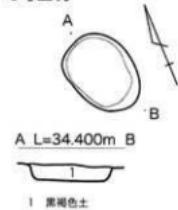


第50図 草井川遺跡検出遺構（1）

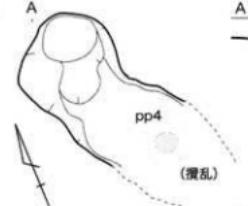
<東調査区>



5号土坑



6号土坑

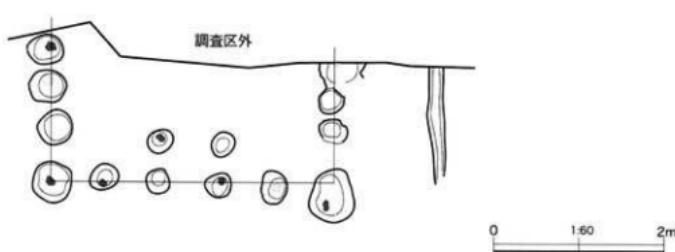


A L=34.400m B

1 (pp4埋土) 暗褐色土
2 暗褐色土 黄褐色ブロック15%含む
3 暗褐色土 黄褐色ブロック10%含む

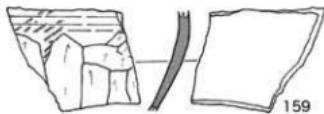
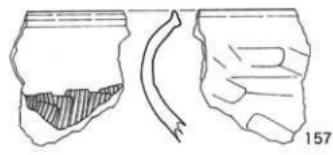
0 1:40 2m

1号掘立柱建物跡

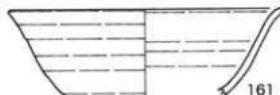


第51図 草井川遺跡検出遺構 (2)

西区・2号土坑



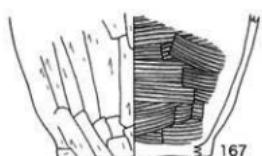
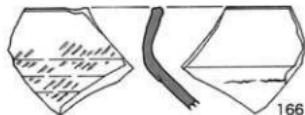
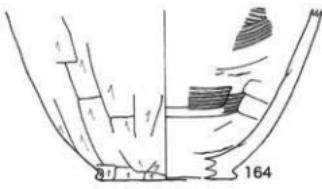
西区・3号土坑



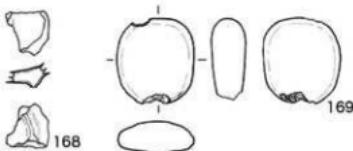
西区・4号土坑



西区・遺構外



東区・柱穴



170~174柱材、175鉄器 は写真掲載のみ



第52図 草井川遺跡出土遺物

遺物觀察表（1）発掘調査

番号	遺跡名	出土地点	層位	種別	器種	特徴	時代	時期	備考
1	山内軒木2	1号住	カマド	土師器	高环	外曲：ハケメ→ハラナデ。内曲：ハラナデ。内里。	平安時代		
2	山内軒木2	1号住	カマド	土師器	壺	外曲：ヨコナデ。ハケメ。内曲：ハラナデ。ハケメ。	平安時代		
3	山内軒木2	1号住	カマド	土師器	壺	外曲：ヨコナデ。ハケメ。内曲：ハラナデ。ハケメ。	平安時代		
4	山内軒木2	1号住	壁土	陶製品	刀子	先端：基部ともに欠損。精化。	平安時代		
5	山内軒木2	1号住	土曲直上	土師器	壺	外曲：ハケメ→ハラナデ。木葉痕。内曲：ハケメ。	平安時代		
6	山内軒木2	1号住	埋土上位	土師器	壺	外曲：ハケメ。内曲：ハラミガキ。内里。	平安時代		
7	山内軒木2	1号住	埋土下位	土師器	壺	内曲面ともにハラミガキ。内里。	平安時代		
8	山内軒木2	1号住	埋土	土師器	壺	外曲：ハラナデ。内曲：ハラミガキ。底部：木葉痕。	平安時代		
9	山内軒木2	1号住	埋土	土師器	壺	外曲：ハラナデ。内曲：ハラミガキ。内里。	平安時代		
10	山内軒木2	1号土坑	埋土	土師器	壺	底面：無孔。薄手で健質。	縄文時代	早期か	
11	赤坂角地	遺構外	V型	陶土器	深鉢	沈殿区画内に礎文埴籠。LR。	縄文時代	中期	
12	赤坂角地	遺構外	V型	陶土器	深鉢	LR。表面に焦げ。沈殿。	縄文時代	中期	
13	赤坂角地	遺構外	V型	陶土器	深鉢	RL。底面無孔。	縄文時代	中期	
14	館前	1号土坑	埋土	土師器	深鉢	底付接縫。RL。	縄文時代	中期	
15	館前	1号土坑	埋土	土師器	深鉢	沈殿。甌成。	縄文時代	後期後業	
16	館前	2号土坑	埋土	土師器	深鉢	沈殿。原体付接縫。	縄文時代		
17	館前	2号土坑	埋土	土師器	深鉢	沈殿区画内に礎文埴籠。LR。	縄文時代		
18	館前	2号土坑	埋土	土師器	深鉢	沈殿。底付する瓦形刺突文。	縄文時代		
19	館前	2号土坑	埋土	土師器	深鉢	網目状捺文R→R。	縄文時代		
20	館前	2号土坑	埋土	石器	石器	無孔。底部快火。	縄文時代		
21	館前	2号土坑	埋土	石器	石器	無孔。	縄文時代		
22	館前	2号土坑	埋土	石器	石器	未確認品。	縄文時代		
23	館前	3号土坑	埋土	陶文土器	壺	口縁部は肥厚。浅底。円形容の複複文。	縄文時代	後期中葉	
24	館前	3号土坑	埋土	陶文土器	壺	沈殿。	縄文時代	後期中葉	
25	館前	3号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	沈殿。	縄文時代	後期中葉	
26	館前	3号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	沈殿。	縄文時代	後期中葉	
27	館前	3号土坑	埋土	石器	石器	未完成品か。	縄文時代		
28	館前	3号土坑	埋土	石器	石器	片面に割り痕。先端および両面に瘤状の敲打痕。	縄文時代		
29	館前	4号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	網目状の沈殿。	縄文時代		
30	館前	4号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	底付外面に側面附（1本送り、1本腰り、1本腰え）。	縄文時代		
31	館前	5号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	沈殿。LR。	縄文時代		
32	館前	5号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	底付斜沈殿。	縄文時代	後期前業	
33	館前	5号土坑	埋土	石器	石器	底付。	縄文時代		
34	館前	5号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	底付斜沈殿。長辺の片側縫合に割り痕、反対側に敲打痕。	縄文時代		
35	館前	5号土坑	埋土	石器	石器	底付。	縄文時代		
36	館前	7号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	底付斜沈殿。底付L縫。	縄文時代		
37	館前	8号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	側面沈殿。RL。	縄文時代	後期中葉	
38	館前	8号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	LR。	縄文時代	後期	
39	館前	8号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	沈殿文。	縄文時代		
40	館前	8号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	無孔。	縄文時代	後期中葉	
41	館前	8号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	沈殿文。RL。	縄文時代	後期	
42	館前	8号土坑	埋土	石器	石器	底部突出。	縄文時代		
43	館前	9号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	RL。底付斜沈殿。底付L縫。	縄文時代		
44	館前	9号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	RL。	縄文時代	後期	
45	館前	9号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	側面L縫痕か。	縄文時代		
46	館前	9号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	深い沈殿。	縄文時代		
47	館前	9号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	側付黒面。側面不規則。	縄文時代		
48	館前	9号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	スレ付状況。	縄文時代		
49	館前	9号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	底付。底付に木葉痕。	縄文時代		
50	館前	9号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	進行する磁い沈殿文。底面ナデ。	縄文時代	後期	
51	館前	9号土坑	埋土	土製品	土製品	土製品門型。	縄文時代		
52	館前	9号土坑	埋土	石器	石器	未確認品か。	縄文時代		
53	館前	9号土坑	埋土	石器	石器	未確認品。	縄文時代		
54	館前	9号土坑	埋土	石器	片持残枝	接合資料。	縄文時代		写図のみ。
55	館前	9号土坑	埋土	石器	嵌隙器	断面による割痕。片面に齊刷。瘤状の凹み。	縄文時代		
56	館前	10号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	側面状態文。	縄文時代		
57	館前	10号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	沈殿。	縄文時代		
58	館前	11号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	L縫付突起。貫通孔。沈殿。弓形の進続刺突。	縄文時代	後期中葉	加曾利B2並行
59	館前	11号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	沈殿。進続する弓形刺突。潜伏の帶繩文。	縄文時代	後期中葉	加曾利B2並行
60	館前	11号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	底付。	縄文時代		
61	館前	12号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	突起。人筋みの貼付け縫带。	縄文時代		
62	館前	12号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	全面ナデ。	縄文時代		
63	館前	12号土坑	埋土	陶文土器	口付	ミミズ縫れ状の微隆起縫。外曲：ガキ。	縄文時代	後期中葉	
64	館前	12号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	大振りな突起。沈殿、向点文。	縄文時代	後期中葉	加曾利B2並行
65	館前	12号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	沈殿文。	縄文時代		
66	館前	12号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	帶繩文。O段多繩LRか。	縄文時代	後期中葉	
67	館前	12号土坑	埋土	土製品	土偶	頭部か。	縄文時代		
68	館前	13号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	先端が円盤状の大突起。沈殿、列点文。	縄文時代	後期中葉	加曾利B2並行
69	館前	13号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	多段の並行沈殿。潜伏の帶繩文。O段多繩LR。	縄文時代	後期中葉	十幅内2式並行
70	館前	13号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	RL。	縄文時代		
71	館前	13号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	沈殿。列点文。	縄文時代	後期中葉	
72	館前	13号土坑	埋土	陶文土器	深鉢	帶繩文。通過する弓形刺突。	縄文時代	後期中葉	加曾利B2並行
73	館前	13号土坑	埋土	陶文土器	遺物	垂垂する山形沈殿文。	縄文時代	後期中葉	加曾利B2並行

番号	遺跡名	出土地点	層位	種別	基積	特徴	時代	時期	備考
74	船IV	13号土坑	埋土	礎文土器	深鉢	木槧状の漆器底文。	縄文時代		
75	船IV	13号土坑	埋土	礎文土器	深鉢	沈泥。刺突文。	縄文時代	後期中集	
76	船IV	13号土坑	埋土	礎文土器	深鉢	太い沈泥。漆器底文。LR。	縄文時代		
77	船IV	13号土坑	埋土	礎文土器	深鉢	木槧状の漆器底文。	縄文時代		
78	船IV	13号土坑	埋土	礎文土器	鉢	無文。	縄文時代	後期	
79	船IV	14号土坑	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
80	船IV	14号土坑	埋土	礎文土器	深鉢	錐な漆消褪文。LR。	縄文時代		
81	船IV	14号土坑	埋土	土製品	土製円盤		縄文時代		
82	船IV	14号土坑	石器	石器	石頭	未成品。	縄文時代		
83	船IV	14号土坑	埋土	石器	石頭	無基。基部抉入。	縄文時代		
84	船IV	1号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
85	船IV	4号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
86	船IV	5号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢	平行彫線文。	縄文時代	後期中集	
87	船IV	6号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
88	船IV	7号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
89	船IV	8号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
90	船IV	9号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢	碧海消褪文。	縄文時代		
91	船IV	9号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢	沈泥文。	縄文時代		
92	船IV	12号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢	沈泥文。	縄文時代		
93	船IV	13号柱穴	埋土	石器	石椎		縄文時代		
94	船IV	15号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
95	船IV	15号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
96	船IV	16号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢	底部に彫状痕。	縄文時代		
97	船IV	21号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
98	船IV	23号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
99	船IV	24号柱穴	埋土	礎文土器	台形鉢か		縄文時代	後期中集	
100	船IV	25号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢	2段の連続指捺痕。	縄文時代		
101	船IV	25号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
102	船IV	26号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
103	船IV	27号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代	後期	
104	船IV	28号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代	後期中集	
105	船IV	29号柱穴	埋土	礎文土器	深鉢	平行彫線文。	縄文時代		
106	船IV	1号井口	埋土	礎文土器	深鉢	口唇部肥厚し、堆埴する別々目。	縄文時代	後期中集	
107	船IV	1号井口	埋土	礎文土器	深鉢	細い貼付痕に斜位の別々目。	縄文時代	後期中集	
108	船IV	1号井口	埋土	礎文土器	深鉢		縄文時代		
109	船IV	1号井口	埋土	石器	石鐵	無基。基部抉入。	縄文時代		
110	船IV	1号井口	埋土	礎文土器	深鉢	明い沈泥。	縄文時代	後期前集	
111	船IV	遺構外	土器	礎文土器	深鉢	大體なり口縁部突起。口縁に沿て沈泥+列点文。	縄文時代	後期中集	
112	船IV	遺構外	土器	礎文土器	深鉢	太い貼付縫隙。	縄文時代		
113	船IV	遺構外	土器	礎文土器	深鉢	高文+隆沈痕。	縄文時代	中期中集か	土製円盤か
114	船IV	遺構外	土器	礎文土器	深鉢		縄文時代		
115	船IV	遺構外	土器	礎文土器	深鉢		縄文時代		
116	船IV	遺構外	土器	土製品	土製円盤	欠損。	縄文時代		
117	船IV	遺構外	土器	土製品	土製円盤	欠損。	縄文時代		
118	船IV	遺構外	土器	石器	石鐵		縄文時代		
119	船IV	遺構外	土器	石器	砕石		縄文時代		
120	風張	1号住居跡	埋土	土師器	环	内外面:ロクロナデ。	平安時代		
121	風張	1号住居跡	埋土	土師器	环(台付)	外側:ロクロナデ。内面:ヘラミガキ。内里:	平安時代		
122	風張	1号住居跡	埋土	土師器	环	内外面:ロクロナデ。	平安時代		
123	風張	1号住居跡	埋土	土師器	壺	内外面:ロクロナデ。	平安時代		
124	風張	3号住居跡	埋土層	土師器	环	内外面:ロクロナデ。	平安時代		
125	風張	3号住居跡	埋土層	土師器	环	内外面:ロクロナデ。	平安時代		
126	風張	1号土坑	埋土	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤はヘラナダ再調整。	平安時代		
127	風張	1号土坑	埋土	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤はヘラナダ再調整。	平安時代		
128	風張	1号土坑	埋土	土師器	环	外側:ロクロナデ。内面:ヘラミガキ。内里:藤形にみあり。	平安時代		
129	風張	1号土坑	埋土	土師器	环	高音部のみ。外側:ロクロナデ。内面:ヘラミガキ。	平安時代		
130	風張	1号土坑	埋土	土師器	壺	ロクロナデ。底盤に回転糸切痕。	平安時代		
131	風張	1号土坑	埋土	土師器	壺	タケナメ。内面に円形凹凸具痕。	平安時代		
132	風張	1号土坑	埋土	土師器	壺	タケナメ。脚は赤い。	平安時代		
133	風張	1号土坑	埋土	土製品	不明	器壁厚く、土質状。外側:ロクロナデ。内面:ハケナダ。	平安時代		
134	風張	1号土坑	埋土	土製品	不明	塊状粘土塊。手づくね敷形。土鈍伏。	平安時代		
135	風張	1号土坑	埋土	石器	磨石	片端に拂痕。細い刻みあり。難別小。	縄文時代		
136	風張	遺構外	土器	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤に回転糸切痕。	平安時代		
137	風張	遺構外	土器	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤はヘラナダ再調整。	平安時代		
138	風張	遺構外	土器	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤に回転糸切痕。器内に墨。	平安時代		
139	風張	遺構外	土器	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤はヘラナダ再調整。	平安時代		
140	風張	遺構外	土器	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤はヘラナダ再調整。	平安時代		
141	風張	遺構外	土器	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤に回転糸切痕。	平安時代		
142	風張	遺構外	土器	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤に回転糸切痕。	平安時代		
143	風張	遺構外	土器	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤に回転糸切痕。上げ底。	平安時代		
144	風張	遺構外	土器	土師器	环	内外面:ロクロナデ。底盤に回転糸切痕。上げ底。	平安時代		
145	風張	遺構外	土器	土師器	壺	タケナメ。内面に円形凹凸具痕。	平安時代		
146	風張	遺構外	土器	土師器	壺	タケナメ。	平安時代		
147	風張	遺構外	土器	土製品	不明	器壁厚く、土質状。外側:ハケナダ。内面:ヘラナダ。	平安時代		
148	風張	遺構外	土器	土製品	不明	器壁厚く、土質状。外側:ハケナダ。内面:カキメ。	中後か		

番号	遺跡名	出土地点	層位	種別	形様	特徴	時代	時期	備考
149	西部	埋没沢	Ⅱ層	縄文土器	深鉢	網目状熱帯文。	縄文時代	前期後葉	
150	西部	遺構外	Ⅱ層	縄文土器	深鉢	斜行縞文。	縄文時代	前期後葉	
151	西部	遺構外	Ⅱ層	縄文土器	深鉢	細い沈殿文。熱帯文。	縄文時代	前期後葉	
152	西部	遺構外	Ⅱ層	縄文土器	深鉢	輪付袋帯。連続する物頭状圧痕。熱帯文。	縄文時代	前期後葉	
153	西部	遺構外	Ⅱ層	縄文土器	深鉢	底部、耳によるナメ調整。	縄文時代	前期後葉	
154	田高貝	1号溝	埋土	縄文土器	深鉢		縄文時代	前期後葉	
155	田高貝	2号溝	埋土	陶器	壺		縄文時代	中期か	
156	田高貝	2号溝	埋土	縦部	壺		縄文時代	中期か	
157	草井川	2号土坑	埋土	土師器	壺	口縁端部が突起状。外面：ハケメ。内面：ヘラナデ。	平安時代		
158	草井川	2号土坑	埋土	須恵器	壺	ロクロナデ。外側にハケメ残る。	平安時代		
159	草井川	2号土坑	埋土	須恵器	壺	外側：ハケメ→ヘラケズリ。	平安時代		
160	草井川	2号土坑	埋土	須恵器	壺	タタキメ。	平安時代		
161	草井川	3号土坑	埋土	土師器	环	ロクロナデ。	平安時代		
162	草井川	4号土坑	埋土	土師器	壺	ロクロナデ。	平安時代		
163	草井川	遺構外	表土	土師器	环	ロクロナデ。	平安時代		
164	草井川	遺構外	表土	土師器	壺	外面：ヘラケズリ。内面：ハケメ。ヘラナデ。	平安時代		
165	草井川	遺構外	表土	土師器	壺	外面：ヘラケズリ。内面：ハケメ。ヘラナデ。	平安時代		
166	草井川	遺構外	表土	須恵器	壺	外面：ハケメ。内面：ヘラナデ。	平安時代		
167	草井川	遺構外	表土	土師器	壺	外面：ヘラケズリ。内面：ハケメ。	平安時代		
168	草井川	40号柱穴	埋土	粗部	壺	微突に沿って、垂付け。	平安時代		
169	草井川	16号柱穴	埋土	石器	石鍬か	長軸両端に打ち欠き。	縄文時代		
170	草井川	3号柱穴	埋土	木製品	柱材		不明		写図のみ
171	草井川	17号柱穴	埋土	木製品	柱材		不明		写図のみ
172	草井川	27号柱穴	埋土	木製品	柱材		不明		写図のみ
173	草井川	28号柱穴	埋土	木製品	柱材		不明		写図のみ
174	草井川	33号柱穴	埋土	木製品	柱材		不明		写図のみ
175	草井川	器具埋設遺構	埋設	鉄製品	鉄鋤	鋸化著しく、詳細不明。	不明		写図のみ

II 試掘調査・工事立会



試掘調査

- 1 大畠Ⅲ遺跡（遠野市）
- 2 新田Ⅱ遺跡（遠野市）
- 3 千刈遺跡（北上市）
- 4 篠平遺跡（盛岡市）
- 5 二又遺跡（盛岡市）
- 6 小野遺跡（一関市花泉町）
- 7 堤遺跡（奥州市胆沢区）
- 8 作屋敷遺跡（奥州市胆沢区）
- 9 古城林遺跡（奥州市前沢区）

工事立会

- 10 山脈地遺跡（気仙郡住田町）

1 東北横断自動車道秋田釜石線

大畑Ⅲ遺跡（旧・可能性あり1）

所在地：遠野市宮守町下鱒沢33地割22-1ほか

事業者：国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

調査期日：平成22年8月23日(月)～8月24日(火)

大畑Ⅲ遺跡はJR釜石線鱒沢駅の南東約1.1km、猿ヶ石川左岸の山稜尾根部分に位置している。試掘調査時点で周知の埋蔵文化財包蔵地ではなく、今回調査により新規に確認された遺跡である。東北横断自動車道釜石秋田線建設に係り、北西へと延びる尾根部分とその西側に継ぐ緩斜面および低位の宅地・水田部分、合わせて約25,000m²を対象として試掘調査を実施した。

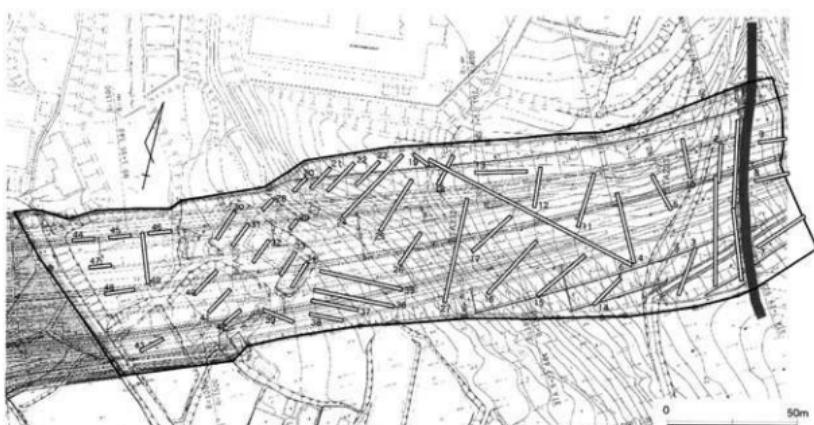
尾根部および両側の斜面は全般に土壌の発達が悪く、表土直下で黄褐色砂質土層が露出する。東側尾根鞍部のT1～4・7で竪穴住居跡6棟、土坑4基、焼土等が検出され、T1・2（住居跡）およびT8（柱穴状）で遣構埋土から縄文土器（中期）が出土した。また尾根南西斜面では、T21・22で竪穴住居跡、T14～17・20～24で柱穴、焼土、土坑、陥し穴が検出された。一方、南西緩斜部（T28～39）では、表土下で黒褐色ないし暗褐色のシルト層が見られた。T36・37・39で土坑・陥し穴・柱穴・焼土が検出され、T39の土坑埋土から縄文土器が出土した。出土土器は尾根上の住居跡と同時期のものと思われる。なお、宅地および水田部のT40～49では、低位水田面は旧河道であり、宅地部は盛土造成による著しく地形改変されており、ともに遣構・遺物は確認されなかった。

調査の結果、尾根の鞍部と尾根裾の緩斜面部に比較的密な遣構分布がみとめられ、尾根斜面部にも密度は低いものの遣構が存在していることが確認された。

（平成23年度、県埋文センターにより発掘調査実施済み）



第53図 大畑Ⅲ遺跡位置



第54図 大畑Ⅳ遺跡調査地点

2 東北横断自動車道秋田釜石線

新田Ⅱ遺跡 (ME53-0391)

所在地：遠野市綾織町下綾織31地割140-12番地ほか

事業者：国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

調査期日：平成22年11月11日(木)～11月12日(金)

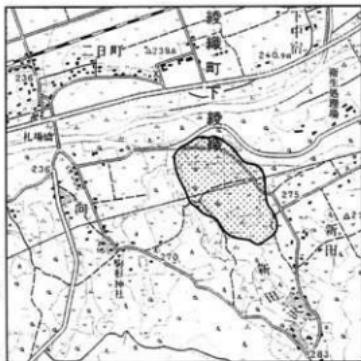
新田Ⅱ遺跡は遠野市役所の西方向約5.3kmに位置し、猿ヶ石川左岸段丘上に立地している。本遺跡範囲内で確認された縄文時代前期の集落跡は、史跡「綾織新田遺跡」として指定されている。また、平成21年度に実施された(財)文化振興事業団埋蔵文化財センターによる発掘調査によって、今回の調査区に東接する調査区内で縄文時代中期後半の集落跡が確認されている。

今回の調査は道路築造工事に伴うもので、史跡の北側隣接部分を東西に横断する形で計画された道路予定地が対象である。調査対象箇所に19本の試掘トレンチを設定した(T1～T19)。なお、今回の試掘調査とほぼ同じ調査範囲を対象として、平成10年～11年度に遠野市教育委員会による試掘調査が実施されている。

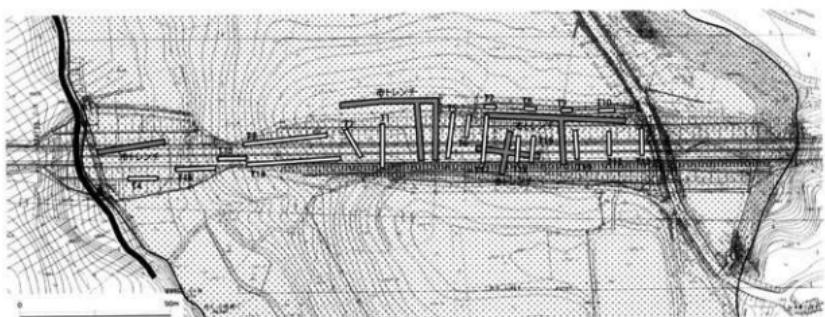
遺跡西側を画する新田沢の氾濫源と推測される低地にT4を設定した。第Ⅱ層あるいは第Ⅲ層から、縄文時代晩期と思われる浅鉢口縁部片を含む数点が出土した。器面が摩滅しており、周囲からの流れ込みであると思われるが、土器が出土した層の堆積状況及び遠野市教委の試掘調査で出土した遺物量からも、古い時代の包含層であると思われ、包含層下に遺構等が所在している可能性もある。その他のトレンチにおいては、植林あるいは畑地造成等による地形改変が著しく、旧地形が残存していた箇所はわずかであった。T3を設定した斜面線で第Ⅲ層から摩滅した縄文土器片が出土したが、出土状況から土地造成による流れ込みであると思われ、関連する遺構等は確認できなかった。その他のトレンチでは遺構・遺物は確認されなかった。

以上のことから、今回の調査区においては、史跡範囲北側に広がる山林部分及び畑地部分については地形改変を著しく受けており、遺構等は所在しないものと思われる。

(平成23年度、県埋文センターにより発掘調査実施)



第55図 新田Ⅱ遺跡位置



第56図 新田Ⅱ遺跡跡調査地点

3 北上川中部治水対策事業二子地区

千刈遺跡 (ME56 - 2343)

所在地：北上市二子町字千刈地内

事業者：国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

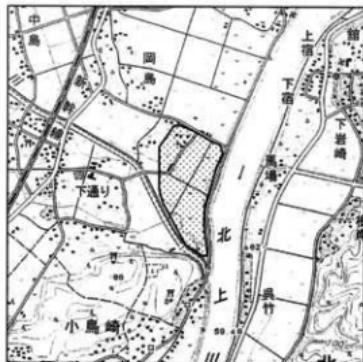
調査期日：平成22年12月14日(火)～12月15日(水)

千刈遺跡はJR東北線北上駅の北東3.5km、北上川右岸沖積地に立地している。遺跡周辺は旧河道が複雑に入り組んだ低位沖積地で自然堤防状の高まりが各所に残存しており、当遺跡の主体はこの自然堤防上の微高地に載っている。北上川堤防建設工事に係り、遺跡を南北に縦断する幅25～40mの帯状の範囲について試掘調査を実施した。現況は畠地・水田である。なお調査時点では用地買収の関係で立ち入りができない箇所が多くあったため、掘削可能な部分についてトレーニング11箇所を設定した。

遺跡の基本層序は、表土・耕作土（層厚10～40cm）の下に北上川の氾濫による砂質土層の厚い堆積層（層厚10～120cm、細分可能）が見られる。この砂質土層中は細分可能で、縄文時代および古代の遺物が含まれている。遺構検出面も黄褐色の砂質土層である。古代の遺構は「黄色に黒」で比較的明瞭であるが、縄文時代の遺構については識別が容易ではなかった。

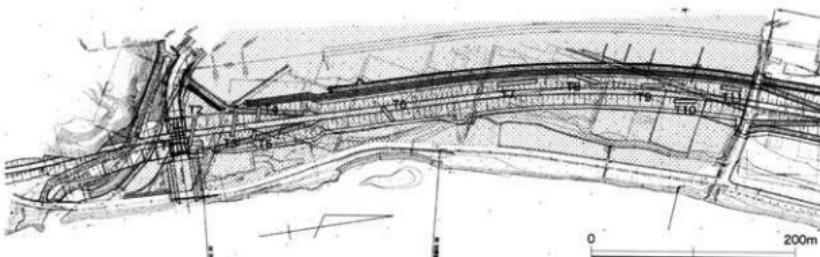
T 1・5を除く9箇所で遺構・遺物を確認した。調査地は北側（T 6～9付近）で標高が高く、この部分では竪穴住居跡4棟を検出した。周辺の出土遺物から平安時代の住居跡と思われる。一方、僅かに標高の低い南側では主に溝跡、土坑が検出された。埋土中に土師器・須恵器が含まれており、平安時代の遺構と推測される。出土遺物は主に古代の土器類であるが、縄文時代晩期末か弥生時代の土器も出土している。制約によりトレーニング設定の箇所が限られていたため明確ではないが、該期の遺構が存在している可能性もある。

調査の結果から、南端部を除く工事予定地内には平安時代と弥生時代の集落跡が存在していると推測される。



第57図 千刈遺跡位置

(平成23年度、県埋文センターにより発掘調査実施)



第58図 千刈遺跡調査地点

4 四十四田ダム堰堤改良事業

笹平遺跡 (KE77-1005)

所在地：盛岡市玉山区門前寺字笹平地内

事業者：国土交通省東北地方整備局

北上川ダム統合事務所

調査期日：平成22年11月29日(月)～11月30日(火)

平成22年12月27日(月)

遺跡はJR盛岡駅の北側約10.5kmに位置し、南東へと張り出す標高約173mの丘陵末端部分に立地している。今回の調査は、遺跡内においてダム浚渫時の廃土置場及び管理道路新設が計画されたことから実施したもので、調査地は遺跡全体の中では一段低くなっている部分で、現況は原野及び牧草地である。

幅2m・長さ10m～30mのトレンチを29箇所に設定した。全体に湖水側に向い緩く傾斜する地形で、T29では現地表面から約2mほどの深さで黄褐色の地山が確認される。T23では、表土下約50cm下位で陥し穴状遺構1基と直径約60cmの円形の土坑、直径約120cmの円形の土坑が検出されている。遺物等については、いずれのトレンチからも確認されていない。現在水田となっている一段高い部分に居住域が存在すると思われる。

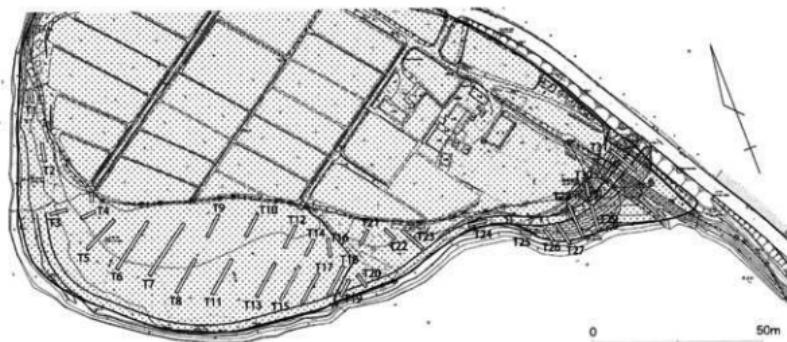
なお、調査地の南東側には笹平一里塚が所在しており、幅約5m・延長約50mの規模で近世街道跡(奥州道中)の痕跡が見られる。街道跡は一里塚付近から笹平遺跡の南東末端部まで続いている。この部分の周辺にもトレンチ2箇所を設定したところ、人工的な地形改変と思われる平坦面が確認され、街道沿いの並木植栽痕と思われる不整な土坑状プラン3基を検出した。また陥し穴状遺構1基が検出されている。

調査の結果、調査地には近世の奥州道中が旧状を止めているほか、縄文時代の生活痕跡も残されているものと考えられる。

(平成23年度、県埋文センターにより発掘調査実施済み)



第59図 笹平遺跡位置



第60図 笹平遺跡調査地点

5 緊急地方道路整備事業及び地方特定道路整備事業 二又遺跡 (LE26 - 0024)

所在地：盛岡市下飯岡字二又地内

事業者：盛岡広域振興局土木部

調査期日：平成22年5月12日(水)、12月13日(月)

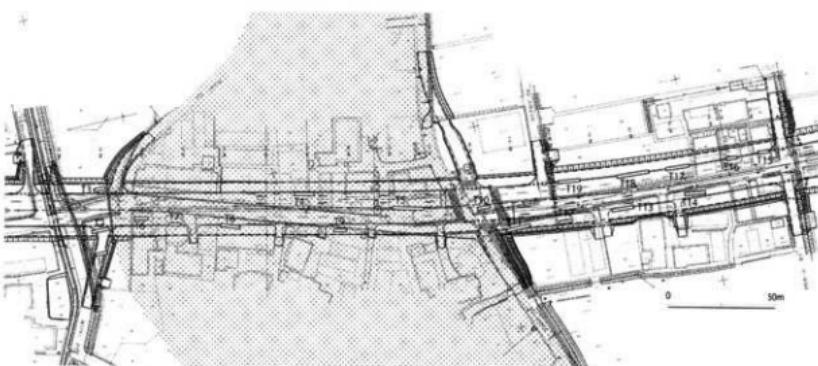
二又遺跡は、盛岡市役所の南西方向約4.5kmに位置し、沖積地に形成された微高地上に立地している。現況は宅地及び水田である。今回の調査は道路築造工事に伴うものであり、未移転の住宅もあったが、周知の遺跡範囲及び平成17年度実施の分布調査で要試掘調査範囲とした区域を対象とした。調査対象範囲にトレント19箇所を設定した。なお、調査地近接地で盛岡市教育委員会が実施した発掘調査結果から遺構の存在が確実な部分については、トレントを設定しなかった。

遺跡北端隣接の低地にT1～3、微高地上にT4～T9、隣接可能性ありとした畠地及び水田にT10～T19を設定した。T1～3では遺構は検出されなかつたが、湿地状の粘質土層から摩滅していない土師器片が出土した。畠地に設定したT4においては、径40cm大の柱穴1個、70×40cm大の楕円形を示す土坑1基が検出され、検出面直上で須恵器片1点が出土した。T4を設定した箇所は、盛岡市教育委員会による発掘調査で、竪穴住居跡が複数検出された区域に隣接している。旧宅地跡にT5を設定した。かつての住宅建設に伴う攪乱を受けていた箇所もあったが、幅40cmの溝跡1条、径50cm大の土坑1基、径30cm大の柱穴1個が検出された。T8においては、北側へ向かって地山面が緩やかに傾斜していたが、柱穴1個が検出され、近世磁器片が1点出土している。T8においては、検出面まで攪乱が及んでいたが、70×50cm大の埋土が黒色を示す土坑1基が検出された。可能性ありとした公民館用地、畠地及び水田に設定したT10～T19では、地形改変を大きく受けしており、遺構・遺物は確認されなかつた。

第61図 二又遺跡位置



(平成23年度、県埋文センターにより発掘調査実施)



第62図 二又遺跡調査地点

6 経営体育成基盤整備事業日形地区

小野遺跡 (OE39 - 1017)

所在地：一関市花泉町日形字小野地内

事業者：県南広域振興局農政部

一関農村整備センター

調査期日：平成22年10月15日（金）

平成22年10月18日(月)～8月19日(火)

小野遺跡は一関市役所の南東方向約16kmに位置し、北上川右岸の自然堤防上に立地している。遺跡の東側を大江川が南流している。現況は畠地及び水田である。今回の調査はは場整備事業に伴うもので、農道・排水路設置箇所及び切土田面が対象である。調査対象箇所に32本の試掘トレンチを設定した（T1~32）。

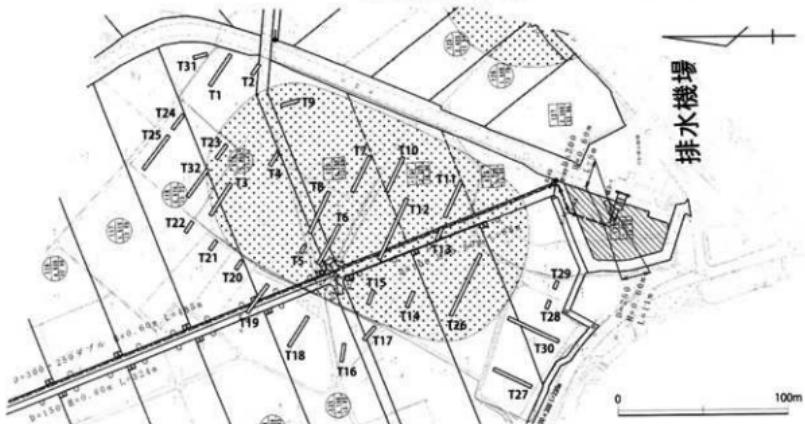


第63図 小野遺跡位置

T2～T4・T8・T12・T26において、埋土に古代の遺物を含む竪穴住居状遺構が7棟検出された。煙出部及び煙道部が検出できなかったため、住居の軸方向は不明である。規模は一辺が約2.5m以上である。また、T12において、埋土に古代の遺物を含む径80×70cmの土坑1基、T23では165×60cmの梢円形プランの土坑1基が検出された。埋土には、土師器片及び焼土粒・炭化物粒が多く含まれていたことから、竪穴住居跡の煙道部の可能性もある。T13で検出された径80×60cmの焼土遺構は、焼土中に土師器片が含まれる。溝跡はT14・27で検出された。T14の溝は開口部幅40cmで埋土上面に摩滅した土師器片が含まれる。T27の溝2条はともに幅約30cmで、溝の周囲から古代の遺物が出土している。T1・T26・T30においては、径30cm前後の柱穴状土坑8個が検出された。埋土に古代の遺物が含まれているものもあり、古代に属すると思われる。その他、T8・T6・T25では、遺物は少ないながらも包含層が検出された。

現水路を挟んだ北側水田に設定したT18~T22においては、遺構・遺物は検出されていないことから、本遺跡における集落域は大江川と現水路に挟まれた自然堤防上に所在するものと推測した。

(平成23年度、県埋文センターにより発掘調査実施済み)



第64図 小野遺跡調査地点

7 経営体育成基盤整備事業都鳥2期地区

堤遺跡 (NE25 - 0226)

所在地：奥州市胆沢区南都田字四ツ柱地内

事業者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成22年10月21日(木)～10月26日(火)

遺跡は、奥州市役所の西南西方向約4.2kmに位置し、扇状地上の微高地に立地している。今回の調査は、ほ場整備事業に伴うもので、過去に実施された分布調査で、旧來の遺跡範囲に隣接して地形的に可能性があるとされた範囲において、切土予定の田面、給排水路設置予定箇所及び砂利敷農道築造箇所が対象である。調査対象箇所に89本のトレーニングを設定した(T1～T89)。

調査区全体において、過去の水田造成工事によるものと思われる工事によって、旧地形が大きく改変されており、基本層序どおりの堆積を示しているトレーニングは多くはなかった。T26において、260×160cmの隅丸方形の堅穴住居跡が1棟検出された。埋土には土師器片、須恵器片が含まれていた。T38においては、そのプランはやや不明瞭で、遺構中央部に焼土を含む、隅丸方形と思われる堅穴住居状遺構が検出された。埋土上面からは、高台付近が1点出土した。T89においては、埋土に土師器片を含む堅穴住居状遺構が検出されたが、プランは明確ではない。T29、T84で検出された溝跡は、その埋土上面から土師器片が出土していることから、構築時期は古代であると思われる。T29で検出された土坑は、埋土に土師器片が含まれていた140×70cmの楕円形プランを示していた。T35、T37で検出された柱穴は、埋土に土師器片が含まれていることから古代に属すると思われるが、T47、T66で検出された柱穴は遺物を伴わないことから、構築時期は不明である。その他、T10においては、径270cmの円形を示す井戸状土坑が検出された。埋土上面には土師器片は含まれてはいたが、耕作土直下に第V層の検出面であったことから、混入した可能性もある。

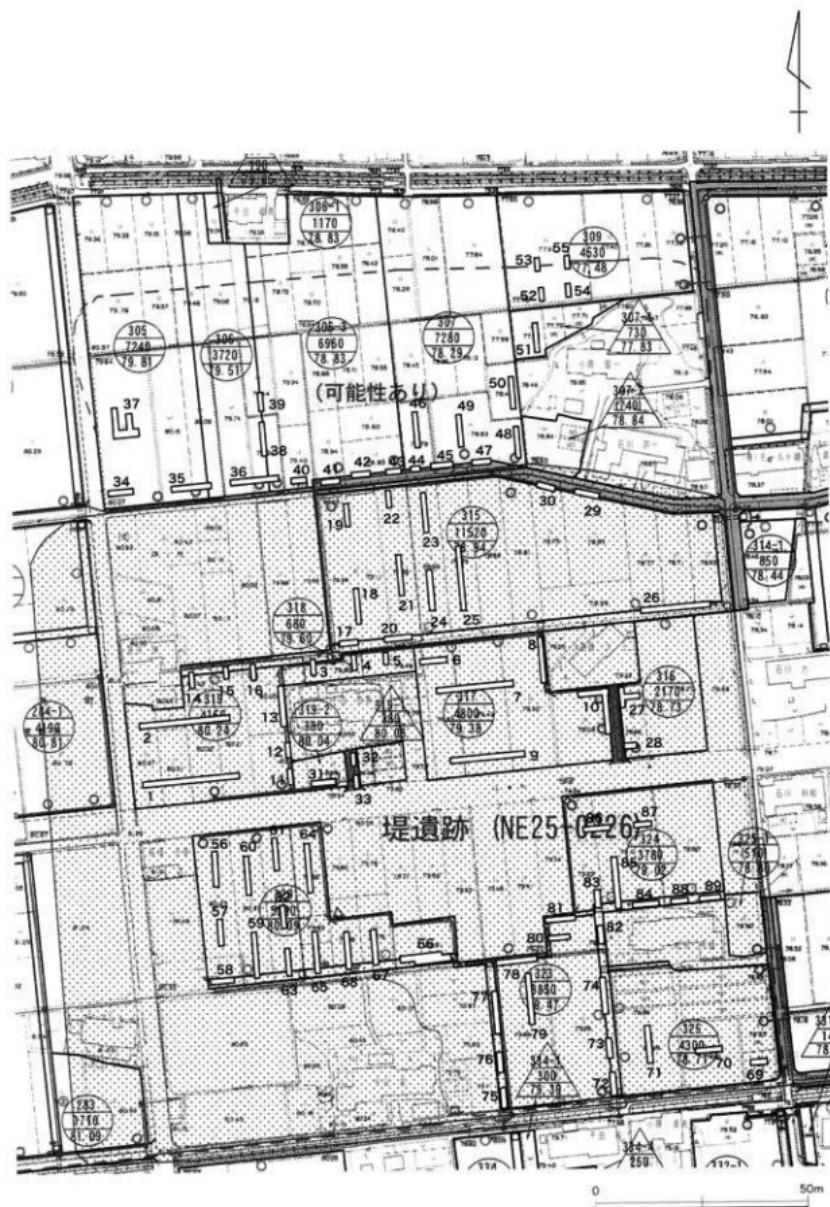
T1～T33、T27～T28、T46～T52・T53を設定した水田は、耕作土直下あるいは耕作土、盛土下に第V層より下層である10～30cm大の円礫を多く含む砂礫層がみられた。T13～T25、T53・T55を設定した箇所は、湿地状の箇所であった。

以上のことから、今回の調査区は、旧地形において微高地であった区域と湿地状の区域が南北に連続する箇所で、遺構は旧地形における微高地周辺に所在していたものと推測した。

(平成23年度、県埋文センターにより発掘調査実施済み)



第65図 堤遺跡位置



第66図 堤遺跡調査地点

8 経営体育成基盤整備事業都島3期地区

作屋敷遺跡 (NE25-0144)

所在地：奥州市胆沢区

事業者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成22年10月26日(火)～10月28日(木)

平成22年11月25日(木)

作屋敷遺跡はJR東北線水沢駅の西約6km、胆沢扇状地の扇尖部北縁に立地している。扇状地北縁には胆沢川が東流し、堆積作用および開析作用により複数の段丘面を形成している。遺跡が立地する付近は低位段丘（水沢段丘）面にあたる。今回の調査は都島3期地区のは場整備にともない、工事予定地の試掘調査を実施したものである。今回同様のは場整備事業に係り、市道下松原鶴田線以南の遺跡南半部については過年度

に試掘調査を実施済であり、その一部について（財）県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した。

調査の結果、遺跡中央寄りの部分では低湿地的な環境にあって遺構・遺物ともに確認されなかったが、北側の一段高い地形面においては宅地（=微高地）周辺を中心として古代の遺構（平安時代か）が検出されている。さらに古代の遺構・遺物は、周知の遺跡範囲を越えてさらに北東側へと広がっており、その広がりは事業地東端まで及んでいることが確認された。

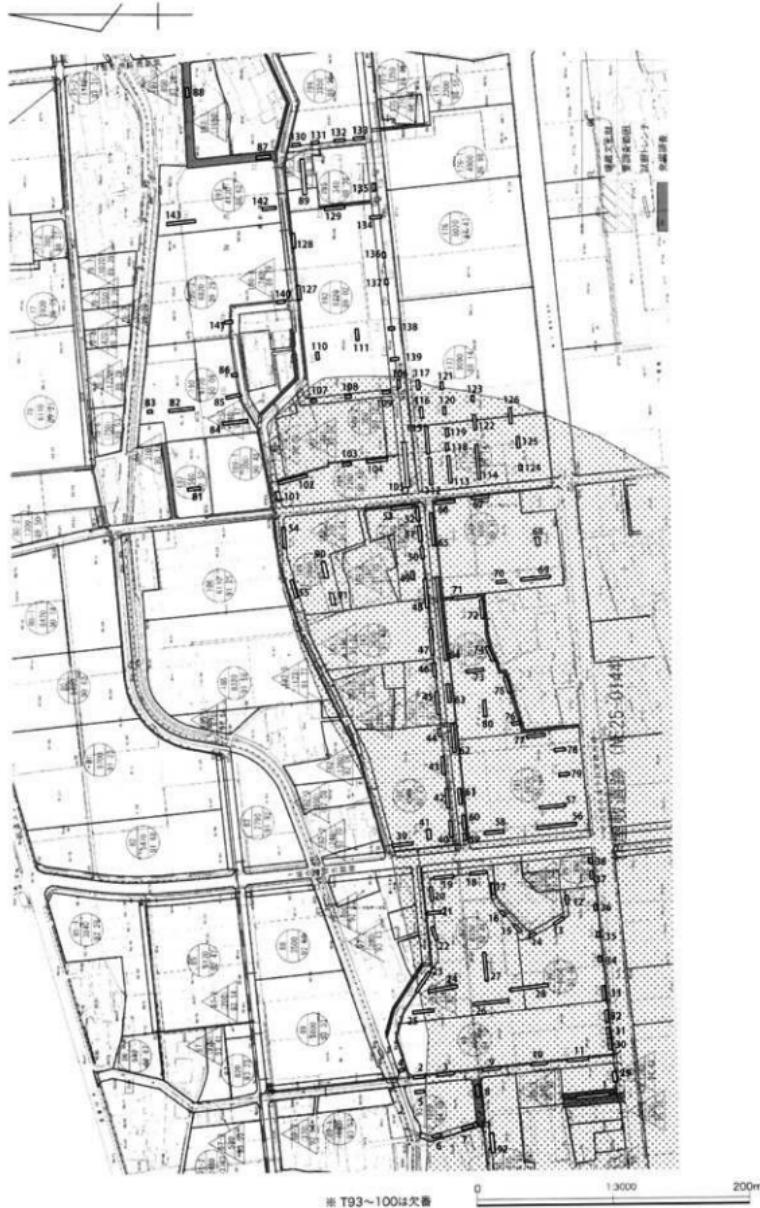
調査地西側の田区93・94・97付近では、T1・8・11・23・25・31および道路・水路部分で溝跡・柱穴が検出され、T11では竪穴住居跡と思われる遺構を検出した。中央部の田区182・180および道路・水路部分では、T40・41・73・80で溝跡・柱穴が検出され、T47では埋土に土師器・須恵器を多く含む大形の土坑が検出された。東側の宅地周辺では溝跡・土坑・陥し穴・柱穴等がT87・102・104・107・111・127～129・142・143で検出された。これらの遺構が載る面は、低湿地から一段高い、ほぼ同一地形面と解される。なお、東端の民家部分は田面より一段低くなっているが（湿地面よりは高位）、T88で竪穴住居跡と思われる、黒色土の方形の広がりを確認した。田区195-2の畑地に設定したT89では、埋土に土師器片が多数含む竪穴住居跡1棟を検出、他にも焼土を含む土坑・柱穴・溝跡が検出されている。なお、田区190・190-2が接する宅地縁辺部分では堀状の遺構も検出されており、当該宅地部分が近世の環濠屋敷跡である可能性が高い。

現宅地となっている微高地面およびその周辺には、古代の遺構・遺物が包蔵されていることが確認された。確認された集落跡は、遺跡中央部に低湿地が存在していることから、南半部の古代集落とは別個のムラである可能性が高いと思われる。

（平成23年度、県埋文センターにより発掘調査実施済み）



第67図 作屋敷遺跡位置



第68図 作屋敷遺跡調査地点

9 経営体育成基盤整備事業古城2期地区

古城林遺跡（旧・林I遺跡N E 36 - 2379と
林II遺跡N E 36 - 2357を統合・範囲拡大）

所在地：奥州市前沢区古城地内

事業者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成22年11月8日(月)～9日(火)、
12月1日(水)～2日(木)

古城林遺跡は奥州市役所の南約6.7kmに位置し、北上川右岸に形成された微高地上に立地している。ほ場整備事業に係り、周知の遺跡範囲および分布調査の結果から埋蔵文化財を包蔵する可能性ありと推測される遺跡周辺部分を含めて、試掘調査を実施した。なお、当遺跡は試掘調査時点では林I遺跡と林II遺跡に分かれていたが、調査後に隣接地を含めて統合・範囲拡大して古城林遺跡に改称している。当遺跡と同一地形面の南側水田面には、同じくほ場整備事業にともない発掘調査が行われた八反町遺跡や草井川遺跡、中畠城遺跡等、多くの遺跡が所在している。

調査地は宅地・果樹林を除いた遺跡のはば全城に及ぶ。調査対象は主に、切土される田面および農道・水路設置部分である。調査地は現況が水田であり、著しく地形変更されているが、微高地である現宅地の周辺では耕作土の下に旧表土の黒色土層が残されていた。

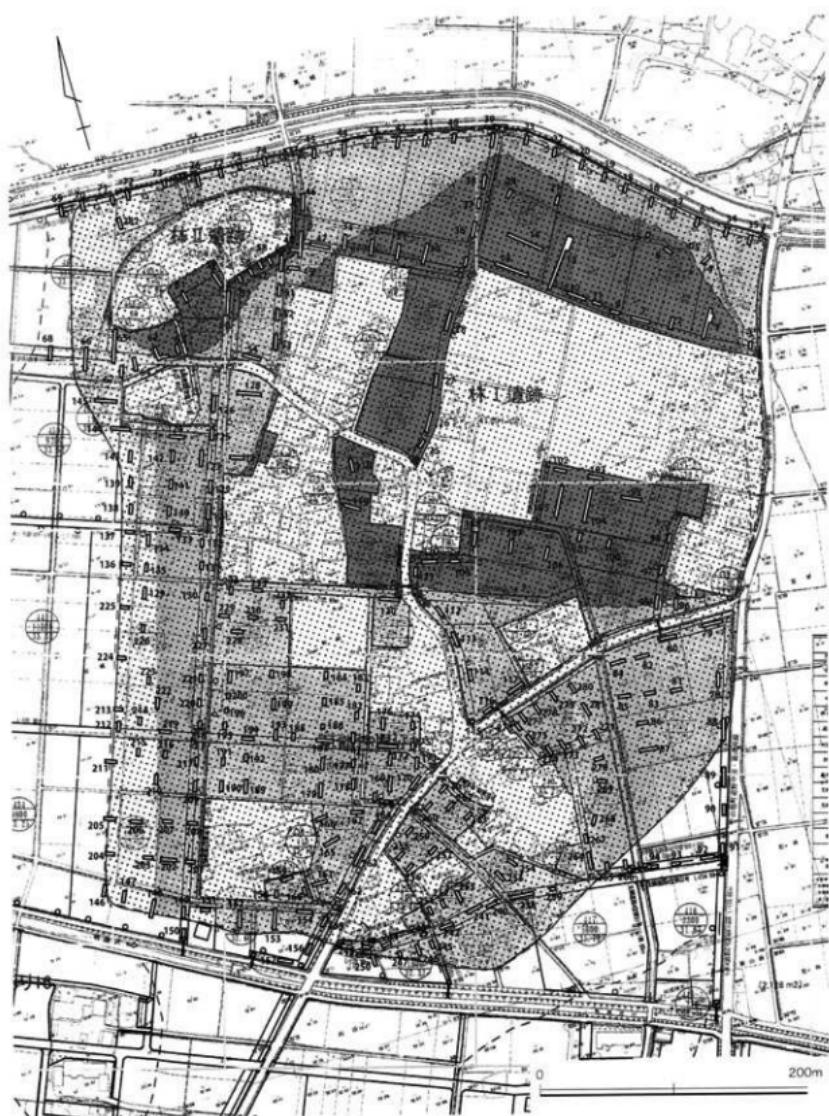
調査地に総計279本のトレンチを設定して掘削した。調査の結果、地形変更されている水田面を含めて、多数の遺構が確認された。検出遺構は、堅穴住居跡4棟、土坑5基、陥し穴4基、溝跡25条、柱穴7個、水田状遺構3箇所である。住居跡はT2・197・244・268で検出された。1棟については埋土に縄文土器が含まれており、縄文時代の住居跡の可能性がある。他の3棟については、埋土から出土した土器から平安時代の住居跡と推測される。土坑はT1・28・130・132・143、陥し穴はT122・137・139で検出されている。土坑・陥し穴の時期は明確ではないが、前者は古代、後者は縄文時代に属するものと思われる。遺物は、遺構埋土および旧表土層から、土師器・須恵器が出土しているが、量は少ない。

遺構は現況の宅地や果樹林となっている微高地およびその周辺に分布しており、微高地を中心にして縄文時代と平安時代の集落が営まれていたと推測される。

(平成23年度、県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施)



第69図 古城林遺跡位置



第70図 古城林遺跡調査地点

10 道路改良事業

山脈地遺跡 (MF96-2116)

所在地：気仙郡住田町上有住字山脈地地内

事業者：沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

調査期日：平成23年2月24日(木)～25日(金)

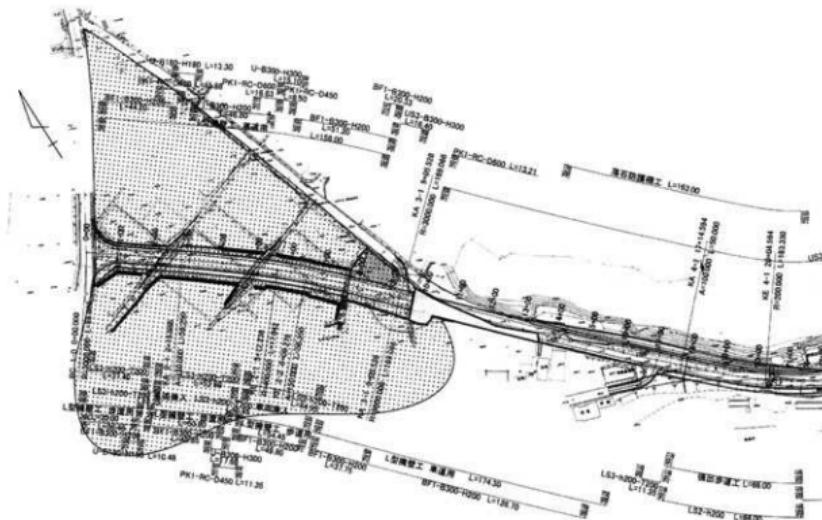
山脈地遺跡は住田町役場の北約6.3km、気仙川左岸の丘陵な谷底平野に所在している。調査は県道167号の改良工事によるもので、有住小学校の北側に隣接する水田・畑地である。

当事業に係り、当教育委員会では平成21年度に試掘調査を実施し、事業地内に縄文時代の遺構・遺物が存在することを確認した。発掘調査は平成22年度に事業者から委託を受けた財県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施し、縄文時代前期の大形竪穴住居跡が検出され、早期・前期・晩期の土器が出土した。県埋蔵文化財センターの調査の結果、遺物を含む旧河道が調査区東側隣接地へと延びていることが判明したため、当該部分の工事立会を当教育委員会が実施したものである。

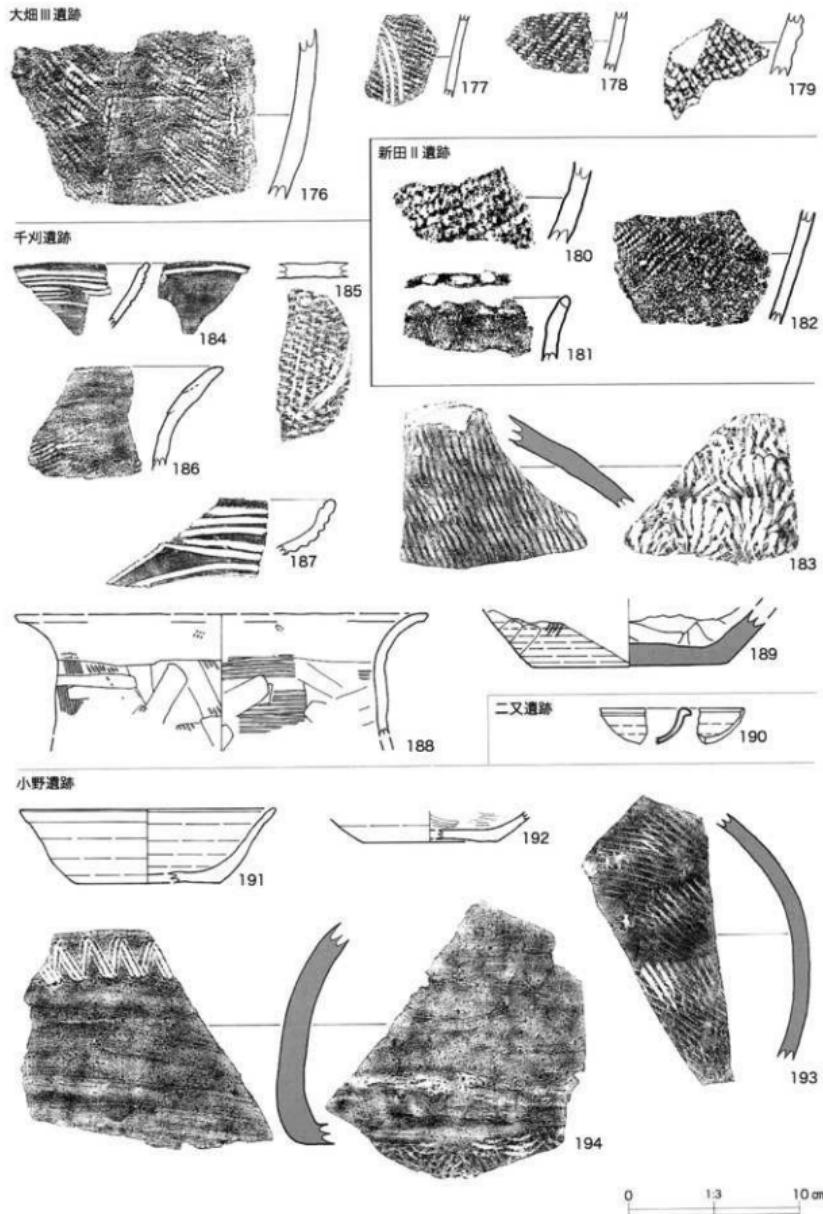
立会の結果、旧河道の堆積土から縄文土器が出土したが、遺構は確認されなかった。



第71図 山脈地遺跡位置

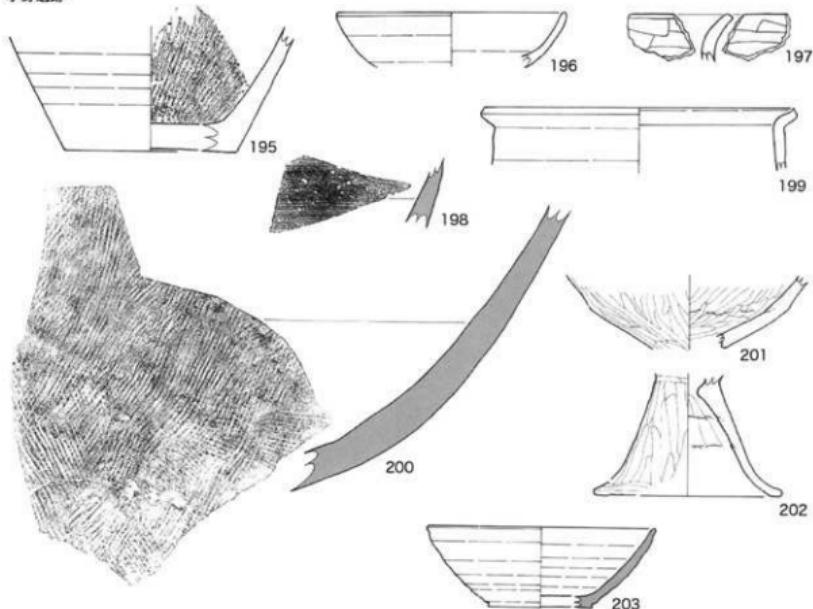


第72図 山脈地遺跡立会地点

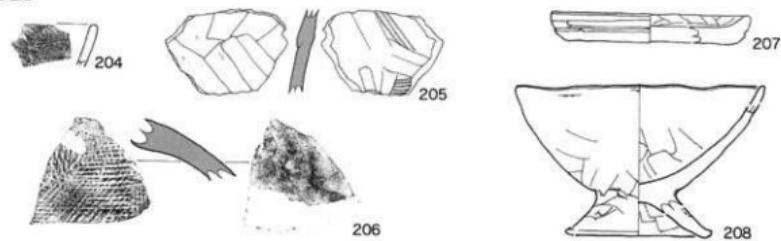


第73図 試掘調査出土遺物（1）

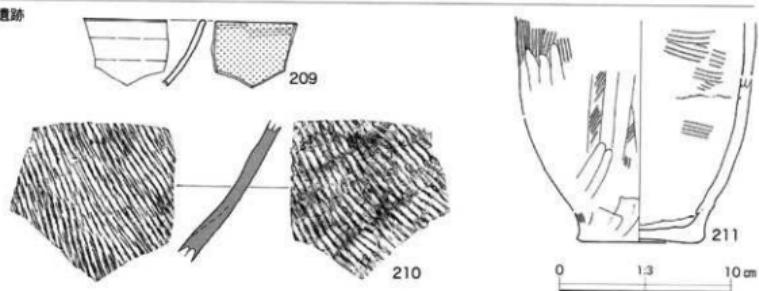
小野遺跡



堤遺跡

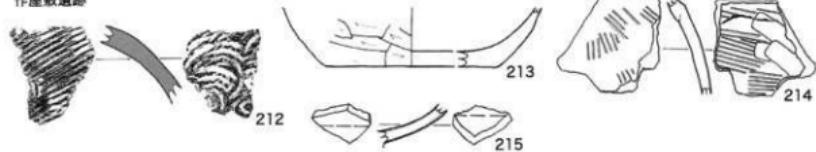


作屋敷遺跡

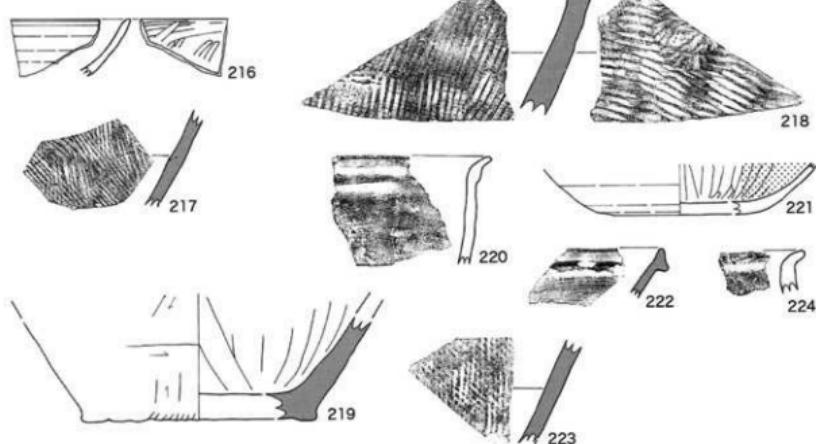


第74図 試掘調査出土遺物（2）

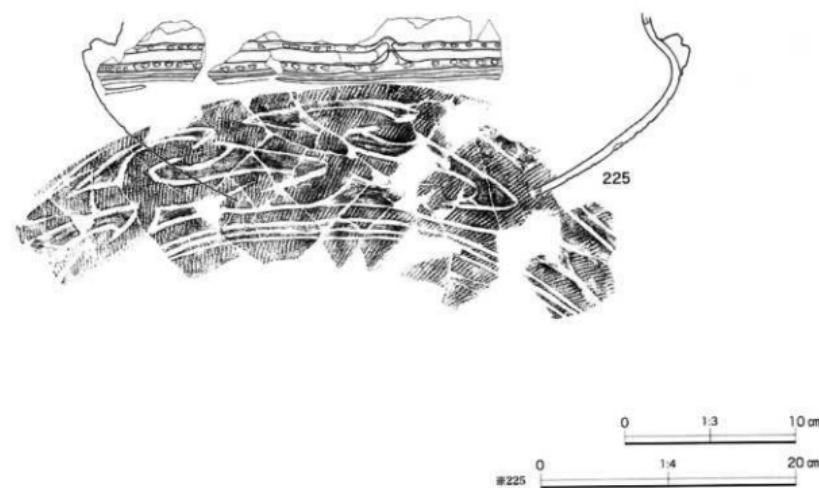
作屋敷遺跡



古城林遺跡



山脈地遺跡

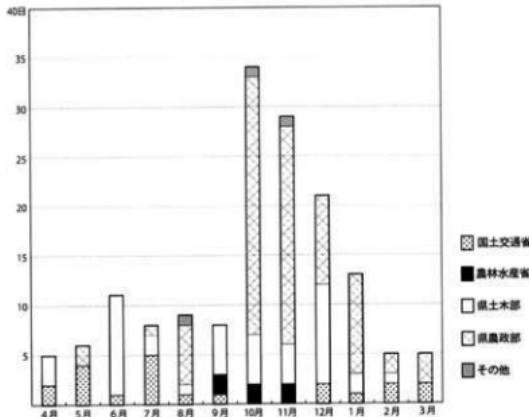


第75図 試掘調査出土遺物（3）・工事立会出土遺物

遺物観察表（2）試掘調査

番号	遺跡名	出土地点	層位	種別	器種	特徴	時代	時期	備考
126	大堀畠	灰土		縄文土器	深鉢	縄文文。	縄文時代	中期	
127	大堀畠	灰土		縄文土器	深鉢		縄文時代	中期	
128	大堀畠	T 8 柱穴	埋土	縄文土器	深鉢		縄文時代	中期	
129	大堀畠	T 土坑	埋土	縄文土器	深鉢		縄文時代	中期	
180	新田Ⅱ	T 3	褐色土色	縄文土器	深鉢	撫赤文、磨滅。	縄文時代		
181	新田Ⅱ	T 4	包含層	縄文土器	深鉢	小底状口部。磨滅。	縄文時代		
182	新田Ⅱ	T 4	包含層	縄文土器	深鉢	斜行模印。磨滅。	縄文時代		
183	手堀	T 4	包含層	須恵器	大甕	内外面にタキズメ。	古代		
184	手堀	T 9	堅穴住居跡	弥生土器	浅鉢	平行する沈彫文。	弥生時代		
185	手堀	遺構外表探	不明	弥生土器	甕	漆文。磨滅。	弥生時代		耕作による擾乱
186	手堀	遺構外表探	不明	縄文土器	深鉢	底面に削成痕。	縄文時代		耕作による擾乱
187	手堀	遺構外表探	不明	弥生土器	浅鉢	変形工字文。	弥生時代		耕作による擾乱
188	手堀	遺構外表探	不明	土師器	壺	内・外面：ハケメ→ヘラナデ。	古代		耕作による擾乱
189	手堀	遺構外表探	不明	須恵器	壺		古代		耕作による擾乱
190	二又	T 6		總器	瓶		近世か		
191	小野	T 1	褐色土	土師器	环	ロクロナデ。	平安時代		
192	小野	T 3	黒褐色土	土師器	环	外側：ロクロナデ。内面：ヘラナデ。	平安時代		
193	小野	T 4 突穴住居	埋土	須恵器	大甕	タキズメ。	平安時代		
194	小野	T 6	耕作土	須恵器	大甕	外側：口縁に山形彫複。内面：当て具痕。	平安時代		
195	小野	T 16	耕作土	縦器	縦鉢		近世		
196	小野			土師器	环	ロクロナデ。	平安時代		
197	小野			土師器	壺	ヘラナデ。	平安時代		
198	小野	T 23 土坑	埋土	須恵器?	甕				陶器か
199	小野	T 23 土坑	埋土	土師器	甕	ロクロナデ。	平安時代		
200	小野	T 23 土坑	埋土	須恵器	大甕				
201	小野	T 26	田畠	土師器	高环	有段。ヘラナデ。	古墳時代か	202と同一個体	
202	小野	T 26	田畠	土師器	高环	高台部。中型。ヘラナデ。	古墳時代か	201と同一個体	
203	小野	T 27	田畠	須恵器	环	ロクロナデ。	平安時代		
204	堤	井戸状遺構		土師器	环				
205	堤	T 18		須恵器	甕				
206	堤	T 26		須恵器	甕				陶器か
207	堤	T 30		かわらけ	瓶	でづくね。	平安時代末	12世紀	
208	堤	T 38 突穴住居	埋土	土師器	台付鉢	ヘラナデ。	古代		奈良時代か
209	作塙敷	T 64 土坑	埋土	土師器	环				
210	作塙敷	T 64 土坑	埋土	須恵器	大甕				
211	作塙敷	T 41	包含層	土師器	甕	外側：ハケメ→ヘラナデ。内面：ハケメ。	古代		
212	作塙敷			須恵器	大甕	外側：タキズメ。内面：当て具痕。	平安時代		
213	作塙敷	T 27 土坑	埋土	土師器	甕	ヘラケズリ。			
214	作塙敷	T 住居跡	埋土	土師器	甕	ハケメ。			
215	作塙敷	隣接T 6 壤	埋土	須器	瓶	青白釉。	近世		
216	古城林	T 29	低湿地包含層	土師器	环	外側：ロクロナデ。内面：ヘラミガキ。	平安時代		
217	古城林	T 29	低湿地包含層	須恵器	甕				
218	古城林	T 20	低湿地包含層	須恵器	甕	タキズメ。	平安時代		
219	古城林	T 34	旧河道	須恵器	甕	外側：ヘラケズリ。内面：ヘラナデ。	平安時代		
220	古城林	T 52	住居跡	土師器	甕		平安時代		
221	古城林			土師器	环	外側：ロクロナデ。内面：ヘラミガキ。	古代		
222	古城林	T 12		須恵器	壺	口縁部に突脊。	古代		
223	古城林	T 3		須恵器	甕		古代		
224	古城林	T 3		土師器	甕		古代		
225	山根地	田河遺	田畠	縄文土器	鉢	突起。貼付隣接に通刺突。雲彫文。	縄文時代	晚期中葉	

III 調査一覧



平成22年度 月別・事業者別の延べ調査日数

○単純に調査の延べ日数を累計したものである。

○22年度の調査体制は、埋蔵文化財担当職員2名1班が野外調査に従事し、必要に応じて随時1~2名の支援が入る形をとった。但し調査件数が増加した10月以降は、調査員1名で調査にあたることも多くなつた。

○10~12月期の調査日数の急増は、県南部におけるは場整備事業に係る試掘調査によるものである。また1~3月期の調査は、当課が直営で実施した発掘調査が主である。

(1) 発掘調査

No.	調査期間	事業名	事業者	遺跡名	所在地	提出遺構	面積	
1	平成22年5月19日～21日	地域づくり緊急改善事業	県南広域振興局土木部	根鹿原遺跡	奥州市	柱跡1基	120	
2	平成22年6月1日～4日	中山間地域総合整備事業	県北広域振興局農政部二四課	山内駒木2号道路	程来町	堅穴住居跡1棟、土坑1基、塙1穴1基	240	
3	9月13日～17日 大船水地区	農林センター農村整備室	沿岸広域振興局農林部大船水課	赤坂角地遺跡	勝前高田市	遺物包含層	500	
3	平成22年6月1日～4日 広田地区	中山間地域総合整備事業	沿岸広域振興局農林部大船水課	波農地振興センター所長	赤坂角地遺跡	勝前高田市	土坑13基、柱穴土坑31個、井戸跡2基	1,760
4	6月29日～30日	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	館ノ口遺跡	北上市	堅穴住居跡2棟、土坑1基、塙1基	100		
5	平成22年8月2日～5日	公共交通水道事業	野田村長	中平遺跡	野田村	堅穴住居跡1棟、土坑4基	1,000	
6	平成22年8月4日～11日	経営育成基盤整備事業	盛岡市城振興局農政部農村整備室長	風頭遺跡	矢巾町	堅穴住居跡5基、柱穴土坑6個	1,000	
7	平成22年8月23日～27日	地域道路整備事業 大船バイパス	県南広域振興局土木部一関土木センター所長	矢ノ口遺跡	一関市	堅穴建物1棟、柱穴群	1,000	
8	平成22年9月1日～2日	福島帶綜合整備事業	農林振興センター農村整備室長	大船ノ浦遺跡	一戸町	土坑1基	30	
9	平成22年11月1日～2日 平成23年2月18日	経営育成基盤整備事業 江戸子第一地区	農林振興センター所長	下柳坂古窯道跡	北上市	柱跡1基	70	
10	平成22年11月29日～30日	盛岡地家総合行政整備等工事	最高裁判所事務局総務局	盛岡城跡	盛岡市	塙1穴	300	
11	平成22年12月20日～21日 中筋地区	中山間地域総合整備事業	県南広域振興局農政部北上農村整備センター所長	西部遺跡	花巻市	堅穴住居跡1基	100	
12	平成23年1月11日 2月1日	福島地区堤防対応の整備事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	谷地遺跡	奥州市	堅穴住居跡1棟、溝跡5条、土坑6基、柱穴20個	2,000	
13	平成23年1月24日～27日 白石山地区	経営育成基盤整備事業	県南広域振興局農政部農村整備室長	田高田遺跡	鶴岡市	溝跡3条、土坑1基、柱穴1個	110	
14	平成23年2月7日～3月3日	経営育成基盤整備事業 中部第4地区	県南広域振興局農政部農村整備室長	久田亘遺跡	北上市	堅穴住居跡6棟、土坑14基、溝跡5条、柱穴2個	400	
15	平成23年2月21日	経営育成基盤整備事業 古城2期地区	県南広域振興局農政部農村整備室長	草井川遺跡	奥州市	土坑5基、柱穴50個、溝跡1条	109	

調査面積計 7,839

(2) 試掘調査

※アミフセ部分はⅡ章で記載したもの

No.	調査期間	事業名	事業者	遺跡名	所在地
1	平成22年4月12日～14日	南山地区工農絆地造成事業	岩手県土地開発公社	可燃性あり	安ヶ崎町
2	平成22年4月14日	個人住宅付近(藤沢町)	個人	洞木3遺跡	藤沢町
3	平成22年4月15日	緊急地方道路整備事業	県南広域振興局土木部	可燃性あり	奥州市
4	平成22年4月16日	一般国道45号 高田道路	国土交通省東北地方整備局三陸国際事務所	可燃性あり②	勝前高田市
5	平成22年4月22日	久保警察署川日田派出所建設事業	岩手県警都警察部会計課	可燃性あり	久保市
6	平成22年4月23日	福島帶綜合整備事業(組立・手支曳型)	県北広域振興局農政部農村整備室	大塚2遺跡	一戸町
7	平成22年4月23日	福地帯屯合整備事業(組立・手支曳型)	県北広域振興局農政部農村整備室	大塚3遺跡	一戸町
8	平成22年4月23日	福地帯屯合整備事業(組立・手支曳型)	県北広域振興局農政部農村整備室	大塚4遺跡	一戸町
9	平成22年5月12日	緊急地方道路整備事業	盛岡市城振興局土木部	上越原1号遺跡	盛岡市
10	平成22年5月12日	緊急地方道路整備事業	盛岡市城振興局土木部	二又遺跡隣接地	盛岡市
11	平成22年5月13日	緊急地方道路整備事業	盛岡市城振興局土木部	可能性あり	盛岡市
12	平成22年5月13日	緊急地方道路整備事業	盛岡市城振興局土木部	俄岡林崎1号遺跡近接地	盛岡市
13	平成22年5月18日	中山間地域総合整備事業施設の郷地区	沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター	田代タケ遺跡	田野畠村
14	平成22年5月18日	中山間地域総合整備事業施設の郷地区	沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター	真木沢遺跡	田野畠村
15	平成22年5月18日	中山間地域総合整備事業施設の郷地区	沿岸広域振興局農林部宮古農林振興センター	真木沢V遺跡	田野畠村
16	平成22年5月19日	地域づくり緊急改善事業(歩道幅拡幅)	県南広域振興局土木部	根集遺跡	奥州市
17	平成22年5月19日	緊急地方道路整備事業	県南広域振興局土木部	可能牲あり④	奥州市
18	平成22年5月19日	緊急地方道路整備事業	県南広域振興局土木部	可能牲あり⑤	奥州市
19	平成22年5月20日	緊急地方道路整備事業	県南広域振興局土木部	可能牲あり⑥	奥州市
20	平成22年5月24日	喜野河川改修工事	盛岡市城振興局土木部	法磐寺及び引瀬跡	久保村
21	平成22年6月14日	八幡地区雨水対策事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	鳥岡1号遺跡隣接地	花巻市
22	平成22年6月15日～16日	地方特定道路整備事業	沿岸広域振興局土木部岩手土木センター	可能牲あり	田野畠村
23	平成22年6月15日～16日	北上川中流部治水対策事業(京花地区)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	立花南遺跡	北上市
24	平成22年6月17日	緊急地方道路整備事業(交通安全)	沿岸広域振興局土木部	対照遺跡	大船町
25	平成22年6月18日	一般県道付近丹生母木水浸地(緊急道路整備事業)	県北広域振興局土木部	本流引瀬隣接地	久保村
26	平成22年6月21日	河川総合開発事業(津付ダム建設事業)	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター・津付ダム建設事務所	子側高仰遺跡	住田町
27	平成22年6月30日	東北横断自動車道並石秋田線	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能牲あり⑤	浪野市
28	平成22年7月12日～15日	東北横断自動車道並石秋田線	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能牲あり⑥	浪野市

No.	調査期日	事業名	事業者	進路名	所在地
29	平成22年7月13日～15日	東北横断自転車道兼石川線	国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所	可能性あり⑧ 岩手河川国道事務所	遠野市
30	平成22年7月22日	主要地方道岩泉平井賀賀代賀原单災害防除事業	県北広域振興局土木部	上村XIV道跡 上村XV道跡	普代村
31	平成22年7月22日	主要地方道岩泉平井賀賀代賀原单災害防除事業	県北広域振興局土木部	上村XV道跡	普代村
32	平成22年7月22日	主要地方道岩泉平井賀賀代賀原单災害防除事業	県北広域振興局土木部	黒崎道跡 黒崎道跡	普代村
33	平成22年7月26日	林道整備事業森林管理道清潔一ノ瀬線	山形広域振興局農林部	一ノ瀬Ⅱ道跡 大鶴町	大鶴町
34	平成22年7月27日	緊急地方道路整備事業(交通安全)	沿岸広域振興局土木部	高青工三道跡 大鶴町	大鶴町
35	平成22年7月28日	経営体育施設整備事業下北次地区	盛岡市城振興局農政部農村整備室	可能性あり① 久川町	久川町
36	平成22年7月29日	八幡地区治水対策事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	鳥岡Ⅰ道跡 花巻市	花巻市
37	平成22年7月30日	経営体育施設整備事業鳥巣地区	県南広域振興局農政部農村整備室	国分道跡隣接地 中平道跡	奥州市
38	平成22年8月4日	公会堂下水道事業	野田村長	野田村	野田村
39	平成22年8月11日	災害対応整備事業	盛岡市城振興局土木部別子土木センター	崩ノ沢Ⅱ道跡 藤谷町	藤谷町
40	平成22年8月19日	福島地区堤防貯貯の整備事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	谷地道跡 奥州市	奥州市
41	平成22年8月19日	林道整備事業	沿岸広域振興局農林部宮古森林振興センター 林務室	相舟内清水道跡 宮古市	宮古市
42	平成22年8月18日～19日	東北横断自転車道兼石川線	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能性あり⑨ 岩手河川国道事務所	遠野市
43	平成22年8月19日～20日	堰地帯合意整備事業(担い手支援型)	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター 農村整備係長	上平亘道跡 二戸市	二戸市
44	平成22年8月20日	堰地帯合意整備事業(担い手支援型)	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター 農村整備係長	上平亘道跡 二戸市	二戸市
45	平成22年8月20日	一般船道港開闢事業民間漁港地区歩道設置工事	県南広域振興局土木部北上土木センター	鳴岡崎Ⅱ道跡 北上市	北上市
46	平成22年8月27日	緊急地方道路整備事業(花木バイパス)	県南広域振興局土木部・開・土木センター	西郷ノ沢道跡 一関市	一関市
47	平成22年8月23日	緊急地方道路整備事業	県南広域振興局土木部遠野土木センター	新里間木野道跡 遠野市	遠野市
48	平成22年8月23日～24日	東北横断自転車道兼石川線	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能性あり⑩ (大畑Ⅱ道跡)	遠野市
49	平成22年9月1日	北上川中流域治水対策事業(薄井地区)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	星山船道跡 紫波町	紫波町
50	平成22年9月2日～3日	東北横断自転車道兼石川線	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	深沢Ⅱ道跡 遠野市	遠野市
51	平成22年9月6日	一般船道港開闢事業JR線渋田地区歩道設置工事	県南広域振興局土木部北上土木センター	鳴岡崎Ⅱ道跡 北上市	北上市
52	平成22年9月7日	研究体育施設整備事業 唐津第二地区	盛岡市城振興局農政部農村整備室	細畑道跡隣接地 美川町	美川町
53	平成22年9月8日	玄武洞除雪整備事業	盛岡市城振興局土木部別子土木センター	横沢C道跡 岩手町	岩手町
54	平成22年9月10日	基幹河川改修工事	盛岡市城振興局土木部	法解寺Ⅱ道跡 南河村	南河村
55	平成22年9月21日	基幹農道整備事業松右2期地区	沿岸広域振興局農政部宮古農林センター	松右Ⅰ道跡 羽前町	羽前町
56	平成22年9月21日～22日	基幹農道整備事業松右2期地区	沿岸広域振興局農政部宮古農林センター	可能なり⑨ 松右Ⅰ道跡 羽前町	羽前町
57	平成22年9月22日	基幹農道整備事業松右2期地区	沿岸広域振興局農政部宮古農林センター	松右Ⅰ道跡 岩泉町	岩泉町
58	平成22年9月27日	経営体育施設整備事業新田地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	八戸北道跡 北上市	北上市
59	平成22年9月28日	治水施設整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	丹後尾根Ⅱ道跡隣接地 花巻市	花巻市
60	平成22年9月28日	治水施設整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	可能性あり⑨ 花巻市	花巻市
61	平成22年9月28日	治水施設整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター	可能性あり⑨ 花巻市	花巻市
62	平成22年10月1日	道路改築事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	松谷下山道跡 宮古市	宮古市
63	平成22年10月1日	道路改築事業	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター	可能なり④ 宮古市	宮古市
64	平成22年10月4日	河川総合開発事業(津付ダム建設事業)	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 津付ダム建設事務所	可能なり① 住田町	住田町
65	平成22年10月5日	河川総合開発事業(津付ダム建設事業)	沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 津付ダム建設事務所	可能なり② 住田町	住田町
66	平成22年10月5日	地方特定道路整備事業／木～村邑地区	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能なり⑥ 岩泉町	岩泉町
67	平成22年10月4日	地方特定道路整備事業／木～村邑地区	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能なり⑤ 岩泉町	岩泉町
68	平成22年10月5日	地方特定道路整備事業／木～村邑地区	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能なり③ 岩泉町	岩泉町
69	平成22年10月5日	地方特定道路整備事業／木～村邑地区	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能なり② 岩泉町	岩泉町
70	平成22年10月5日	地方特定道路整備事業／木～村邑地区	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能なり① 岩泉町	岩泉町
71	平成22年10月6日	さくわの整備事業	保養施設専用小屋・保養施設操縦課操縦員	中野八瀬跡 花巻市	花巻市
72	平成22年10月7日～8日	経営体育施設整備事業 和賀中部第四地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	八坂道跡 北上市	北上市
73	平成22年10月8日	中山間地域総合整備事業 中野地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	西部道跡 花巻市	花巻市
74	平成22年10月13日	堰地帯合意整備事業(担い手支援型)	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター 農村整備室	上村Ⅲ道跡 二戸市	二戸市
75	平成22年10月14日	経営体育施設整備事業日形地区	県南広域振興局農政部一関農村整備センター	石畑道跡 一関市	一関市
76	平成22年10月14日	経営体育施設整備事業日形地区	県南広域振興局農政部一関農村整備センター	OE39-0081道跡 一関市	一関市
77	平成22年10月15日	経営体育施設整備事業日形地区	県南広域振興局農政部一関農村整備センター	OE39-1001道跡 一関市	一関市
78	平成22年10月15日	経営体育施設整備事業日形地区	沿岸広域振興局農林部宮古森林振興センター	小野道跡 一関市	一関市
79	平成22年10月14日～15日	地域防災対策合治由山事業	老木和野Ⅰ道跡	宮古市	宮古市

No.	調査期日	事業名	事業者	道跡名	所在地
80	平成22年10月18日	経営体育成基盤整備事業(日影地区)	福南広域振興局農政部一聞農村整備センター	中神四日山道跡隣接地	一聞市
81	平成22年10月18日～19日	経営体育成基盤整備事業(日影地区)	福南広域振興局農政部一聞農村整備センター	小野道跡	一聞市
82	平成22年10月18日～19日	経営体育成基盤整備事業(美川2・3期)	福南広域振興局農政部一聞農村整備センター	右崎日塙隣接地	一聞市
83	平成22年10月18日～19日	経営体育成基盤整備事業(美川2・3期)	福南広域振興局農政部一聞農村整備センター	白須日塙隣接地	一聞市
84	平成22年10月18日～19日	経営体育成基盤整備事業(美川2・3期)	福南広域振興局農政部一聞農村整備センター	長崎側道跡隣接地	一聞市
85	平成22年10月20日	経営体育成基盤整備事業(美川第四地区)	福南広域振興局農政部北上農村整備センター	八戸坂道跡	北上市
86	平成22年10月20日	経営体育成基盤整備事業(美川第四地区)	福南広域振興局農政部北上農村整備センター	久田Ⅱ道跡	北上市
87	平成22年10月20日	経営体育成基盤整備事業(古城2期地区)	福南広域振興局農林農村整備室	小畠城道跡	奥州市
88	平成22年10月20日	経営体育成基盤整備事業(古城2期地区)	福南広域振興局農林農村整備室	可燃性あり③	奥州市
89	平成22年10月20日	経営体育成基盤整備事業(古城2期地区)	福南広域振興局農林農村整備室	可燃性あり⑥	奥州市
90	平成22年10月20日～22日	経営体育成基盤整備事業(都鳥地区)	福南広域振興局農林農村整備室	都鳥道跡	奥州市
91	平成22年10月21日～22日	経営体育成基盤整備事業(都鳥地区)	福南広域振興局農林農村整備室	都鳥道跡	奥州市
92	平成22年10月25日	経営体育成基盤整備事業(都鳥地区)	福南広域振興局農林農村整備室	可能性あり	奥州市
93	平成22年10月22日	経営体育成基盤整備事業(都鳥地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	作原道跡	奥州市
94	平成22年10月26日～28日	経営体育成基盤整備事業(都鳥地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	作原農走跡	奥州市
95	平成22年10月29日	地方特定道路整備事業(木一財地区)	白石広域振興局木本部岩土セメントセンター	可燃性あり⑥	岩泉町
96	平成22年11月1日	松島町(防災防護の整備事業)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	好井道跡	菊所町
97	平成22年11月4日	-般国道340号土田四ノバパス(八幡山)道跡改良事業	福南広域振興局土木部瀬戸内セントラルアーバン計画局	遠野市	
98	平成22年11月4日	磐梯地方道路整備事業	磐梯広域振興局土木部長	磐梯道跡	大船町
99	平成22年11月4日～5日	磐梯地方道路整備事業	磐梯広域振興局土木部長	高森水Ⅱ道跡	大船町
100	平成22年11月5日	磐梯地方道路整備事業	磐梯広域振興局土木部長	高森水Ⅰ道跡	大船町
101	平成22年11月4日～5日	磐梯地方道路整備事業	磐梯広域振興局土木部宮古土木センター	和田内金無地道跡	宮古市
102	平成22年11月8日～9日	経営体育成基盤整備事業(古城2期地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	林工道跡	奥州市
103	平成22年11月8日～9日	経営体育成基盤整備事業(古城2期地区)	福南広域振興局農林農村整備室	可燃性あり①	奥州市
104	平成22年11月8日～9日	経営体育成基盤整備事業(古城2期地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	可燃性あり②	奥州市
105	平成22年11月8日	経営体育成基盤整備事業(古城2期地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	八戸坂道跡	奥州市
106	平成22年11月8日	経営体育成基盤整備事業(古城2期地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	可燃性あり⑥	奥州市
107	平成22年11月8日	和賀中部農業水利事業	農林水産省東北農政局和賀中部農業水利事業	鳥谷筋Ⅱ道跡隣接地	北上市
108	平成22年11月8日	和賀中部農業水利事業	農林水産省東北農政局和賀中部農業水利事業	川野Ⅱ道跡隣接地	北上市
109	平成22年11月8日	和賀中部農業水利事業	農林水産省東北農政局和賀中部農業水利事業	磐沢Ⅱ道跡	北上市
110	平成22年11月9日	磐急地方道路整備事業	磐梯広域振興局土木部岩土木センター	日影Ⅱ道跡隣接地	八幡平市
111	平成22年11月10日	一聞道水害事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可燃性あり①	一聞市
112	平成22年11月11日	北上川中流域治水対策事業(立花地区)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	立花南道跡	北上市
113	平成22年11月11日～12日	東北横断自動車道蓬莱山林干燥	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	新田Ⅱ道跡	蓬莱町
114	平成22年11月12日	東北横断自動車道蓬莱山林干燥	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	新田道跡	蓬莱町
115	平成22年11月12日	経営体育成基盤整備事業(白山地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	田畠Ⅱ道跡	奥州市
116	平成22年11月12日	経営体育成基盤整備事業(白山地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	安久・沢山道跡	奥州市
117	平成22年11月15日	磐越帯合整備事業(担い・手支援型)	磐梯広域振興局農政部二戸農林振興センター農整備室	上平畠道跡	二戸市
118	平成22年11月16日	磐越帯合整備事業(担い・手支援型) 男神工区	磐梯広域振興局農政部二戸農林振興センター農整備室	土川Ⅱ道跡	二戸市
119	平成22年11月17日	手跡治山事業	福南広域振興局農政部一聞農村整備センター	門崎道跡	一聞市
120	平成22年11月18日	磐越帯合整備事業(藤崎地区)	福南広域振興局農政部一聞農村整備センター	可燃性あり④	藤沢町
121	平成22年11月18日	経営体育成基盤整備事業(美川地区)	福南広域振興局農政部一聞農村整備センター	表谷地隣接地	一聞市
122	平成22年11月19日	磐沢Ⅱ第4発電所建設工事	企業局	磐沢道跡	乳頭町
123	平成22年11月24日	経営体育成基盤整備事業(六原地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり①	金ヶ崎町
124	平成22年11月24日	経営体育成基盤整備事業(六原地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり⑤	金ヶ崎町 (道所能路隣接地)
125	平成22年11月24日～25日	経営体育成基盤整備事業(六原地区)	福南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり⑥	金ヶ崎町 (道所能路隣接地)
126	平成22年11月24日～25日	磐急地方道路整備事業(森下地区)	福南広域振興局土木部・聞木土木センター	木戸前開闢地	平泉町
127	平成22年11月24日～25日	磐急地方道路整備事業(森下地区)	福南広域振興局土木部・聞木土木センター	綱原Ⅰ道跡隣接地	平泉町
128	平成22年11月24日～25日	磐急地方道路整備事業(森下地区)	福南広域振興局土木部・聞木土木センター	綱原Ⅱ道跡隣接地	平泉町

No.	調査日	事業名	事業者	道跡名	所在地
129	平成22年11月24日～25日	経営育成基盤整備事業六原地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	赤石道路・ふくべ北境 遠隔隣接地 (可能性あり)	金ヶ崎町
130	平成22年11月24日～25日	経営育成基盤整備事業六原地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり	金ヶ崎町
131	平成22年11月25日	経営育成基盤整備事業六原地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり	熊本市
132	平成22年11月25日	経営育成基盤整備事業六原地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり	金ヶ崎町
133	平成22年11月26日	経営育成基盤整備事業六原地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	二ノ坂道跡・隣接地	金ヶ崎町
134	平成22年11月29日	経営育成基盤整備事業六原地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり	金ヶ崎町
135	平成22年11月29日～30日	四十四田ダム堰堤改良事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	平野道路	盛岡市
136	平成22年12月1日～2日	経営育成基盤整備事業古城2期地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	林立道路	奥州市
137	平成22年12月1日～2日	経営育成基盤整備事業古城2期地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	林立道路	奥州市
138	平成22年12月1日～2日	北上川流域下水道事業	北上川上流流域下水道事業所	大坂前道路	盛岡市
139	平成22年12月3日	堰堤統合整備事業	郡北広域振興局農政部.../二戸農林振興センター農村整備室	大坂Ⅱ道跡	一戸町
140	平成22年12月6日	経営育成基盤整備事業とびひ六原地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり	金ヶ崎町
141	平成22年12月6日	経営育成基盤整備事業とびひ六原地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり	金ヶ崎町
142	平成22年12月6日	経営育成基盤整備事業和賀中部六原地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり	金ヶ崎町
143	平成22年12月6日	交通安全施設整備事業	豊南広域振興局土木部	舟引竹原道路	磐梯町
144	平成22年12月7日	交通安全施設整備事業	和賀広域振興局土木部宮古土木センター	興道道路	宮古市
145	平成22年12月8日	地域活性化・経済危機対策臨時交付金整備事業	熊南広域振興局土木部花巻土木センター	馬谷通路	花巻市
146	平成22年12月7日～8日	道路改修事業	和賀広域振興局土木部宮古土木センター	松山下谷地道路	宮古市
147	平成22年12月7日～8日	道路改修事業	和賀広域振興局土木部宮古土木センター	可能性あり	宮古市
148	平成22年12月7日～8日	道路改修事業	和賀広域振興局土木部宮古土木センター	可能性あり	宮古市
149	平成22年12月9日	林道整備事業奥森森林管理道八ツノ沢線	和賀広域振興局農林部	一ノ坂Ⅱ道跡	大槌町
150	平成22年12月9日	中山間地域統合整備事業	郡北広域振興局農政部.../二戸農林振興センター農村整備室	平沢1・小屋沢Ⅱ道跡 近接	輕米町
151	平成22年12月10日	主要地方道野田山田形橋場地[4]地方特定道路整備事業	郡北広域振興局土木部	横場道路	久慈市
152	平成22年12月13日	緊急地方道路整備事業及び地方特定道路整備事業	熊南広域振興局土木部	二ノ坂道跡	盛岡市
153	平成22年12月13日	ため池等整備事業 和賀西部2期地区	郡北広域振興局農政部北上農村整備センター	可能性あり	西和賀町
154	平成22年12月14日～15日	北上川中流域治水対策事業(二子地区)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	千刈道跡	北上市
155	平成22年12月14日～15日	北上川中流域治水対策事業(二子地区)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	中村道路	北上市
156	平成22年12月14日	一般国道45号高田道路	国土交通省東北地方整備局三陸因道事務所	佐野1道跡	陸前高田市
157	平成22年12月15日	一般国道45号高田道路	国土交通省東北地方整備局三陸因道事務所	可能性あり	陸前高田市
158	平成22年12月16日	一般国道4号石鳥谷バイパス	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	委移道路	花巻市
159	平成22年12月17日	経営育成基盤整備事業白山地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	安久沢東道路	奥州市
160	平成22年12月17日	経営育成基盤整備事業白山地区	熊南広域振興局農政部農村整備室	徳伊豆道路	奥州市
161	平成22年12月20日	主要地方道盛岡横手→大野地区准吉澤設置工事	熊南広域振興局土木部上木センター	大野道跡	西和賀町
162	平成22年12月24日	堰堤密合整備事業	郡北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室	西田子道跡	一戸町
163	平成22年12月24日	堰堤密合整備事業	郡北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室	西田子Ⅲ道跡	一戸町
164	平成22年12月27日	経営育成基盤整備事業 末木新田地区	熊南広域振興局農政部北上農村整備センター	胸板道路	花巻市
165	平成22年12月27日	四十四田ダム堰堤改良事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	北平道路	盛岡市
166	平成23年1月5日	古藤地区子防治山事業	郡北広域振興局農政部八戸農林振興センター	大迫城隣接地	花巻市
167	平成23年1月6日	林業地域統合整備事業	郡北広域振興局農政部二戸農林振興センター務務室	後切Ⅱ道跡	二戸市
168	平成23年1月7日	緊急地方道路整備事業(交通安全)	豊岡広域振興局土木部	野沢1道跡	通沢村
169	平成23年1月12日	牧ヶ石川農業水利事業	東北地方農政局牧ヶ石川農業水利事業建設所長	えぞ屋敷	花巻市
170	平成23年2月2日	一関港水池事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能性あり	一関市
171	平成23年3月2日	経営育成基盤整備事業南田辺地区	盛岡地方振興局農政部農村整備室	衝日誌小路Ⅲ道跡	輕米町
172	平成23年3月7日	緊急地方道路整備事業一般県道前沢東山線	郡南広域振興局土木部	田高1輪路、田高2輪路、五輪經塚道路	奥州市
173	平成23年3月8日	森林管理道八木玉川閑闌設工事	郡北広域振興局林務部	可能性あり	津軽町
174	平成23年3月3日	経営育成基盤整備事業寺守移地区	郡南広域振興局農政部北上農村整備センター	八坂道跡、八幡丘道跡	花巻市

(3) 分布調査

1 久慈北道路 國上交通省東北地方整備局三津国造事務所

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	JG90-1161	桑畠道	礎文・弥生		散布地	久慈市岱浜町桑畠地内	平成 22 年 3 月 24 日～25 日。	周知
2		可能性あり①	礎文・弥生		散布地	久慈市岱浜町外堀敷地内	4 月 20 日～21 日。	
3	JG90-2116	外屋敷跡	礎文・古代		散布地	久慈市岱浜町外堀敷地内	5 月 10 日～11 日	周知
4		可能性あり②	礎文・古代		散布地	久慈市岱浜町地内		
5		可能性あり③	礎文・古代		散布地	久慈市岱浜町地内		
6	JG09-0135	本土塙	礎文・古代	集落跡	久慈市岱浜町本土塙地内			周知
7		可能性あり④	礎文・古代		散布地	久慈市岱浜町地内		
8		可能性あり⑤	礎文・古代		散布地	久慈市岱浜町地内		
9		可能性あり⑥	礎文・古代		散布地	久慈市岱浜町地内		
10		可能性あり⑦	礎文・古代		散布地	久慈市岱浜町地内		
11		可能性あり⑧	礎文・古代		散布地	久慈市岱浜町地内		
12	JG10-1077	宇津目 1	礎文・古代	散布地	久慈市美井町宇津目谷地内			周知
13		可能性あり⑨	礎文・古代		散布地	久慈市美井町地内		
14		可能性あり⑩	礎文・古代		散布地	久慈市美井町地内		

2 地方特定道路整備事業 沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり 1					平成 22 年 7 月 20 日	
2		可能性あり 2						
3		可能性あり 3						
4	KG82-2030	堀船 1 道路	礎文・近世	散布地、製鉄跡	下閉伊郡岩泉町下有芸字村葛			周知
5	KG82-2031	堀船 2 道路	礎文	散布地	下閉伊郡岩泉町下有芸字村葛			周知
6		可能性あり 4						
7		可能性あり 5						
8		可能性あり 6						

3 交通安全施設整備事業一般国道 106 号ゆずり車線 沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1	LG40-0243	県道通路	礎文		散布地	宮古市茂市	平成 22 年 9 月 21 日	

4 海岸保全施設整備事業栗野田地区 岩北広域振興局農政部農村整備室

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
4						上閉伊郡野田村野田	平成 22 年 9 月 22 日	なし

5 地方特定道路整備事業 岩南広域振興局土木部

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
3						一関市東山町字三堂地内	平成 22 年 11 月 15 日	なし

6 中山間地域統合整備事業江戸川地区 盛岡広域振興局農政部農村整備室

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり 1				岩手郡葛巻町江戸川地内	平成 22 年 11 月 15 日	
2		寺田通路隣接可能性あり				岩手郡葛巻町江戸川地内		

7 森林管理道荒木玉川線開設工事 岩北広域振興局土木部林務部

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						久慈市山形町戸呂町地内	平成 22 年 11 月 10 日	なし

8 道路改築事業 岩南広域振興局土木部・開土木センター

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						一関市千厩町千厩字摩王地内	平成 22 年 11 月 17 日	なし

9 森林管理道八木玉川線開設工事 岩南広域振興局・一関市合併支農林部農村整備室

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1		可能性あり				九戸郡洋野町玉川 地内	平成 22 年 12 月 10 日	

10 的場地区水源皮膜広域保全工事及び坂下地区奥地保安林保全緊急対策工事 沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター

No.	道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	備考
1						陸前高田市矢作町字の場地区、矢作町字坂下地区	平成 23 年 1 月 31 日	

IV 写真図版



谷地遺跡出土 土師器・須恵器

来次年度報告書にて報告予定



山内駒木2遺跡 1号住居跡



山内駒木2遺跡 1号住居跡 埋土断面



山内駒木2遺跡 1号住居跡 炭化材検出状況



山内駒木2遺跡 1号住居跡 完掘

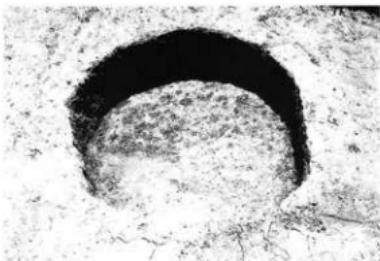


山内駒木2遺跡 1号土坑

写真図版1 検出遺構・調査状況（1）



山内駒木2遺跡 1号陷し穴



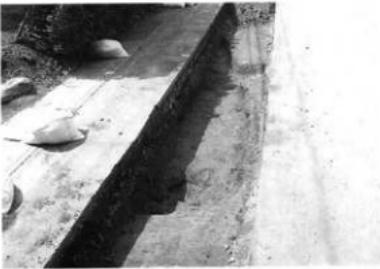
館IV遺跡 2号土坑



館IV遺跡 6号土坑



館IV遺跡 9号土坑



中平遺跡 1号住居跡



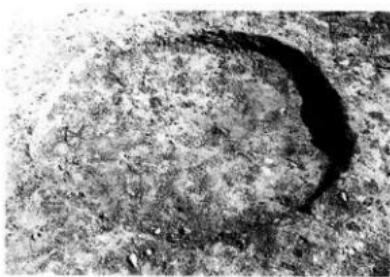
中平遺跡 2号住居跡



中平遺跡 1号土坑



風張遺跡 1号住居跡



風張遺跡 1号土坑



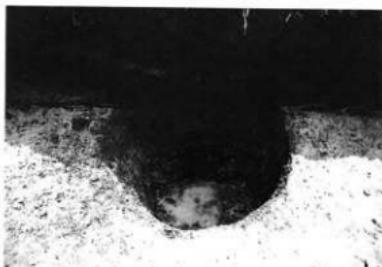
矢ノ目II遺跡 柱穴群



矢ノ目II遺跡 調査区



矢ノ目II遺跡 竪穴遺構



大畠IV遺跡 1号土坑



盛岡城跡 1号陥し穴

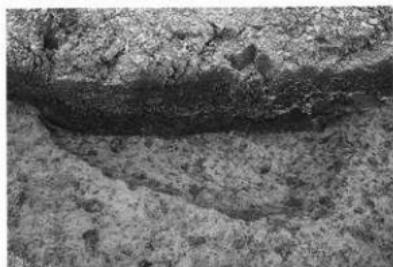
写真図版3 検出遺構・調査状況（3）



田高II遺跡 1号溝跡



田高II遺跡 2号溝跡



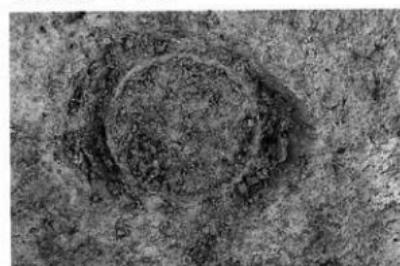
田高II遺跡 1号土坑



草井川遺跡 17号柱穴 柱痕・根固石検出状況



草井川遺跡 2号土坑



草井川遺跡 鉄器埋設遺構



草井川遺跡 東区柱穴群

写真図版4 検出遺構・調査状況（4）

山内駒木2遺跡



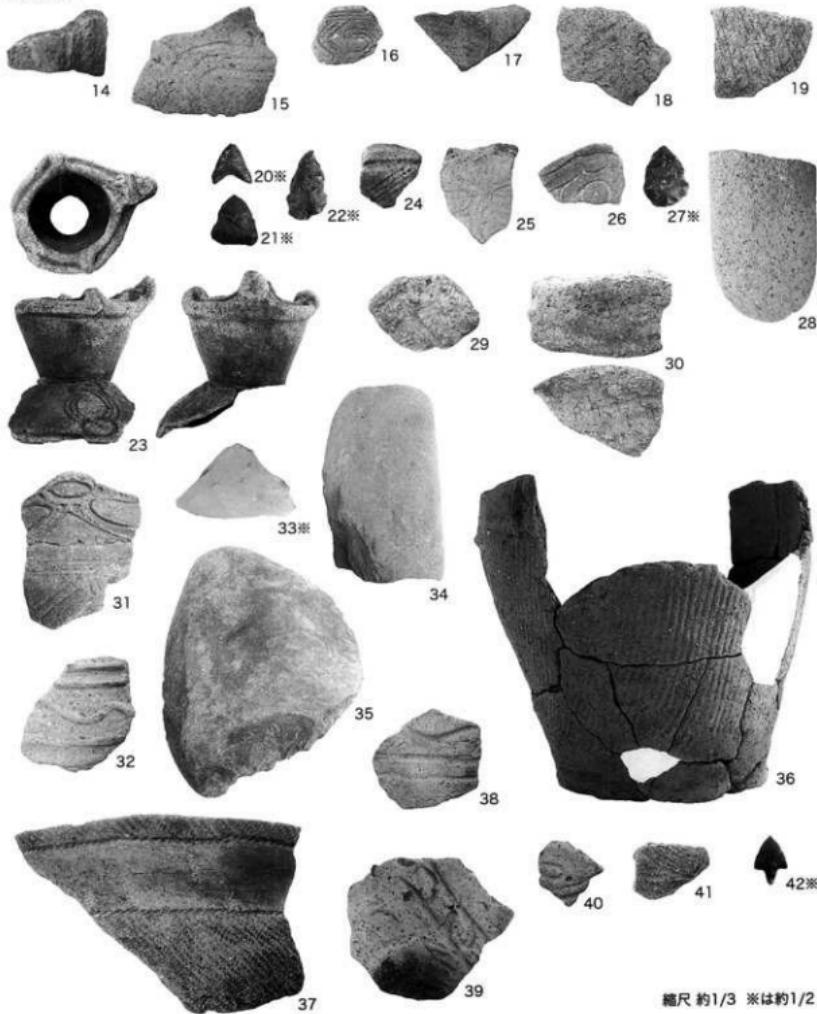
縮尺 約1/3

写真図版5 出土遺物（1）発掘調査

赤坂角地遺跡



館IV遺跡



縮尺 約1/3 ※は約1/2

写真図版6 出土遺物（2）発掘調査

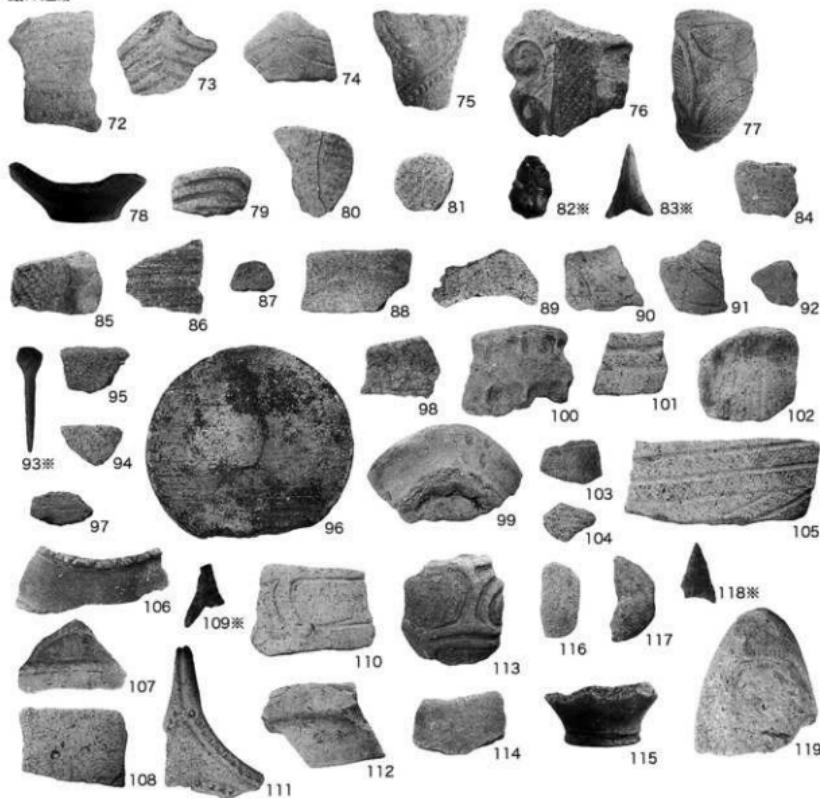
館IV遺跡



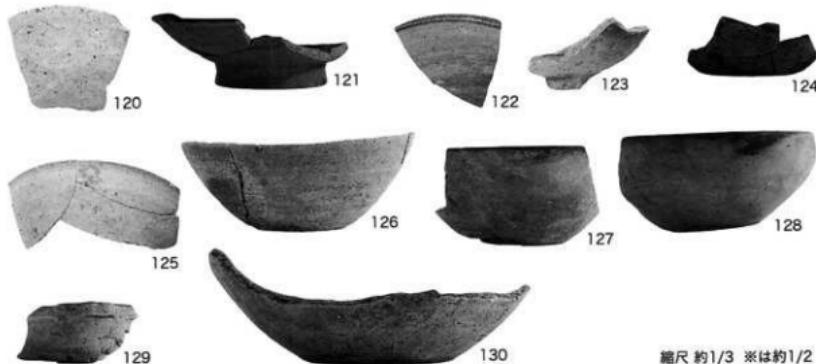
縮尺 約1/3 *は約1/2

写真図版7 出土遺物（3）発掘調査

館IV遺跡



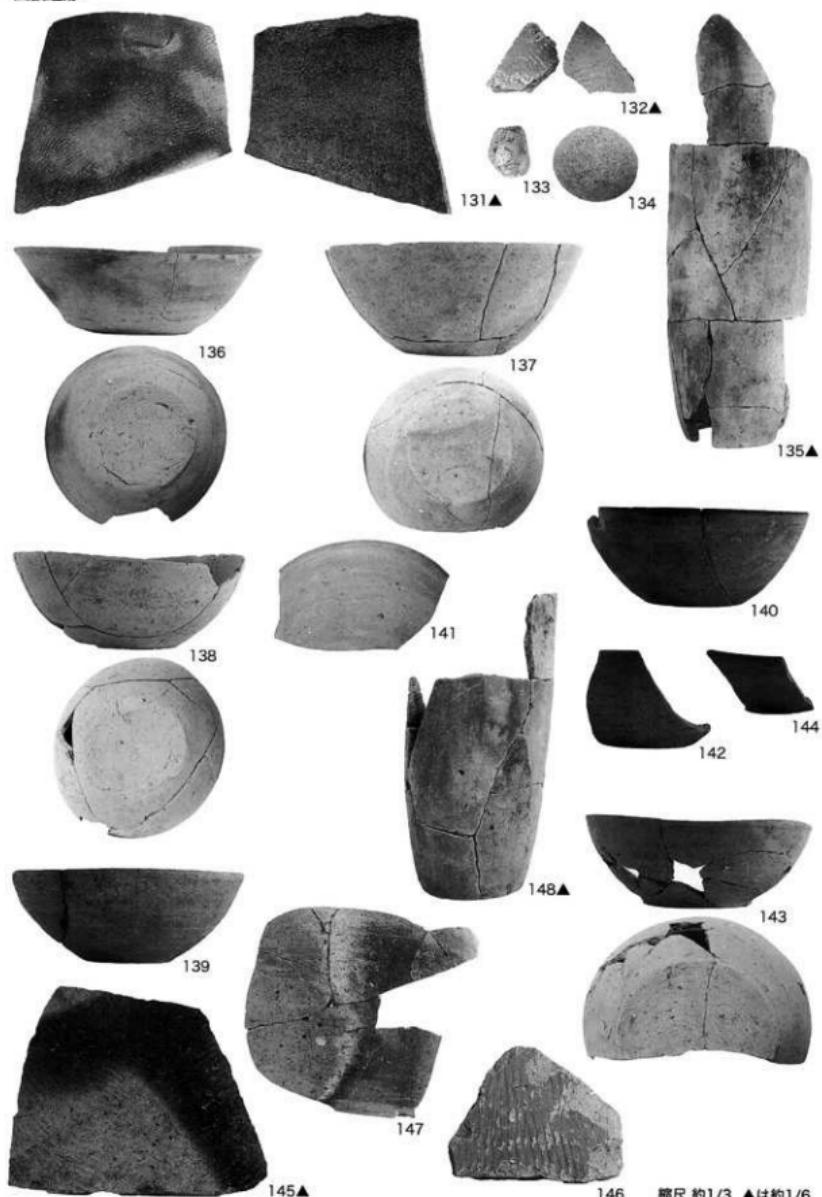
風張遺跡



縮尺 約1/3 ※は約1/2

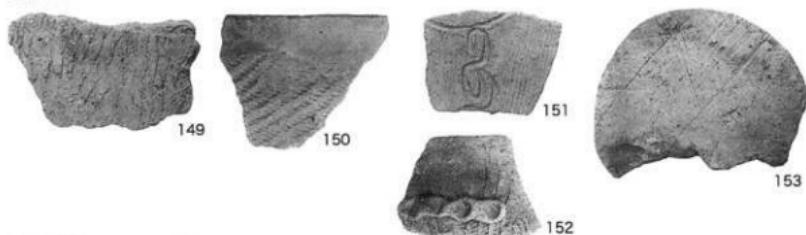
写真図版8 出土遺物（4）発掘調査

風張遺跡



写真図版9 出土遺物（5）発掘調査

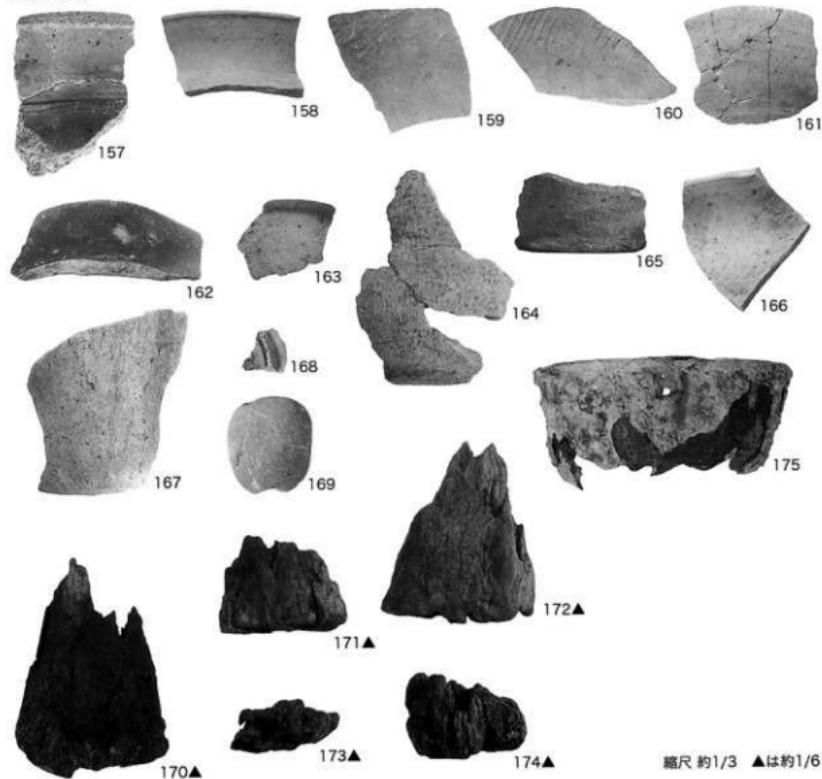
西部遺跡



田高 II 遺跡



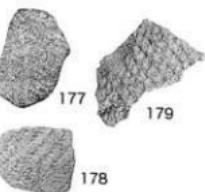
草井川遺跡



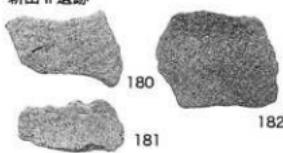
縮尺 約1/3 ▲は約1/6

写真図版10 出土遺物（6）発掘調査

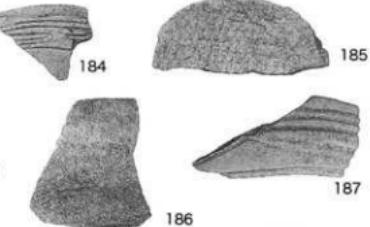
大烟III遺跡



新田II遺跡



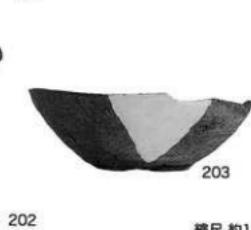
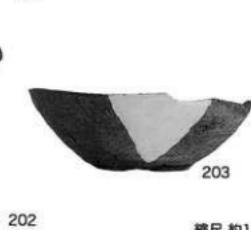
千刈遺跡



二又遺跡



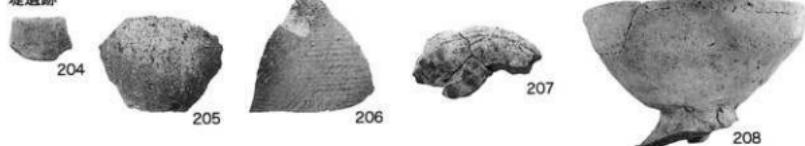
小野遺跡



縮尺 約1/3

写真図版12 出土遺物（7）試掘調査

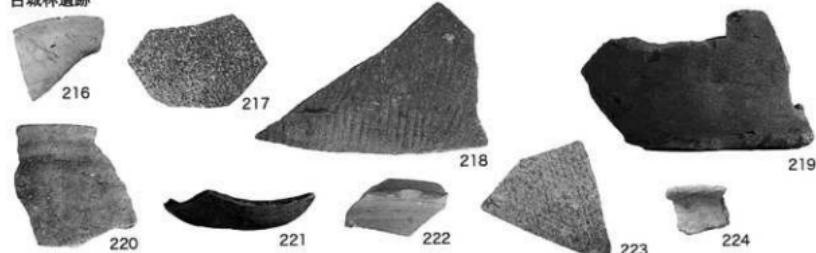
堤遺跡



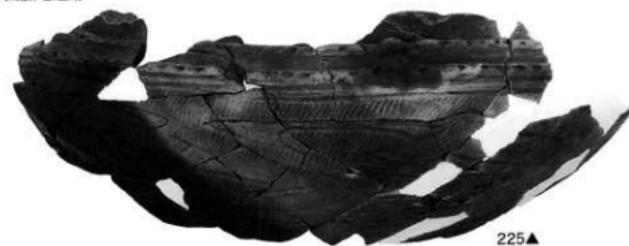
作屋敷遺跡



古城林遺跡



山脈地遺跡



縮尺 約1/3 ▲は約1/6

写真図版13 出土遺物（8）試掘調査

報告書抄録

ふりがな	いわてけんないいせきはくつちょうさほうこくしょ							
書名	岩手県内遺跡発掘調査報告書							
副書名	平成22年度							
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第134集							
編著者名	岩手県教育委員会							
編集機関	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課							
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL 019-629-6171							
発行年月日	平成24年3月28日							
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
根岸遺跡	いわてけんあおきしらしきしづきざきく 岩手県奥州市水沢区 あおきしまらしきざきかふ 師体根岸	03215	NE37- 0113	39度 11分 06秒	141度 16分 83秒	20100519~0521	120m ²	県道改修
山内駒木2 遺跡	いわてけんあおきしらしきしまいさ 岩手県九戸郡輕米町 いわきまちのうすみやまち 大字晴山山内	03501	IF82- 1031	40度 31分 26秒	141度 39分 58秒	20100601~0604 20100913~0917	240m ²	農道改修
赤坂角遺跡	いわてけんあおきせんたんかじ 岩手県陸前高田市 ひろさかのうすみかくわかくち 広田町赤坂角地	03210	NF89- 2052	38度 94分 96秒	141度 70分 97秒	20100601~0604	500m ²	農道改修
館IV遺跡	いわてけんあおきらしきなはな 岩手県北上市立花 ちりり 3地割	03206	ME66- 1228	39度 28分 98秒	141度 14分 12秒	20100622~0625 20100629~0630	1,760m ²	堤防新設
中平遺跡	いわてけんあおきらしきなはな 岩手県九戸郡野田村 あおきのうなはな 大字中平	03503	JG60- 0258	40度 10分 32秒	141度 80分 28秒	20100802~0805	100m ²	下水管布設
風張遺跡	いわてけんあおきせんたんかじ 岩手県紫波郡矢巾町 ふわぢのとよ	03322	LE47- 1169	39度 60分 94秒	141度 17分 90秒	20100804~0811 20101105	1,000m ²	ほ場整備
矢ノ目II遺跡	いわてけんあおきのせん 岩手県一関市 ひのめこうへい	03209	NF62- 1157	39度 01分 28秒	141度 40分 87秒	20100823~0827	1,000m ²	県道改築
火薬IV遺跡	いわてけんあおきのせん 岩手県二戸郡 ひのめこうへい 一戸町中山大畠	03524	JE78- 2362	40度 05分 78秒	141度 24分 28秒	20100901~0902	30m ²	農業用バイ ブライン敷設
下熊塚 古館遺跡	いわてけんあおきのせん 岩手県北上市滑田19 ひのめ 地割	03206	ME55- 1160	39度 31分 18秒	141度 07分 44秒	20101101~1102 20110218	70m ²	遊歩道設置
盛岡城跡	いわてけんあおきのせん 岩手県盛岡市内丸	03201	LE16- 0355	39度 70分 38秒	141度 15分 08秒	20101129~1130	300m ²	裁判所廻舍増 築
西部遺跡	いわてけんあおきのせん 岩手県花巻市 あおきはなまき 大通町外川目	03205	ME09- 0319	39度 45分 85秒	141度 29分 35秒	20101220~1221	100m ²	排水路新設
谷地区遺跡	いわてけんあおきのせん 岩手県奥州市 あおきとうしき 江刺区福瀬字谷地	03215	ME86- 2137	39度 22分 41秒	141度 12分 80秒	20110111~0201	2,000m ²	堤防改築

たこうに、いせき 田高Ⅱ遺跡	いわてけんあうちゅうし 岩手県奥州市 まえさわくじらやまあざかざら月 前沢区白山字健取	03215	NE46- 1375	39度 06分 81秒	141度 14分 72秒	20110124～0127	110m ³	農業用水パイ プライン敷設
はってみぎかいせき 八天坂遺跡 かゆうざんにいせき 久田Ⅱ遺跡	いわてけんあいたかみし 岩手県北上市 いわてきみかみせん 岩崎新田	03206	ME74- 0252 0207	39度 26分 76秒	141度 04分 16秒	20100207～0210 20110214～0218 20110228～0303	400m ³	農業用水パイ プライン敷設
くさいがわいせき 草井川遺跡	いわてけんあうちゅうしまえさわく 岩手県奥州市前沢区 こじょう 吉城	03215	NE46- 0304	39度 08分 31秒	141度 14分 65秒	20110221～0225	109m ³	農道新設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
根蕪遺跡	屋敷跡	近世	環濠			環濠屋敷跡		
山内駒木2 遺跡	集落跡	縄文時代 奈良時代	陥し穴 堅穴住居跡、土坑	土師器、須恵器、鉄製品	焼失住居			
赤坂角地 遺跡	散布地	縄文時代		縄文土器				
館IV遺跡	散布地	縄文時代	土坑、柱穴	縄文土器、石器、碎片				
中平遺跡	集落跡	縄文時代 平安時代	堅穴住居跡、土坑	縄文土器				
風張遺跡	集落跡	平安時代	堅穴住居跡、土坑、溝	土師器、須恵器				
矢ノ目II遺跡	屋敷跡	時期不明	堅穴遺構、柱穴			近世屋敷か		
大畑IV遺跡	散布地	時期不明	土坑					
下糠塚 古館遺跡	屋敷跡	近世	環濠			環濠屋敷跡		
盛岡城跡	狩り場 城館跡	縄文時代 近世	陥し穴			近世城郭に係る遺構なし		
西部遺跡	集落跡	縄文時代		縄文土器				
谷地遺跡	散布地 集落跡	弥生時代 平安時代	堅穴住居跡、土坑、溝	弥生土器、石器 須恵器		瀬谷子窯産の須恵器多量		
田高Ⅱ遺跡	集落跡	中世	堀、溝			館に係る空堀及び区画溝		
八天坂遺跡 久田Ⅱ遺跡	集落跡	平安時代	堅穴住居跡、土坑、溝	土師器、須恵器				
草井川遺跡	集落跡	平安時代 時期不明	土坑 掘立柱建物、土坑、柱穴	土師器		近世屋敷跡か		

岩手県文化財調査報告書 第134集

岩手県内遺跡発掘調査報告書（平成22年度）

発行日 平成24年3月28日

発 行 岩手県教育委員会

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

編 集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課

印 刷 小松総合印刷㈱

〒020-0827 岩手県盛岡市鈴屋町15-4